JUSTIO 複合機

brother

MFC-9450CDN
ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を見ることができます。本製品の使い方やネットワーク、ソフトウェアの設定など知りたい情報をすばやく探せます。
詳細は本書2ページを参照してください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 7 章「こんなときは」で調べる 151ページ

2 サポート ブラザー 検索
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

やりたいことがすぐ探せる! やりたいこと目次 12P

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。「画面で見るマニュアル」（HTML形式）の詳しい説明は、画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作P.27を参照してください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド

・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

■ユーザーズガイド

・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリントする
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）からも閲覧できます。

HTML（CD-ROM）

使いたい機能をすばやく探せます

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■ユーザーズガイド

・ファクス/プリンタ/コピーの使用方法
・デジタルカメラからプリント
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

■パソコン活用ガイド

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・Control Centerで便利に使う

■ネットワーク設定ガイド

・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。
[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] ─ [Brother] ─ [MFC-9450CDN] ─ [画面で見るマニュアル（HTML形式）] を選んでください。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「mfc9450cdn_ jpntop.html」をダブルクリックする

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

PDF

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

■パソコン活用ガイド
■かんたん設置ガイド
■ネットワーク設定ガイド
■ユーザーズガイド

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を閲覧したいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合
パソコンにドライバをインストールすると、「画面で見るマニュアル」も自動的にインストールされます。

閲覧方法

（1）画面左下の［スタート］メニューから、［プログラム（すべてのプログラム）］－［Brother］を選択する

（2）本製品の機種名「MFC-XXXX」を選択する

（3）「画面で見るマニュアル HTML形式」を選択して、クリックする

付属のCD-ROMからも［画面で見るマニュアル］を閲覧することができます。メイン画面が表示されたら、［画面で見るマニュアル］－［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を選んでください。

Macintoshの場合

（1）付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

（2）「Documentation」をダブルクリックする

（3）「MFC-XXXX_JpnTop.html」をダブルクリックする

・「画面で見るマニュアル」が表示されます。

最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。
最新のドライバやファームウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。
ドライバを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目　次

必要に応じて設定してください

消耗品の交換

定期交換部品の交換

製品情報

設定機能の初期化

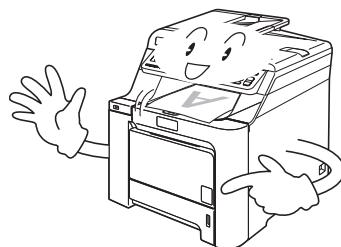
オプション

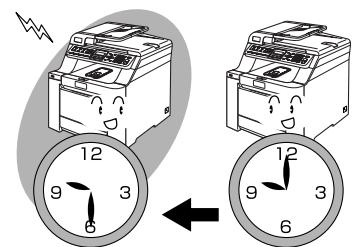
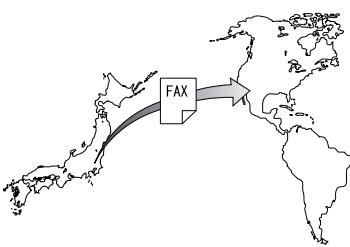
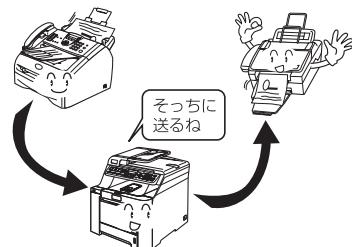
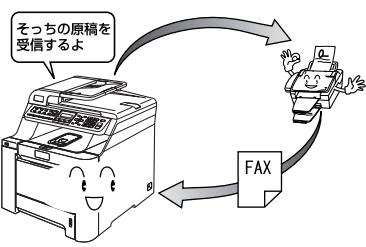
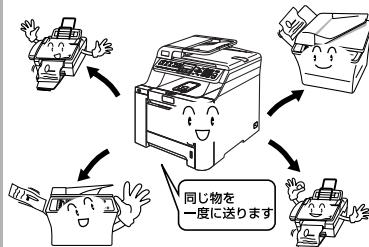
その他の機能

画面で見るマニュアル（HTML 形式）をご覧ください。P.2

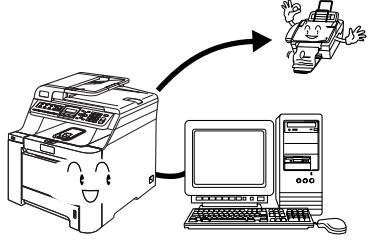
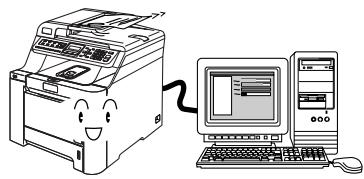
・プリンタ
・PC-FAX
・リモートセットアップ
・ネットワーク

やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

ファクス

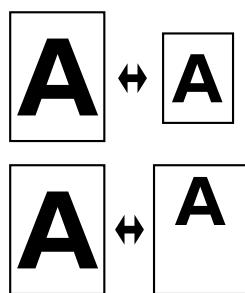
簡単に送信したい。
（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）
P.82

自動で受信したい。
（自動受信）P.54

画質を調整したい。
（画質調整）P.86

指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信）P.94

海外に送信したい。
（海外送信）P.93

外出先で受信したい。
（ファクス転送）P.110

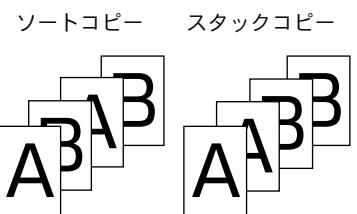
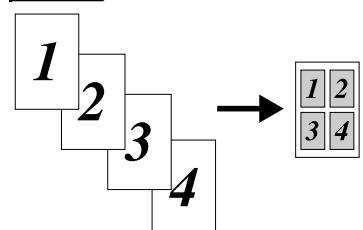
受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。
（ポーリング）P.100

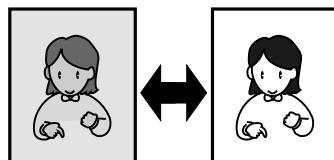
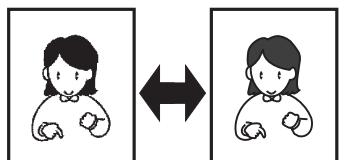
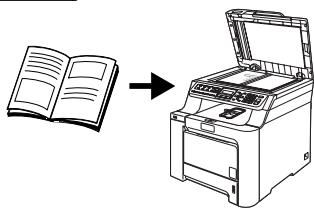
複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
（同報送信）P.89

ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。
P.73

パソコンからファクスを送信したい。（PCファクス）

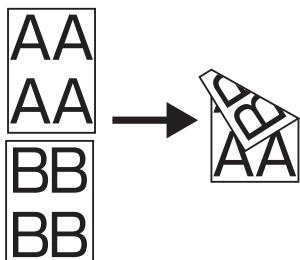
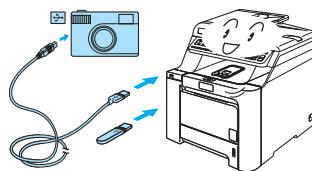
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

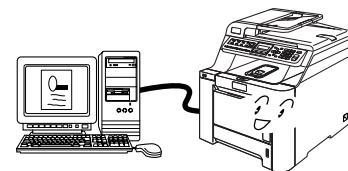
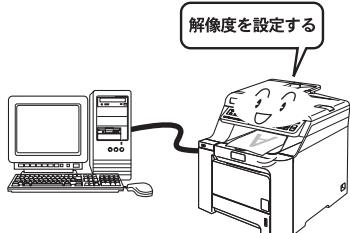
パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

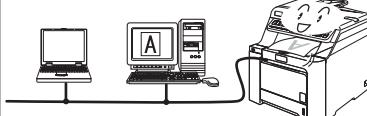
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

コピー

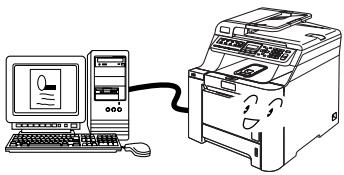
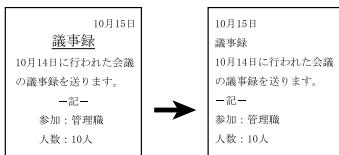
たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P.128

拡大/縮小コピーしたい。P.130

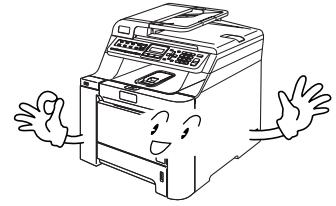
効率よく複数部コピーしたい。P.132

2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。（2 in 1、4 in 1）P.133

コントラストを変えたい。P.132、P.136

画質をきれいにコピーしたい。P.131、P.135

本などの原稿を原稿台ガラスからコピーしたい。
P.129

プリンタ

自動両面印刷したい。
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

デジタルカメラやUSBメモリーから直接プリントしたい。P.138

パソコンからプリントしたい。
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

設定を変更してプリントしたい。
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

ネットワークプリンタとして使いたい。
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

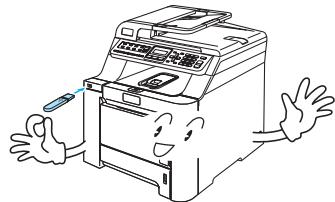
パスワードを入力したデータだけを印刷するように設定したい。（セキュリティ印刷）
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

スキャナ

文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

画像ファイルをテキストファイルに変換したい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
ー記ー
参加：管理職
人数：10人

→

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
ー記ー
参加：管理職
人数：10人

スキャンしたデータを FTP 送信、保存したい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

スキャンしたデータをUSBメモリーに保存したい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

消耗品の回収リサイクルのご案内

http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製消耗品がございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

回収対象となる消耗品
・トナーカートリッジ　・ドラムユニット　・ベルトユニット　・廃トナーボックス

VCCI規格

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施工基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

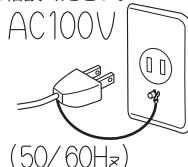
警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

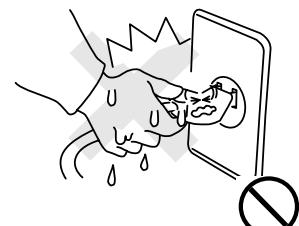
本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示しています。		「分解してはいけないこと 」を示しています。		「水ぬれ禁止」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「しなければいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。		「アースをつなぐこと」を示しています。		
	「感電の危険があること」を示しています。		「火災の危険があること」を示しています。		「やけどの危険があること」を示しています。		

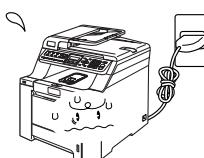
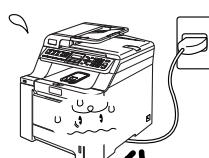
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口へご連絡ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイド等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブP.284へご注文ください。

ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

警告

火災や感電、やけどの原因になります。

電源はAC100V､50Hzまたは60Hzでご使用ください。
DC電源やインバータ(DC-AC変換装置)を接続して使用しないでください。
本製品を接続するコンセントがAC電源またはDC電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。

国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

本体内部には高圧電流が流れています。本体の内部を清掃するときは、電話線を外した後、電源コードを抜いてください。また電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードを破損するようなことはしないでください。
以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 加工する
- 無理に曲げる
- 高温部に近づける
- 引っ張る
- ねじる
- たばねる
- 重いものをのせる
- 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくり返す
- 壁に押しつける

本製品を電源コードの上にのせないでください。

アース線を取り付けてください

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本製品を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。
アース線の接続は、必ず電源コードを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。

■取り付けられるところ

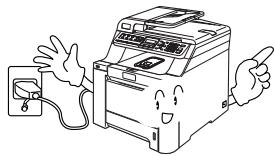
- ●電源コンセントのアース端子
- ●銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- ●接地工事（第3種）が行われているアース端子

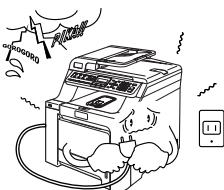
■絶対に取り付けてはいけないところ

- ●電話専用アース線
- ●避雷針
- ●ガス管

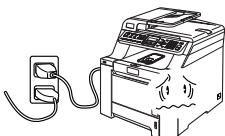
タコ足配線はしないでください。

アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護機能が無効になります。

同梱されている電源コードセットは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットを本製品に使用しないでください。

警告

電源プラグを定期的に抜き、その辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭いてください。
プラグにほこりがたまると、湿気で絶縁不良になり、火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

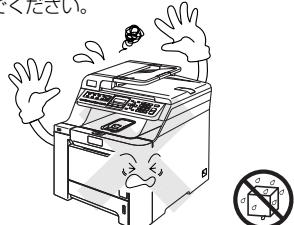
注意

故障の原因となります。

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードも本製品から抜いてください。

お願い

いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

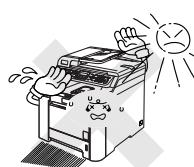
電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

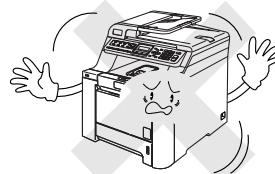
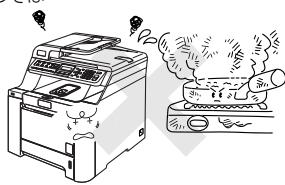
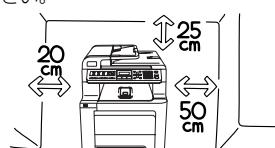
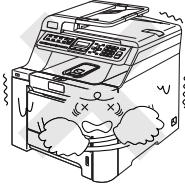
このような場所に置かないで

警告

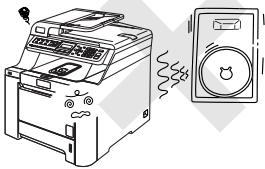
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器などのそばに設置しないでください。

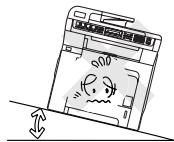
医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

火気や熱器具、揮発性可燃物、アルコール、シンナーなどの近くには設置しないでください。

注意

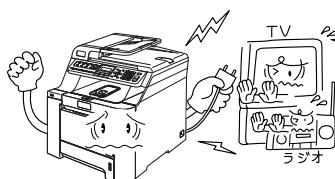
故障や変形の原因となります。

温度の高いところ
直射日光のあたるところ、暖房設備などのそば

不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

油飛びや湯気の当たる場所
調理台などのそば

壁のそば
本製品を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

お願い

故障や変形の原因となります。

いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。装置内部が結露するおそれがあります。

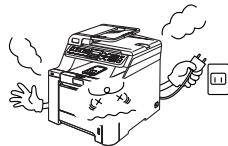
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

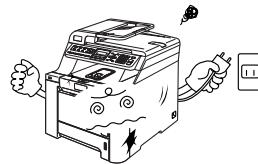
温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所（エアコン、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上

電波障害時の対処
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本製品をテレビから遠ざける。
- 本製品またはテレビなどの向きを変える。
- 本製品をコードレス電話の親機から遠ざける。

もしもこんなときには

警告

下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

煙が出たり、異臭がしたとき

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本製品を落としたり、破損したとき

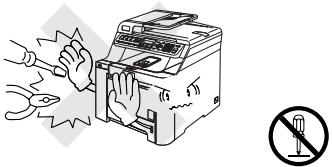
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

内部に水が入ったとき

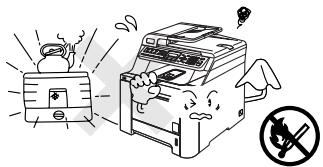
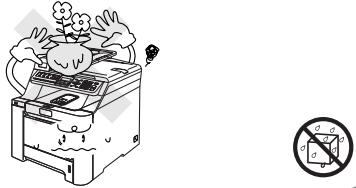
本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

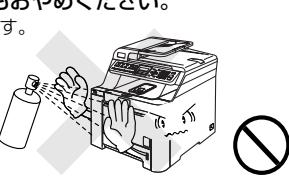
内部に異物が入ったとき

電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

電源プラグやインレットに水などの液体がかかったときは、電源コードをコンセントから抜いて、きれいにふき取ってお使いください。

その他のご注意

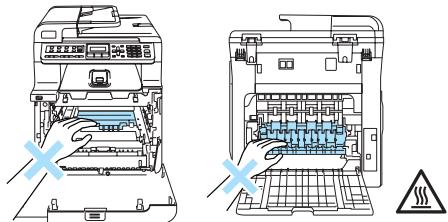
警告

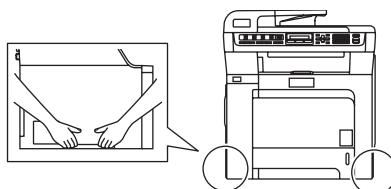
故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。

改造しないでください。
修理などはコールセンターにご相談ください。法律で罰せられることがあります。

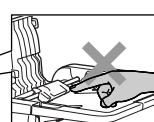
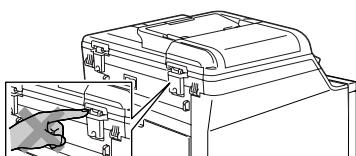
火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

本製品に水や薬品などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。

本製品を清掃する際、アルコールなどの有機溶剤や液体、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

警告

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

本製品を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。
フロントカバーやバックカバーを開けるときは、水色の部分には絶対に触らないでください。やけどのおそれがあります。

本製品を梱包していたビニール袋などは、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

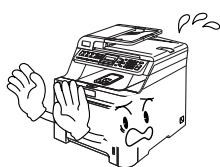
心臓ペースメーカをお使いの方は、異常を感じたときは本製品から離れてください。

本製品を持ち運ぶときは必ず 2 人で、図のように本製品の両脇を持ってください。
本製品の底辺を持たないでください。

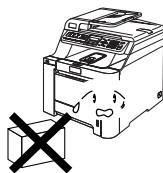
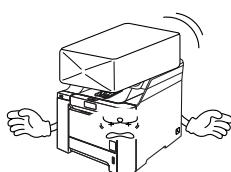
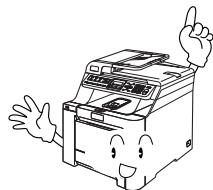
注意

故障や変形の原因となります。

原稿台カバーや本体カバーを閉めるとき、図に示すところに指などをはさまないようにしてください。

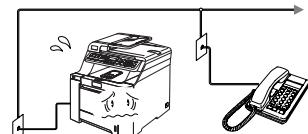
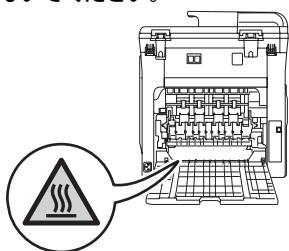
長期間不在にするときは、安全のためにも電源コードをコンセントから抜いてください。

本製品の上に物を置いたり、強く押さえたりしないでください。

お願い

故障や変形の原因となります。

落下、衝撃を与えないでください。

動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

本製品の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。

本製品の上に物を置かないでください。

指定以外の部品は使用しないでください。

電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの電話会社の支店、営業所へご相談ください。

海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
１つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。

本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

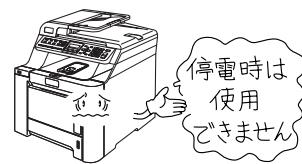
梱包されている部品は必ず取り付けてください。

定着器に貼られているラベルは、はがさないでください。

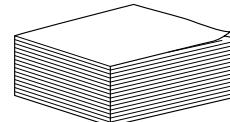
停電がおきたときは

! お願い

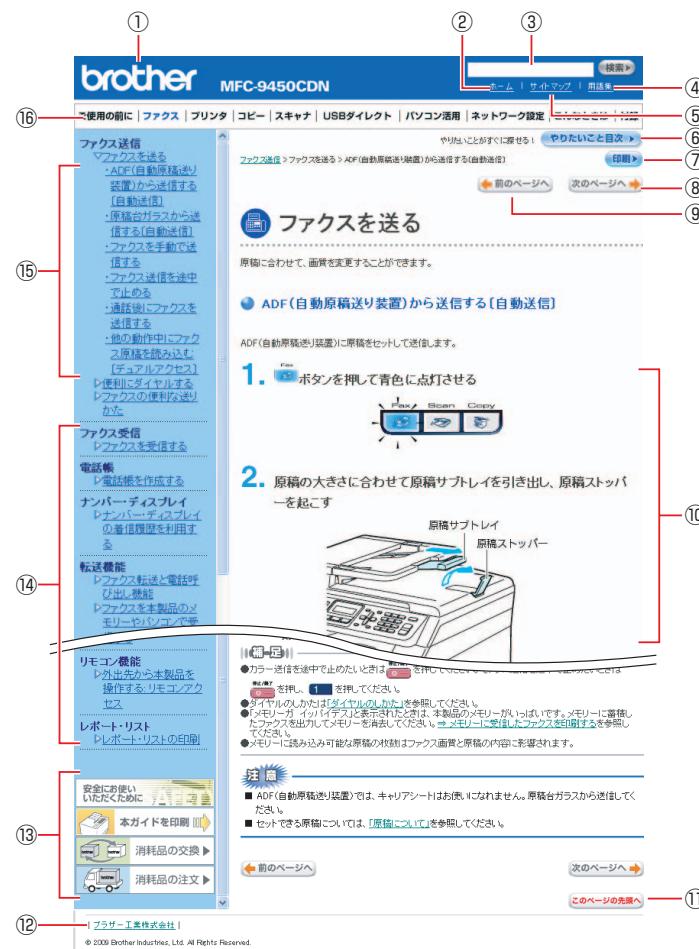
●次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後 96 時間（もしくは 4 日間）保持されます。
- 送信メモリー文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書

●次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

停電復旧時について
96 時間（もしくは 4 日間）以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

停電中は使用できません。
本製品はAC 電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。

記録紙について

! お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙、広告紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作

画面で見るマニュアル（HTML形式）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	本ガイドの全体構成図を表示します。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷する場合の説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑦	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。

①②	トップページに移動します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑥	やりたいこと目次に移動します。
⑦	現在のページを印刷します。
⑧	次のページに移動します。
⑨	前のページに移動します。
⑩	操作内容を表示します。
⑪	現在のページの最上部に移動します。
⑫	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑬	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷するときの説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑭	大見出し・中見出しです。
⑮	小見出しです。
⑯	各機能のページ（章）に移動します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

マーク	説明
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	参照先を記載しています。（XXX はページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照しています。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

ご使用の前に

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。P.36

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの9～16を登録またはダイヤルするときは、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P.82

印刷機能ボタン

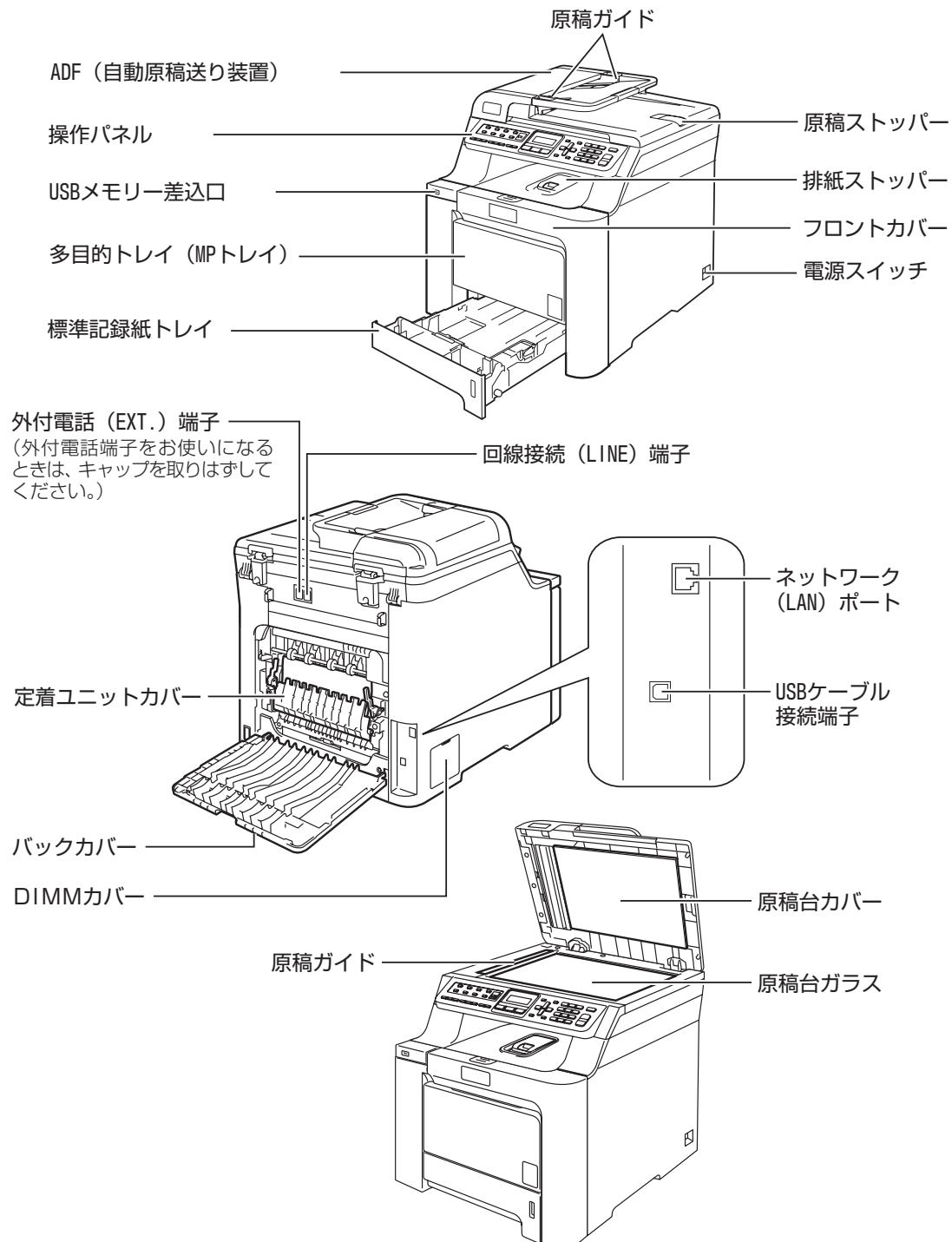
- **USBダイレクトボタン**
  USBメモリーを接続すると青く点灯します。保存されたデータを印刷するときに押します。P.138
- **セキュリティボタン**
  4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。
  詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）の「セキュリティ印刷をする」を参照してください。
- **キャンセルボタン**
  印刷されずに残っているメモリー内のデータや印刷処理中のデータを削除します。

ファクス機能ボタン

- **オンフックボタン**
  ファクスを手動送信するときに押します。P.80
- **再ダイヤル/ポーズボタン**
  最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P.85
  ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。
- **ファクス画質ボタン**
  ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。P.86

コピー機能ボタン

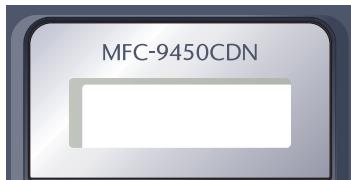
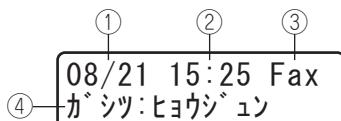
- **オプションボタン**
  コピー画質、コントラスト、トレイ選択、ソートなどを設定するときに押します。P.132
- **拡大/縮小ボタン**
  拡大/縮小コピーするときに押します。P.130

プリントデータランプ
本製品の状態をランプの色と点滅によって表します。P.34
ナビゲーションキー P.37
機能を設定するときに押します。
・前のレベルメニューに移動します。
・音量を小さくします。
・次のレベルメニューに移動します。
・音量を大きくします。
入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。
機能を確定するときに押します。
ファクスモードのときに押すと短縮宛先の指定や電話帳の検索ができます。
ダイヤルボタン
ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。
プリントデータ
メニュー
クリア/バック
OK
電話帳検索/短縮
停止/終了
カラー
スタート
モノクロ
Copy
モード選択ボタン
ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。P.49
停止/終了ボタン
ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。
スタートボタン
●カラー
カラーでコピー、プリントを開始するときなどに押します。
●モノクロ
モノクロでコピー、プリントを開始するときなどに押します。

プリントデータランプについて

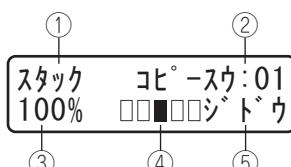
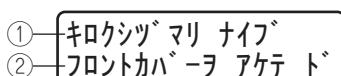
本製品の状態をランプの色と点灯／点滅によって表します。

ランプ	本製品の状態	説明
プリントデータ 消灯	待機状態	電源スイッチがOffになっている、または印刷データがない状態です。
プリントデータ 橙　点灯	プリンタメモリーに印刷されていないデータあり	メモリーに何らかの原因で印刷されていないデータが残っています。 対処方法については、P.222の「メモリーガ　イッパイデス」を参照してください。
プリントデータ 橙　点滅	データ受信中	パソコンからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。

各部の名称

原稿ガイド
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
USBメモリー差込口
多目的トレイ（MPトレイ）
標準記録紙トレイ
原稿ストッパー
排紙ストッパー
フロントカバー
電源スイッチ
外付電話（EXT.）端子
（外付電話端子をお使いになるときは、キャップを取りはずしてください。）
回線接続（LINE）端子
ネットワーク（LAN）ポート
USBケーブル接続端子
定着ユニットカバー
バックカバー
DIMMカバー
原稿台カバー
原稿ガイド
原稿台ガラス

《かならずお読みください》

液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本製品は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。

ファクスモードの標準画面

①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。
④：ファクス送信の画質が表示されます。

コピーモードの標準画面

①：出力方法（スタック/ソート）が表示されます。
②：コピー枚数が表示されます。
③：拡縮率が表示されます。
④：コントラスト（コピー濃度）が表示されます。
⑤：コピー画質が表示されます。

案内メッセージ（エラーメッセージ例）

①ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ
②ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ﾄﾞ

①：エラー内容などが表示されます。
②：エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔English・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 メニュー 0 0 を押す

ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
0.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ

2 ▲ または ▼ で言語を選択する

ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
ﾆﾎﾝｺﾞ　　　　　　　ｶ

3 OK を押す

ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾆﾎﾝｺﾞ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

  This setting allows you to change LCD language to English.

  1 Press メニュー 0 0

  2 Press ▲ or ▼ to select “English”.

  3 Press OK.

  4 Press 停止/終了 to exit.

- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「English」フォルダ内の「README」を参照してください。

  For the method of installing the English OS driver, see “README” in “English” folder stored on the attached CD-ROM.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種の設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。

ナビゲーションキー　停止/終了ボタン

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	• メインメニューを表示する場合
OK	• 次のメニューレベルに移る場合 • 選択項目を確定（決定）する場合 • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
▲ ▼	• メニュー内の項目を表示する場合
◀	• 前のメニューレベルに戻る場合 • 音量を小さくする場合
▶	• 次のメニューレベルに進む場合 • 音量を大きくする場合
クリア/バック	• 入力した文字や数字を削除する場合 • 前のメニューレベルに戻る場合
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

メニュー を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本製品に対する各種の設定ができます。

補足

- 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。
- 機能の番号については、「機能一覧」P.249 を参照してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類※1	記録紙名
普通紙 普通紙（厚め）	富士ゼロックス（株） C2 （上質プリンター用紙）
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362
はがき	はがき（郵便事業株式会社通常郵便葉書）※2

※1 推奨紙をご使用ください。記録紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本製品の故障の原因となります。
※2 私製はがき、往復はがき、印刷済みはがきは使用できません。

補足

- 印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。
- 市販されているレーザープリンタ用の記録紙をお使いいただくこともできますが、印刷品質は記録紙に左右されますので、推奨されている記録紙をお薦めします。
- 印刷品質は、記録紙の種類や紙質によって異なりますので、一度に多くの記録紙を購入する前に、あらかじめ試し印刷することをお薦めします。

記録紙トレイの名称

本書では、それぞれの記録紙トレイの名称を次のように表しています。

記録紙トレイ	本書で使われている名称
本製品の記録紙トレイ	標準記録紙トレイ（トレイ1）
本製品の多目的トレイ	多目的トレイ（MPトレイ）
オプションの記録紙トレイ （LT-100CL）	増設記録紙トレイ（トレイ2）

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	標準記録紙トレイ（トレイ 1）	多目的トレイ（MP トレイ）	増設記録紙トレイ（トレイ 2）
普通紙、普通紙（厚め）(60g/m^2～105g/m^2)	○	○	○
超厚紙（105g/m^2～163g/m^2）	×	○	×
再生紙	○	○	○
はがき	○（30枚）	○（10枚）	×
ラベル紙	×	○	×
封筒※1（洋形4号）	×	○	×

※1 P.42「使用できない封筒」を参照してください。

補足

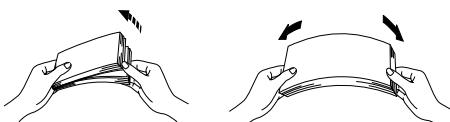
- 宛名ラベルなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- プリンタドライバの［用紙種類］を、記録紙に合わせて設定してください。

セットできる記録紙サイズと枚数

本製品の記録紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの記録紙トレイ（LT-100CL）を増設することができます。増設することにより、最大800枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）セットすることができます。

	標準記録紙トレイ（トレイ 1）	多目的トレイ（MP トレイ）	増設記録紙トレイ（トレイ 2）
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS）、A5、A6、はがき（同等品）	ユーザー定義サイズ (幅69.8～216mm 長さ116.0～406.4mm)	A4、USレター、B5（JIS）、A5
枚数（80g/m^2）	250枚	50枚	500枚

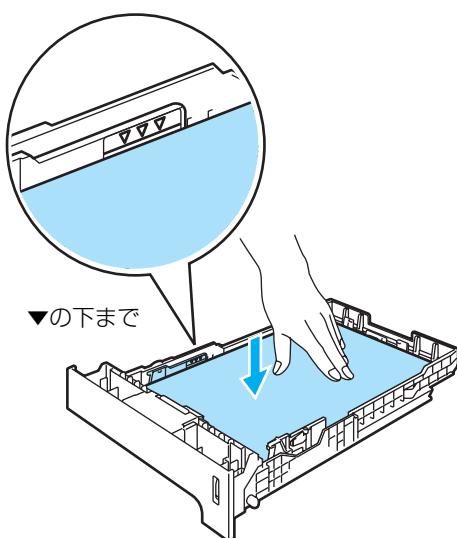
補足

- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

注意

■つぎのような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証対象外となりますので、ご注意ください。

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- アイロン転写紙

■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。

- 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。

■中性の記録紙をお使いください。酸性、アルカリ性の記録紙はお使いにならないでください。

■よこ目用紙は、紙づまりや重送の原因になりますので使用しないでください。

■湿っている記録紙、印刷済みの記録紙は使用しないでください。紙づまりを起こし、故障の原因となります。

■記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。

■一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m²紙）の場合、約150枚です。

使用できない封筒

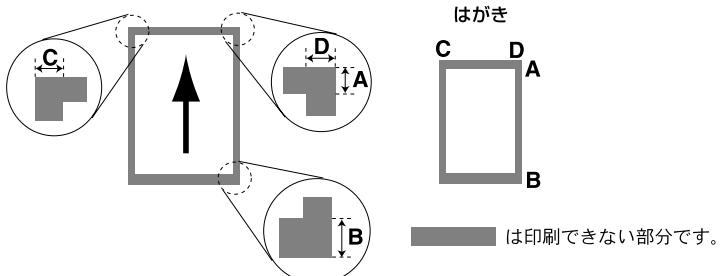
下記のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンタで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

上記の種類の封筒を使用すると、本製品が故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

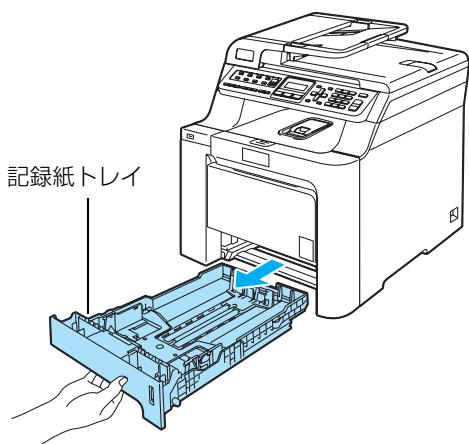
ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

● 特に推奨する封筒のメーカーはありません。上記の「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

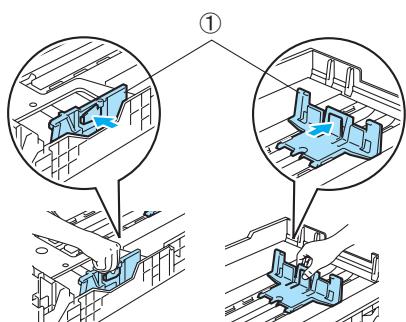
● プリンタドライバの［用紙種類］を、封筒に合わせて設定してください。

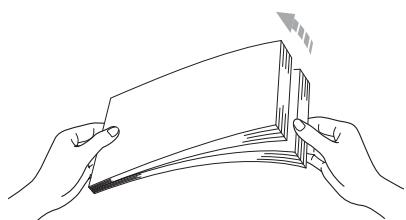
記録紙の印刷可能範囲について

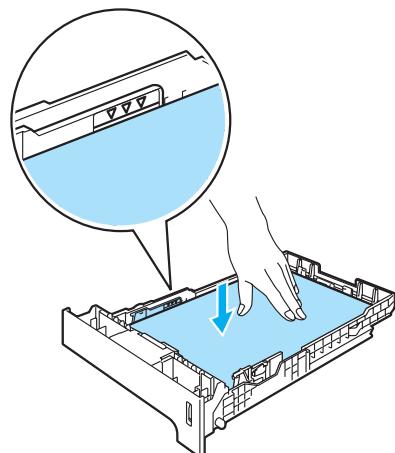
記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	4.0	11.0（自動縮小On時） 4.0（自動縮小Off時）	1.0	1.0
	コピー	4.0	4.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2
はがき （100mm×148mm）	コピー	4.0	4.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

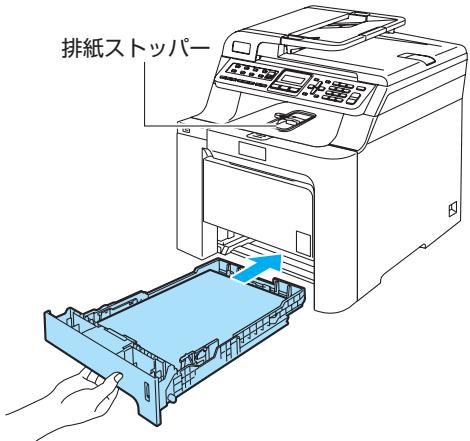
補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

記録紙トレイに記録紙をセットする

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- レバー①をつまみながら使用する記録紙サイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。

注意

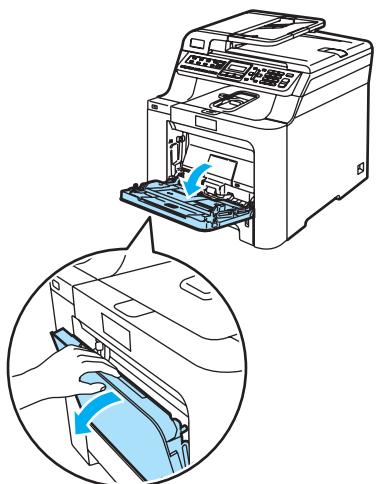
■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■記録紙トレイの内部にラベル等を貼らないでください。紙づまりや給紙ミスの原因になります。

補足

● はがきは約30枚までセットできます。

● A4(80g/m^{2}の普通紙)で約250枚までセットできます。詳しくは、P.40を参照してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻し、排紙ストッパーを起こす

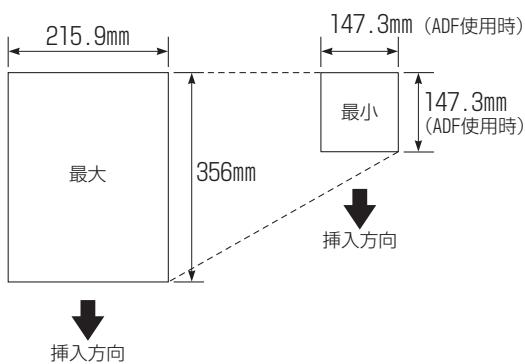
多目的トレイに記録紙をセットする

厚紙、封筒、ラベル紙を印刷するときは多目的トレイ（MPトレイ）を使用してください。

1 多目的トレイを開ける

2 用紙ストッパーを引き出し、開く

3 印字面を上にして記録紙を入れる

はがきは10枚までセットできます。

4 記録紙ガイドを記録紙に合わせる

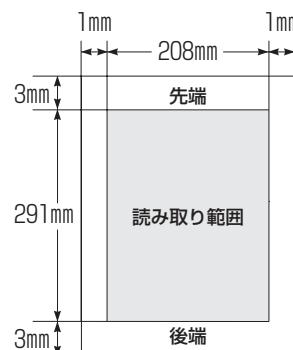
《かならずお読みください》

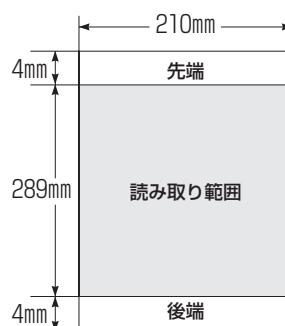
原稿について

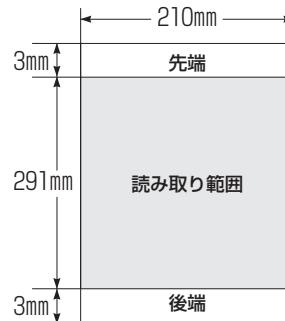
原稿サイズ

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

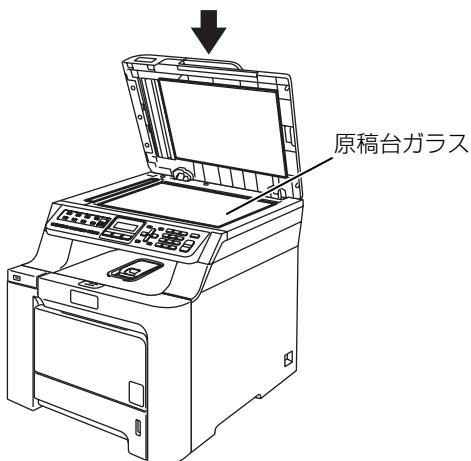
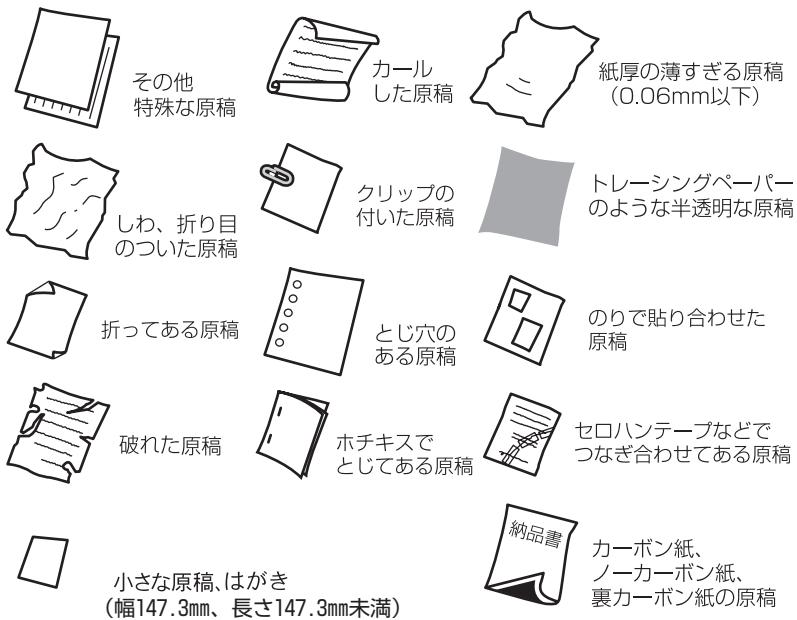
坪量　　　：$64g/m^2$～$90g/m^2$（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

最大質量　：2kg（原稿台ガラス使用時）

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF（自動原稿送り装置）から読み込まれます。ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。
- 原稿がはがきの場合、原稿台ガラスにセットしてください。

原稿の読み取り範囲

A4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

〈ファクス〉

〈コピー〉

〈スキャナ〉

補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。P.43 を参照してください。

注意

■インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

☞次ページへ続く

コピーについて

■法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製はがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

《かならずお読みください》

モードの選択

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードを選択することができます。
現在選択されているモードボタンは青色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Ｏｆｆ」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 メニュー 1 1 を押す

キホン セッテイ
1.モード タイマー

2 ▲または▼で時間を選択する

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Ｏｆｆ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、モードタイマーは「2 フン」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

表示	
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ	：プッシュ回線に設定されたとき
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS ﾃﾞｽ	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

  ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ
  ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

  正しく接続しないまま5分以上放置すると、「ｾｯﾃｲ　ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ」と表示されます。

  ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ

  電話機コード接続しない場合は 停止/終了 を押してください。「ｾﾂｿﾞｸｦ　ﾔﾒﾏｽｶ?」と表示されますので「1. ﾊｲ」を押してください。
  （回線はプッシュ回線に設定されます。）

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。
  手動回線種別の設定については P.51 を参照してください。

  ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ
  ↓
  ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

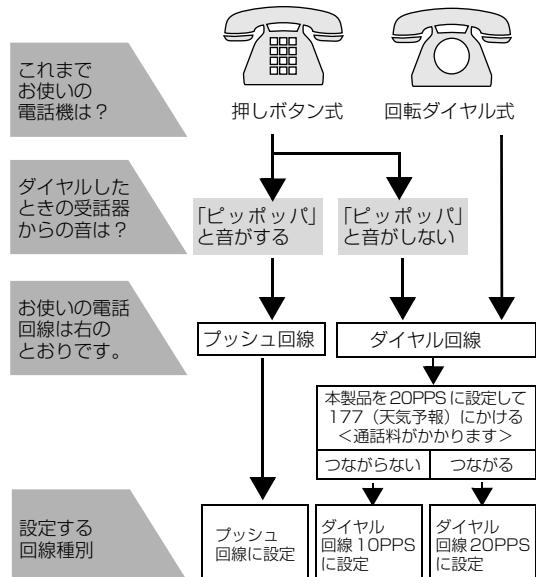
1 メニュー 0 4 GHI を押す

ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
4.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ

2 ▲ または ▼ で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　：ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ
- ダイヤル回線10PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ 10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS
- 自動設定を行うとき　：ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ」を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は「ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
2.ﾄｹｲｾｯﾄ
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力して OK を押す

例：2009年の場合は「09」

```
ﾄｹｲｾｯﾄ
ﾈﾝ:2009
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：8月の場合は「08」

```
ﾄｹｲｾｯﾄ
ﾂｷ:08
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
ﾄｹｲｾｯﾄ
ﾋﾂﾞｹ:21
```

5 時刻（24時間制）を入力する

例：午後3時25分の場合は「1525」

```
ﾄｹｲｾｯﾄ
ｼﾞｺｸ:15:25
```

6 OK を押す

```
ﾄｹｲｾｯﾄ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 停止/終了 を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

```
08/21 15:25 Fax
ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し正しい文字を入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。
- 96時間（もしくは4日間）以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3 DEF を押す

```
ショキ セッテイ
3.ハッシンモト トウロク
```

2 ファクス番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

```
ハッシンモト トウロク
ファクス:03XXXXXXXX
```

3 電話番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。
- ファクス番号と電話番号が同じときは同じ番号を入力してください。

```
ハッシンモト トウロク
デンワ:03XXXXXXXX
```

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

5 OK を押す

```
ハッシンモト トウロク
ウケツケマシタ
```

6 停止/終了 を押す

- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書についてはP.88 を参照してください。

発信元登録を消去する

1 メニュー 0 3 DEF を押す

```
ショキ セッテイ
3.ハッシンモト トウロク
```

2 1 で「ヘンコウ」を選択する

```
スズキ タロウ
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

3 クリア/バック を押して、登録されている文字を1文字ずつ削除する

```
ハッシンモト トウロク
ファクス:
```

4 OK を押す

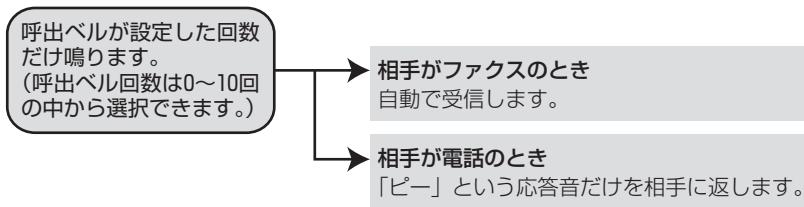
```
ハッシンモト トウロク
ウケツケマシタ
```

5 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

受信モードについて

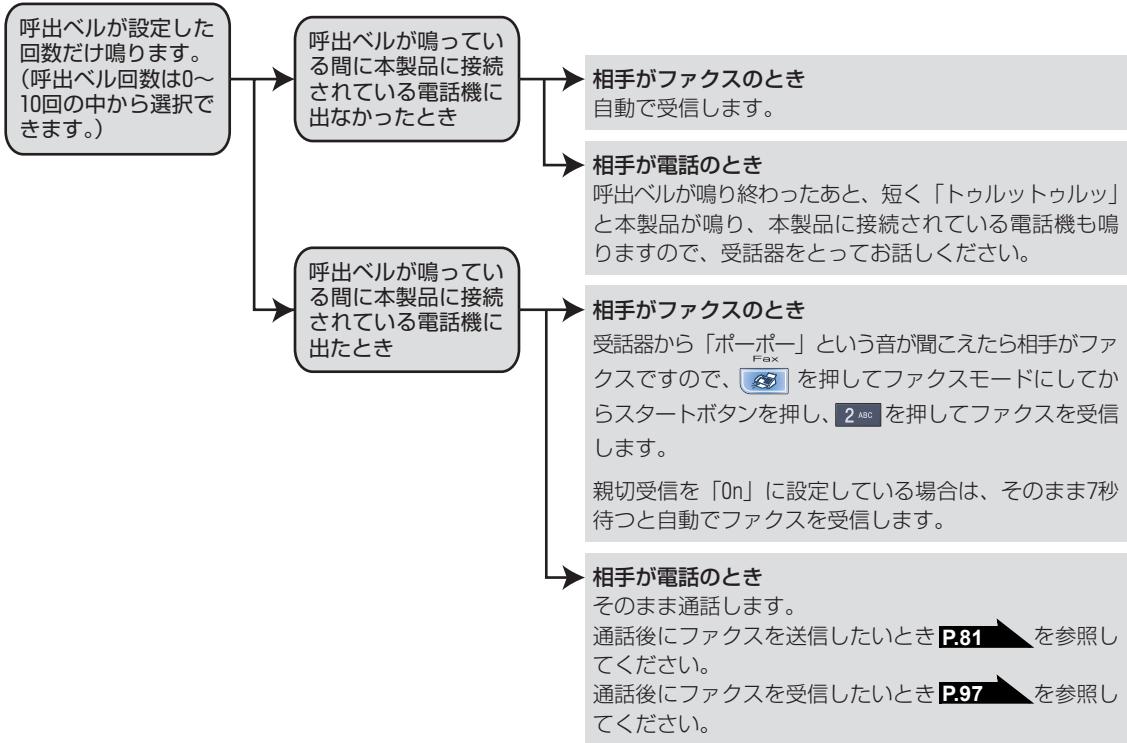
受信モードの種類

本製品の受信モードには以下の種類があります。

■お使いの電話機を本製品と接続しない場合
- ファクス専用モード

■お使いの電話機を本製品と接続する場合
- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本製品と接続しない場合

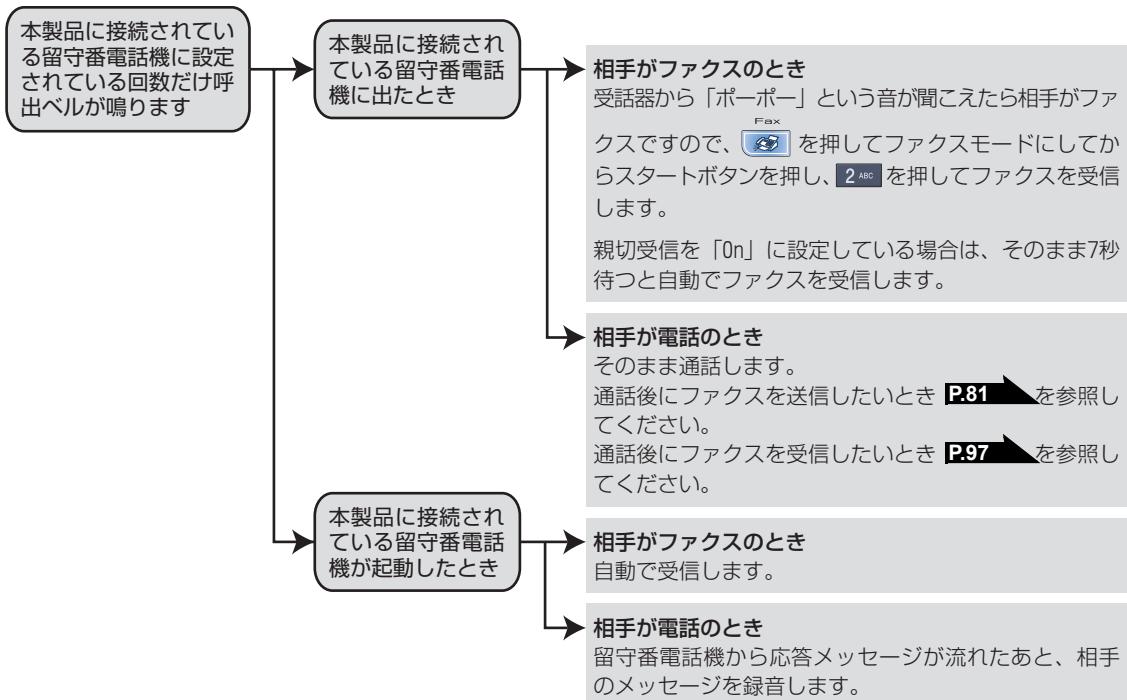
ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0〜10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたはP.59を参照してください。

お使いの電話機を本製品と接続する場合

自動切替モード

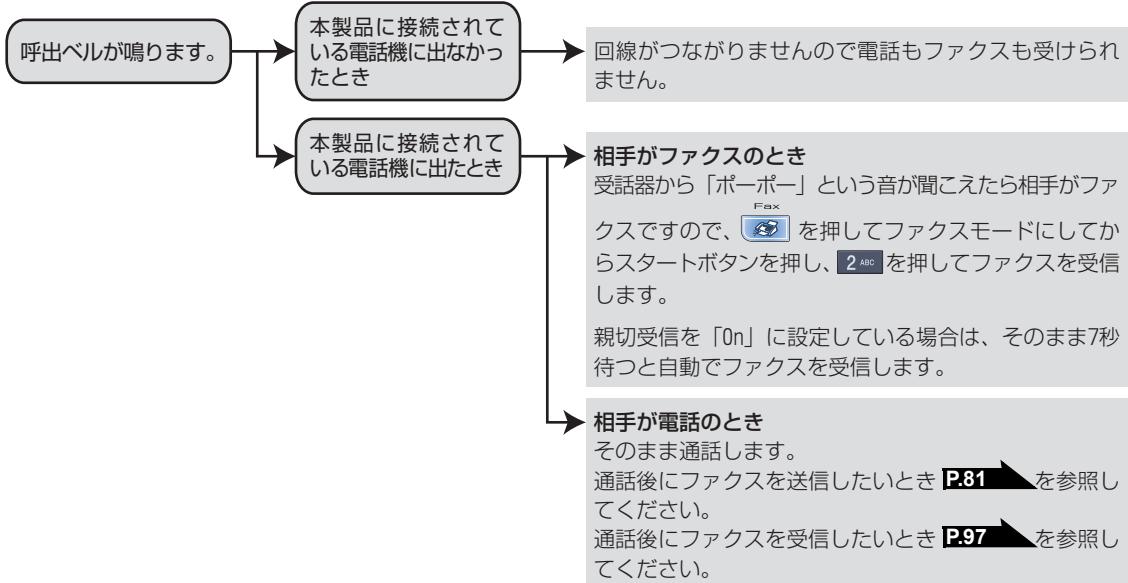
ファクスが送られてきたときは自動受信し､電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P.59 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本製品が着信すると本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは カラースタート または スタートモノクロ を 押し、2 ABC を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して カラースタート または スタートモノクロ を押し、2 ABC を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

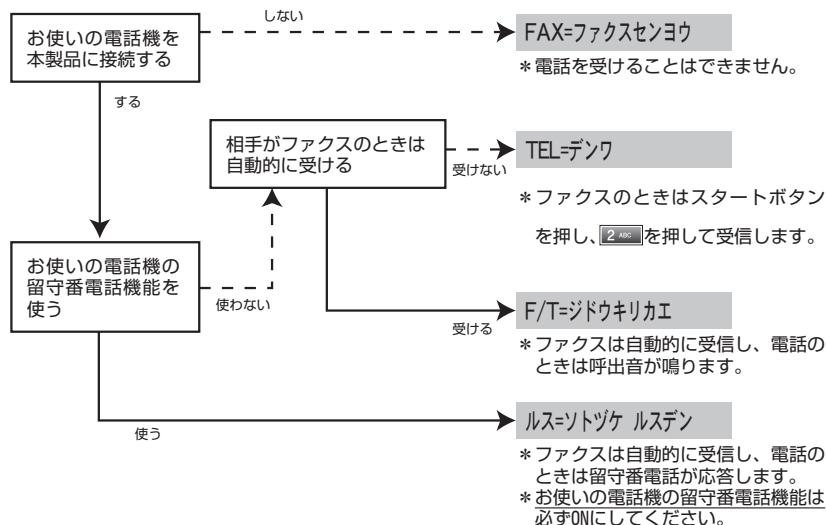
- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P.99 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がADF（自動原稿送り装置）にセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて カラー スタート または スタート モノクロ を押し、2 ABC を押してください。
  親切受信をOnに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して カラー スタート または スタート モノクロ を押し、2 ABC を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選択します。

受信モードを設定する

1 メニュー 0 1 **を押す**

ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
1.ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ

2 ▲ **または** ▼ **で受信モードを選択する**

「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソトヅケ　ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

設定後、標準画面 P.36 表示になります。

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。
- 「FAX=ファクスセンヨウ」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 メニュー 2ABC 1 1 を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
1.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
```

2 ▲または▼で呼出回数を選択する

0〜10回から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1〜2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7〜10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本製品に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P.67 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 メニュー 2ABC 1 2ABC を押す

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
2.ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
```

2 ▲または▼で再呼出回数を選択する

「08」「15」「20」の中から選択します。

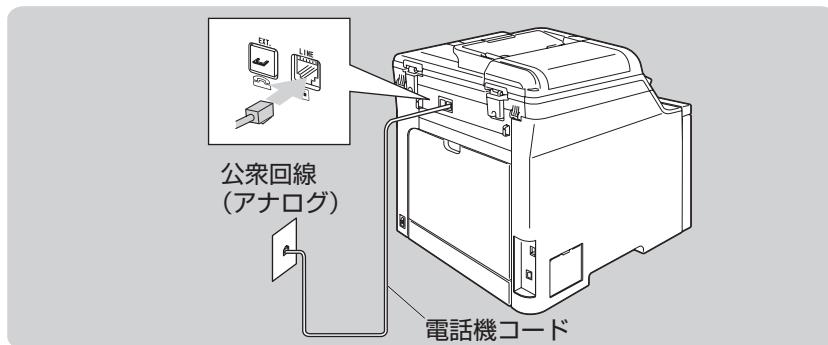
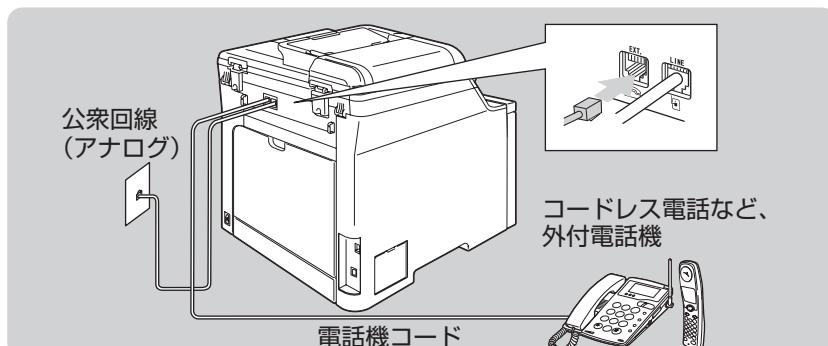
3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

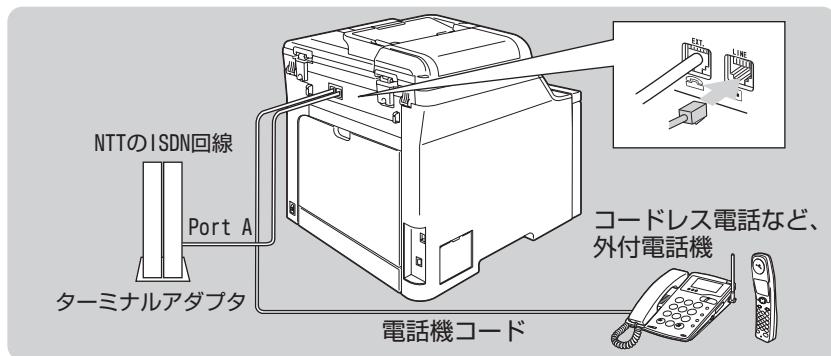
- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼出ベルが鳴ったあと、自動的に電話が切れます。

《かならずお読みください》

本製品の接続イメージ

本製品ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。
外付電話端子にはキャップが取り付けてあります。外付電話端子に接続するときはキャップを取り外してください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

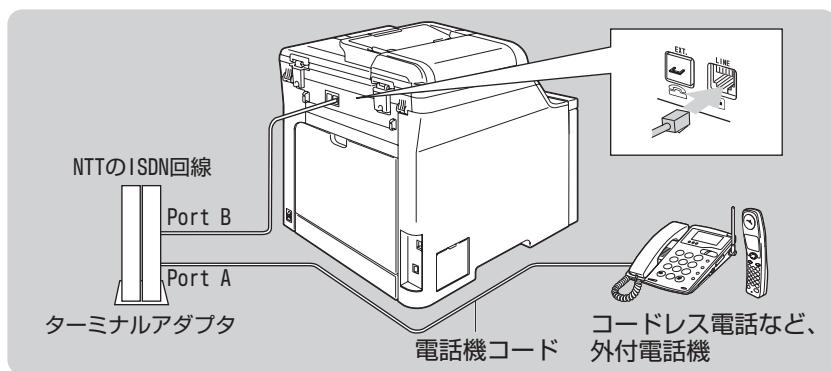
受信モードをファクス専用に設定します。

公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）

本製品に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

補足

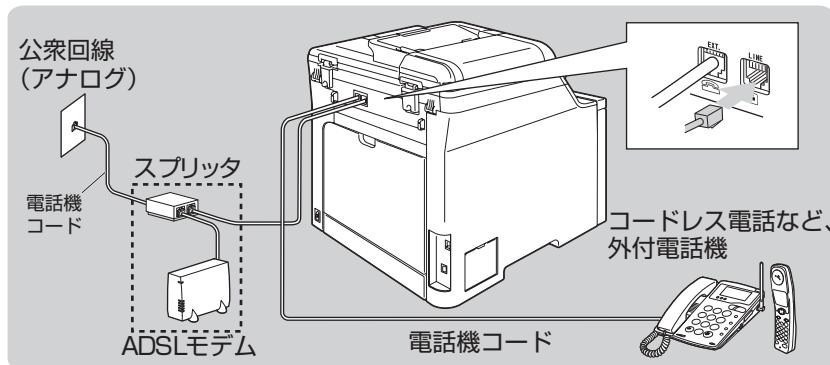
● お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品または本製品に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

● ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本製品に接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹ ﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」に設定してください。P.73 を参照してください。

● 外付電話端子（EXT.)に接続できる端末（電話機など）台数は1台です。

ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

電話とファクスの同時使用はできません。

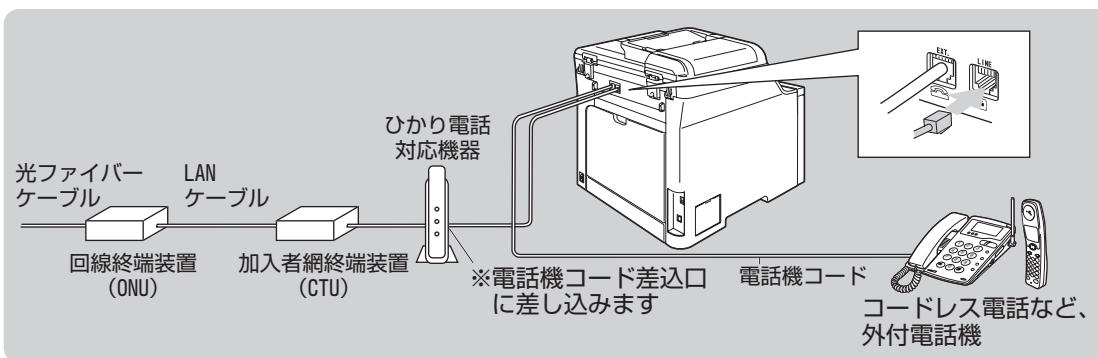
ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

補足

● 各種接続で本製品を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が1つの場合、ターミナルアダプタの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が 1 つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本製品を接続した場合Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
  - 電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたはｉ・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - 本製品の回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。　お買い上げ時の設定は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」になっています。電話回線の設定の詳細については P.51 を参照してください。

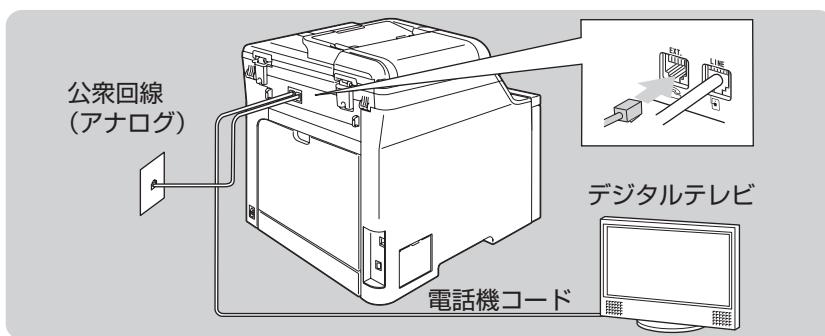
● ターミナルアダプタ側は本製品を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本製品が使えないときは、ターミナルアダプタの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。

● ファクスの送受信がうまくいかない場合は P.75 を参照してください。

ADSL環境に接続する場合

受信モードを自動切替えに設定します。

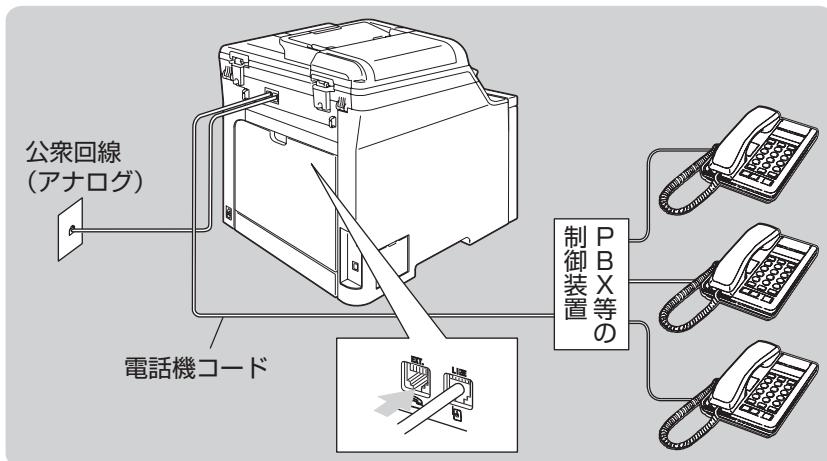
補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。P.25 を参照してください。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP 網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。P.76 を参照してください。
- の部分は、ご利用される機器によって一体型のADSLモデムの場合もあります。

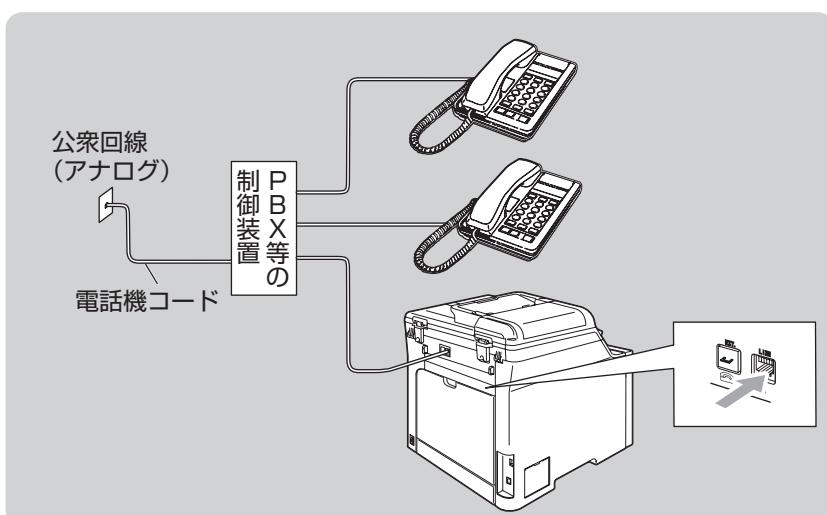
ひかり電話に接続する場合

補足

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

※NTT以外の電話会社をご利用の場合は、同様のサービスでも名称が異なることがあります。

デジタルテレビを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。デジタルテレビは、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。

構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。

補足

- ビジネスホンとは
  電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
  電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本製品を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本製品の特別回線の設定を「PBX」にしてください。P.75 を参照してください。

《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

それぞれの記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 メニュー 1 2 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
2.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
```

2 ▲または▼で設定する記録紙トレイを選択する

- 「ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ」「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1」「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2」の中から選択します。
- 「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2」は、増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できます。

3 OK を押す

```
ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
2.ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1
```

4 ▲または▼で記録紙のタイプを選択する

MPトレイの場合は、「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」「ｱﾂｶﾞﾐ」「ﾊｶﾞｷ」「ﾁｮｳｱﾂｶﾞﾐ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。
トレイ#1の場合は、「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」「ﾊｶﾞｷ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。
トレイ#2の場合は、「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。
- トレイによって、セットできる記録紙が異なります。P.40 を参照してください。

記録紙のサイズを選ぶ

それぞれのトレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1 メニュー 1 3 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
3.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ
```

2 ▲または▼で設定するトレイを選択する

- 「ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ」「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1」「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2」の中から選択します。
- 「ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2」は、増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できます。

3 OK を押す

```
ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1
A4                *
```

4 ▲または▼で記録紙のサイズを選択する

MPトレイの場合は、「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」「USﾚﾀｰ」「ﾌﾘｰ」の中から選択します。
トレイ#1の場合は、「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。
トレイ#2の場合は、「A4」「B5」「A5」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は、記録紙のサイズは「A4」に設定されています。
- 「ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ」で「ﾌﾘｰ」を選択した場合は、「ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ」で「MPﾄﾚｲ ﾉﾐ」を選択してください。P.66 を参照してください。

コピー時の記録紙トレイを選択する

コピーするときに使用する記録紙トレイを選択します。「A > B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 1 を押す

コピ゜ー
MPトレイ > トレイ#1　*

2 ▲または▼で記録紙トレイを選択する

- 「キロクシ　トレイ　#1　ノミ」「MPトレイ　ノミ」「MPトレイ　>　トレイ#1」「トレイ#1　>　MPトレイ」の中から選択します。
- 増設記録紙トレイを装着しているときは「キロクシ　トレイ　#1　ノミ」「キロクシ　トレイ　#2　ノミ」「MPトレイ　ノミ」「MP　>　#1　>　#2」「#1　>　#2　>　MP」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「MP トレイ　>　トレイ#1」に設定されています。増設記録紙トレイを装着しているときは「MP　>　#1　>　#2」に設定されています。
- 原稿台ガラスからコピーするときは、「A　>　B」に設定するとAトレイから記録紙が給紙され、Aトレイに記録紙がなくなったとき自動でBトレイから給紙させることができます。
- ADF(自動原稿送り装置)からコピーするときは、「A　>　B」に設定すると原稿サイズがA4の場合A > Bの優先順位に関係なく、A4が設定されているトレイから給紙されます。A4が設定されているトレイがない場合は、Aトレイ、Bトレイの順に給紙します。

ファクス受信の記録紙トレイを選択する

受信したファクスを印刷するときに使用する記録紙トレイを選択します。「A　>　B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 2 を押す

ファクス
トレイ#1 > MPトレイ　*

2 ▲または▼で記録紙トレイを選択する

- 「キロクシ　トレイ　#1　ノミ」「MPトレイ　ノミ」「MPトレイ　>　トレイ#1」「トレイ#1　>　MPトレイ」の中から選択します。
- 増設記録紙トレイを装着しているときは「キロクシ　トレイ　#1　ノミ」「キロクシ　トレイ　#2　ノミ」「MPトレイ　ノミ」「MP　>　#1　>　#2」「#1　>　#2　>　MP」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「トレイ#1　>　MP トレイ」に設定されています。増設記録紙トレイを装着しているときは「#1　>　#2　>　MP」に設定されています。
- 記録紙が記録紙トレイにない場合は、「キロクシヲ　オクレマセン」が表示されて印刷することができなくなります。P.219

プリンタの記録紙トレイを選択する

パソコンに接続してプリンタとして使用するときの記録紙トレイを選択します。「A ＞ B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 3 を押す

```
プ リンタ
MPトレイ > トレイ#1   *
```

2 ▲または▼で記録紙トレイを選択する

- 「キロクシ トレイ #1 ノミ」「MPトレイ ノミ」「MPトレイ ＞ トレイ#1」「トレイ#1 ＞ MPトレイ」の中から選択します。
- 増設記録紙トレイを装着しているときは「キロクシ トレイ #1 ノミ」「キロクシ トレイ #2 ノミ」「MPトレイ ノミ」「MP ＞ #1 ＞ #2」「#1 ＞ #2 ＞ MP」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「MP トレイ ＞ トレイ#1」に設定されています。増設記録紙トレイを装着しているときは「MP ＞ #1 ＞ #2」に設定されています。
- ここで設定した内容とプリンタドライバの記録紙トレイの設定が一致していない場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
- プリンタドライバの設定が「自動選択」の場合に「キロクシ トレイ #1 ノミ」「MP トレイ ノミ」「キロクシ トレイ #2 ノミ」が設定されているときは、これらのトレイが優先されます。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 1 を押す

```
オンリョウ
1.チャクシン オンリョウ
```

2 ▲または▼で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- Fax ボタンが青色に点灯しているときは着信音量を ◀ ▶ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1 **メニュー 1 4 2 を押す**

オンリョウ
2.ボタンカクニン オンリョウ

2 **▲ または ▼ で音量を選択する**

「Ｏｆｆ」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

3 **OK を押す**

4 **停止/終了 を押す**

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- 「Ｏｆｆ」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 **メニュー 1 4 3 を押す**

オンリョウ
3.スピーカー オンリョウ

2 **▲ または ▼ で音量を選択する**

「Ｏｆｆ」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

3 **OK を押す**

4 **停止/終了 を押す**

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに ◀ ▶ を押して調節することもできます。

トナーを節約する（トナーセーブモード）

トナーを節約したいときは、「ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1 メニュー 1 5 JKL 1 を押す

ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ
1.ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ

2 ▲ または ▼ で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信には影響ありません。

1 メニュー 1 5 JKL 2 ABC を押す

ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ
2.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

分単位で設定します。（最大240分）

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約38秒間かかります。
- お買い上げ時は「005ﾌﾝ」に設定されています。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、コントラストを調整します。

1 メニュー 1 7PQRS を押す

ｶﾞﾒﾝﾉ ｺﾝﾄﾗｽﾄ
▼ −□□■□□+ ▲

2 ▲ または ▼ でコントラストを調整する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

《必要に応じて設定してください》

セキュリティ機能の設定について

パスワードを登録して設定のロックをすることができます。

セキュリティ設定ロックとは

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付・時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ·短縮·グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙（タイプ・サイズ）
- トレイ選択
- 音量（着信·ボタン確認音·スピーカー）
- 省エネモード（トナーセーブ・スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- セキュリティ
- 機能設定リセット
- 個人情報クリア

パスワードを登録する

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 メニュー 1 8 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
8.ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲﾛｯｸ
```

2 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力して OK を押す

初めてパスワードを入力した場合には｢ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｶｸﾆﾝ:｣と液晶ディスプレイに表示されます。

3 パスワードを再度入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 メニュー 1 8 を押す

```
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
8.ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲﾛｯｸ
```

2 ▲または▼を押して「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ」を選択して OK を押す

3 登録済みの４桁のパスワードを入力して OK を押す

```
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ｲﾏﾉﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX
```

4 変更したい４桁の新しいパスワードを入力して OK を押す

液晶ディスプレイに「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｶｸﾆﾝ:」と表示されます。

5 新しいパスワードを再度入力して OK を押す

6 停止/終了 を押す

セキュリティ設定ロックを On にする

1 メニュー 1 8 TUV を押す

```
キホン セッテイ
8.セキュリティ セッテイロック
```

2 ▲または▼を押して「On」を選択して OK を押す

3 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

セキュリティ設定ロックを Off にする

1 メニュー 1 8 TUV を押す

```
キホン セッテイ
8.セキュリティ セッテイロック
```

2 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

3 もう一度 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｶﾞ　ﾁｶﾞｲﾏｽ」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法についてはP.108を参照してください。

補足

- 本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。P.25を参照してください。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバーディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1 メニュー 0 7 PQRS を押す

```
ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
7.ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
```

2 ▲または▼で電話番号の表示方法を選択する

「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

- 「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合、本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

注意

「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」で使用する場合に本製品を「自動切替モード」に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

☞ 次ページへ続く

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

● ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。

● ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「On」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。

● ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にしてください。

● 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 メニュー 0 6 MNO を押す

ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
6.ﾄｸﾍﾞﾂｶｲｾﾝ ﾀｲｵｳ

2 ▲ または ▼ で回線を選択する

「ｲｯﾊﾟﾝ」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｲｯﾊﾟﾝ」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Ｏｆｆ」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「Ｏｎ」にするときは、特別回線対応の設定を「ｲｯﾊﾟﾝ」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「ｹﾝﾁ ｽﾙ」に設定してください。

注意

本製品をPBXやIP電話アダプタに接続している環境で「ｹﾝﾁ ｽﾙ」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「ｹﾝﾁ ｼﾅｲ」のままお使いください。

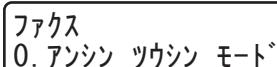
1 メニュー 0 5 JKL を押す

ｼｮｷ ｾｯﾃｲ
5.ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ ｾｯﾃｲ

2 ▲ または ▼ で設定を選択する

「ｹﾝﾁ ｽﾙ」「ｹﾝﾁ ｼﾅｲ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ｹﾝﾁ ｼﾅｲ」に設定されています。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「ｺｳｿｸ」→「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」→「ｱﾝｼﾝ」の順で送受信時間は遅くなりますが、「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」→「ｱﾝｼﾝ」の順にお試しください。

1 メニュー 2 ABC 0 を押す

ﾌｧｸｽ
0.ｱﾝｼﾝ ﾂｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ

2 ▲または▼で回線を選択する

「ｺｳｿｸ」「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」「ｱﾝｼﾝ（VoIP）」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｺｳｿｸ」に設定されています。
- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

ナンバープレフィックスを設定する

PBXなどの使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号をあらかじめ登録しておきます。PBXのある環境で、電話帳の設定を変更せずに外線にダイヤルできます。

1 メニュー 2 ABC 7 PQRS を押す

ﾌｧｸｽ
7.ﾅﾝﾊﾞｰ ﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ

2 ▲または▼でナンバープレフィックスの設定を選択する

「On」「Off」から選択します。

3 「On」を選択したときは、ダイヤルの内容を設定する

- 登録できる番号は最大5桁です。
- 0～9、*、#が登録できます。

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

補足

- 「Ｏｎ」に設定した場合は、ダイヤルボタンからの入力やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル使用時に設定した内容が付加されます。付加しない場合は「Ｏｆｆ」に設定します。
- オンフックにして番号を入力した場合は「On」に設定していても付加されません。
- PCファクスはControlCenterのPC-FAXプレフィックスの設定が優先されます。
- パルス回線をご利用の場合は＊、#を登録できません。

2章

ファクス・電話帳

ファクス送信

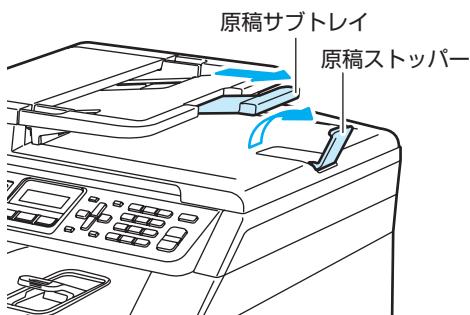
ファクス受信

電話帳

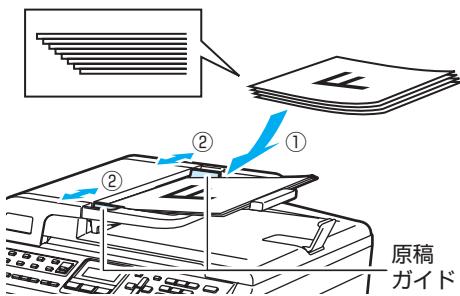
ナンバー・ディスプレイ

《ファクス送信》

ファクスを送る

原稿に合わせて、画質を変更することができます。

ADF（自動原稿送り装置）から送信する〔自動送信〕

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 原稿の大きさに合わせて原稿サブトレイを引き出し、原稿ストッパーを起こす

3 原稿の送信する面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に35枚までセットできます。

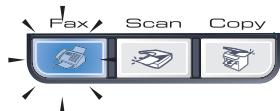
原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

4 相手先のファクス番号を入力する

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

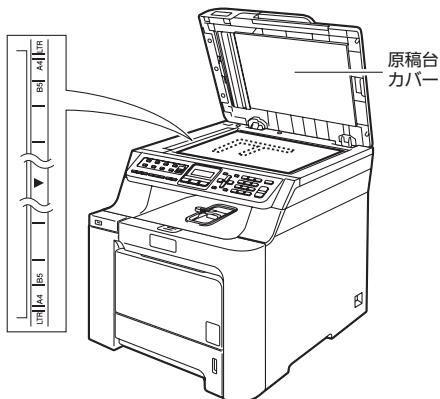
補足

- カラー送信を途中で止めたいときは 停止/終了 を押してください。モノクロ送信を途中で止めたいときは 停止/終了 を押し、1 を押してください。
- ダイヤルのしかたは P.82 を参照してください。
- 「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。P.115 を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響されます。

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスから送信してください。

■ セットできる原稿については、「原稿について」P.46 を参照してください。

原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスから原稿や本のページをファクスで送信できます。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

1 ボタンを押して青色に点灯させる

2 原稿台カバーを持ち上げる

3 原稿台ガラスに原稿の送信する面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドに合わせて中央にセットします。

4 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。

カラーでファクスを送信するとき

5 相手先のファクス番号を入力して カラー スタート を押す

補足
カラーで原稿を複数枚送信するときは、ADF に原稿をセットしてください。

モノクロでファクスを送信するとき

5 **相手先のファクス番号を入力して スタート（モノクロ）を押す**

6 **原稿が 1 枚のときは、2 ABC、または**

を押す

ツギ゛ノ　ゲ゛ンコウアリマスカ?
1.ハイ　2.イイエ(ソウシン)

送信を開始します。

原稿が複数枚のときは、1 を押す

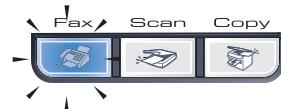
手順7に進みます。

7 **原稿台ガラスに次の原稿をセットして、OK を押す**

送信する原稿枚数分、手順6～7を繰り返します。

8 **最後の原稿を読み取ったら、2 ABC または**

を押す

送信を開始します。

注意

■複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は「Off」にしてください。リアルタイム送信については P.90 を参照してください。

■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。

■原稿が本や厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、オンフック を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **Fax ボタンを押して青色に点灯させる**

2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **オンフック を押して、相手先のファクス番号を入力する**

4 **相手先の受信音（ピー）を確認して**

を押す

5 **原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す**

ファクスが送信されます。

1.ソウシン　2.ジ゛ュシン

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 停止/終了 を押す

2 1 を押す

手動送信のとき

1 停止/終了 を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして カラー スタート または スタート モノクロ を押す

3 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す

ファクスが送信されます。

```
1.ｿｳｼﾝ 2.ｼﾞｭｼﾝ
```

4 本製品に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

《ファクス送信》

便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは16件登録できます。9～16に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、シフト ▼ を押しながらワンタッチボタンを押します。

補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P.103 を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

電話帳検索/短縮 を押した後、登録されている短縮番号（001～300）を押して検索し、ダイヤルします。短縮ダイヤルには最大300件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは P.104 を参照してください。

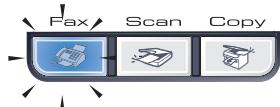
電話帳を使用する

電話帳検索/短縮 を2回押し、検索したい名前の最初の文字を入力して OK を押します。▲ または ▼ で検索してダイヤルします。

補足

- 電話帳登録のしかたは P.103 を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたは P.106 を参照してください。

注意

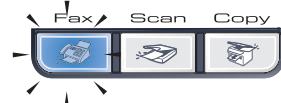
- ■ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳などから連続して2か所以上入力した場合、番号をつなげてダイヤルすることができます。
  P.85「チェーンダイヤルを使用する」を参照してください。
- ■ボタンを押すのを間違えたときは、必ず 停止/終了 を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から送信する

電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す

- 9〜16に登録されている場合は シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。

4 相手先の表示を確認して カラー スタート または

を押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

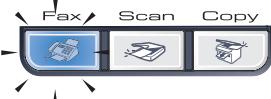
3 電話帳検索/短縮 を押す

▼デ゛ デ゛ンワチョウケンサク
バ゛ンゴ゛ウ デ゛タンシュク

4 相手先が登録されている短縮番号（001〜300）を押す

5 相手先の表示を確認して

または

を押す

03XXXXXXXX
エイギ゛ョウ ダ゛イ1

電話帳を検索して送信する

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 電話帳検索/短縮 を押す

```
▼デ゛ンワチョウケンサク
バ゛ンゴ゛ウ デ゛ タンシュク
```

4 電話帳検索/短縮 を押す

```
ケンサク:
ニュウリョク&ケンサク ボ゛タン
```

5 探したい名前の最初の文字を入力して OK を押す

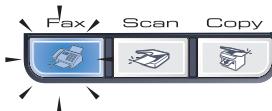
6 ▲または▼で目的の名前を検索し、OK を押して確定する

```
ケンサク:エ
エイギ゛ョウダ゛イ1        ▼
```

入力した文字から始まる相手先名が50音順またはアルファベット順に表示されます。

7 相手先の表示を確認して カラースタート または

を押す

補足

- 原稿台ガラス使用時に モノクロスタート を押したときは、読み取り終了後、2 ABC を押してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P.123 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P.246 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P.103 P.104 P.106 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 再ダイヤル/ポーズ を押す

最後にかけた番号が表示されます。

4 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ｹｯｶ」の欄が「ｵｳﾄｳﾅｼ」もしくは「ﾊﾅｼﾁｭｳ」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤルの登録番号を、相手先の電話番号やファクス番号の前につなげてダイヤルすることができます。

●短縮003に登録した番号「0000」を、短縮005に登録した電話番号「1234」の前につなげてダイヤルする場合

1 電話帳検索/短縮 を押した後
0 0 3 DEF を押す

2 電話帳検索/短縮 を押した後
0 0 5 JKL を押す

3 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

「0000-1234」にダイヤルされます。

●短縮　004　に登録した番号「111」を、電話番号「5678」の前につなげてダイヤルする場合

1 電話帳検索/短縮 を押した後
0 0 4 GHI を押す

2 電話番号 5 JKL 6 MNO 7 PQRS 8 TUV を押す

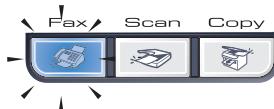
3 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

「111-5678」にダイヤルされます。

補足

電話番号の途中にポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

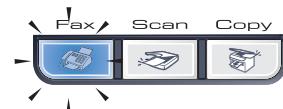
ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ファクス画質 を押す

4 ファクス画質 で画質を選択して OK を押す

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力して

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 2 ABC を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
2.ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ
```

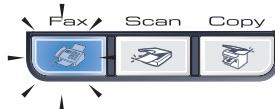
4 ▲ または ▼ で画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ファイン（ファインモード）：小さい文字のとき
  - スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。
- カラーで送信する場合、「スーパーファイン」と「シャシン」を選択した場合、自動的に「ファイン」で送信されます。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ジドウ」に戻ります。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 1 を押す

ソウシン セッテイ
1.ゲンコウ ノウド

4 ▲ または ▼ で原稿濃度を選択する

「ジドウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して

補足

原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- ジドウ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ウスク：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- コク　：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

注意

■送付書をつけてカラー送信はできません。

■発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P.53 を参照してください。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 7 PQRS を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ｿｳﾌｼﾖ

4 ▲ または ▼ で送付書の設定を選択して OK を押す

「ｺﾝｶｲﾉﾐ:On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ:Off」「On」「Off」「ﾌﾟﾘﾝﾄ　ｻﾝﾌﾟﾙ」の中から選択します。

- 「ﾌﾟﾘﾝﾄ　ｻﾝﾌﾟﾙ」を選んだ場合：OK を押して スタート（モノクロ）を押します。
- 「On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「Off」「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

5 ▲ または ▼ でコメントを選択して OK を押す

6 送信枚数を入力する

送信枚数は、「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」を選択した場合のみです。

7 OK を押す

8 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

9 相手先のファクス番号を入力して

を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の5つの中から選んでください。
  - 「On」：毎回送付書をつける
  - 「Off」：毎回送付書をつけない
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」：今回のみ送付書をつける
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」：今回のみ送付書をつけない
  - 「ﾌﾟﾘﾝﾄ　ｻﾝﾌﾟﾙ」：プリントサンプルを出力する
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。
  - 1.コメント ナシ
  - 2.オデンワ クダサイ
  - 3.シキュウ
  - 4.シンテン
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  2種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたはP.89 を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数の設定はできません。
- 送付書の、「TO：」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。P.103 を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書として登録することができます。

1 メニュー 2ABC 2ABC 8TUV を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
8.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ

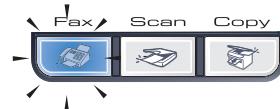
2 ▲ または ▼ でコメントを登録する箇所を選び、OK を押す

コメントは5か6に登録できます。

3 コメントを入力して OK を押す

4 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2ABC を押す

補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P.246 を参照してください。

同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大366か所まで指定できます）。

注意

同報送信ではカラー送信はできません。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先のファクス番号を入力して OK を押す

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

4 2件目以降の相手先を手順3のように入力して OK を押す

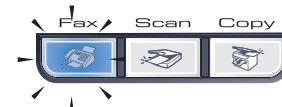
1件登録するごとに下の画面が表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

☞次ページへ続く

5 **すべての相手先を入力して を押す**

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、標準画面 P.36 に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は メニュー 2 ABC 6 MNO で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P.95 を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたら 停止/終了 を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、スタート モノクロ を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 **Fax ボタンを押して青色に点灯させる**

2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **メニュー 2 ABC 2 ABC 5 JKL を押す**

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
5.ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ

4 **▲ または ▼ でリアルタイム送信の設定を選択する**

「ｺﾝｶｲﾉﾐ:On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ:Off」「On」「Off」の中から選択します。

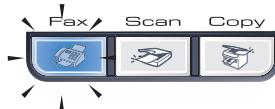
5 **OK を押す**

6 **他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す**

7 **相手先のファクス番号を入力して**

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信とタイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は1枚しか送信できません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- メモリーがいっぱいになると、「Off」に設定されていてもリアルタイム送信されます。
- カラースタートを押した場合は、「Off」に設定されていてもリアルタイム送信されます。

相手の操作で原稿を送信する

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

注意

ポーリング送信でカラー送信はできません。

標準ポーリング送信をする

1 ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2ABC 2ABC 6MNO を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ

4 ▲または▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択する

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2ABC を押す

☞次ページへ続く

7 スタート（モノクロ）を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときはP.95を参照してください。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.90を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れることができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

1 ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2ABC 2ABC 6MNO を押す

```
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
```

4 ▲または▼で「ｷﾐﾂ」を選択して OK を押す

5 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX
```

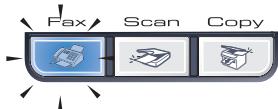
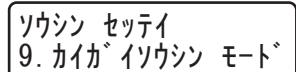
6 OK を押す

7 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2ABC を押す

8 スタート（モノクロ）を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 Faxボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 9 WXYZ を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
9.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ

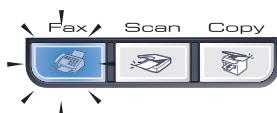
4 ▲または▼で「On」を選択する

5 OKを押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから カラースタート または モノクロスタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

タイマー送信でカラーは選択できません。

1 Fax ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 3 DEF を押す

```
ソウシン セッテイ
3.タイマー ソウシン
```

4 送信する時刻を入力する

例：午後3時5分の場合は「１５０５」

```
タイマー ソウシン
シテイ ジ゛コク=15:05
```

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して

を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、５分おきに３回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「Ｏｎ」に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Ｏｆｆ」に設定してください。P.90 を参照してください。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

注意

取りまとめ送信でカラー送信はできません。

1 メニュー 2 ABC 2 ABC 4 GHI を押す

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
4.ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ

2 ▲または▼で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 メニュー 2 ABC 6 MNO を押す

ﾌｧｸｽ
6.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ

2 ▲または▼で解除する内容を選択する

確認のみのときは 停止/終了 を押します。

3 OK を押す

4 解除するときは 1 を押す

解除を中止するときは 2 ABC を押します。

5 停止/終了 を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには「ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。

《ファクス受信》

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 メニュー 2 1 5 を押す

```
ジ゛ュシン セッテイ
5.ジ゛ト゛ウ シュクショウ
```

2 ▲または▼で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「Off」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信するファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 メニュー 2 1 6 を押す

```
ジ゛ュシン セッテイ
6.インサツ ノウド゛
```

2 ▲または▼で印刷濃度を設定する

▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

```
インサツ ノウド゛
  ▼ −□□■□□+ ▲
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します（メモリー代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ）
- トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ　ＸＸＸＸ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ　ﾏﾁｶﾞｲ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話の受話器を取る

2 「ポーポー」と音がしていたら本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押すか、

「#51」を押した場合は、手順4に進みます。

3 2 ABC を押す

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、Fax を押してファクスモードにしてから カラー スタート または スタート モノクロ を押し、2 ABC を押してファクスを受信します。

4 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては P.54 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。P.98 を参照してください。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから カラー スタート または スタート モノクロ を押し、2 ABC を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後にファクスを受信します。

リモート受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

リモート受信については P.99 を参照してください。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

補足

本製品の カラー スタート または スタート モノクロ を押し、2 ABC を押してもファクスを受信できます。

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま７秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 3 DEF **を押す**

```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
3.ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲ **または** ▼ **で「On」を選択する**

```
ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ
On            *
```

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「Ｏｆｆ」に設定されています。
- 親切受信を「Ｏｎ」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合に約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ｼﾞｭｼﾝ　ﾁｭｳ」と表示されたら受話器を戻します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。そのときは カラー スタート または モノクロ スタート を押し、2 ABC を押してください。
- 親切受信を「Ｏｆｆ」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、カラー スタート または モノクロ スタート を押し、2 ABC を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Ｏｆｆ」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Ｏｆｆ」に設定してある場合でも、本製品に接続されている電話機から操作をしてリモート受信を開始させることができます。
P.99 を参照してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をOnに設定しているときは、本製品に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。P.98 を参照してください。
親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が「Off」になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

1 **本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を入力する**

受話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。P.99「リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する」を参照してください。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、メニュー 2 ABC 1 4 GHI で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。P.99 を参照してください。

リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 メニュー 2 ABC 1 4 GHI **を押す**

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
4.ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲ **または** ▼ **で「On」を選択する**

ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
On

3 OK **を押す**

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

4 OK **を押す**

5 停止/終了 **を押す**

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。
● リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本製品の操作で相手の原稿を受信する

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

標準ポーリング受信をする

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲ または ▼ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　　　　＊

3 相手先のファクス番号を入力する

4 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

ダイヤルを開始します。

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- FAX情報サービスからデータの取り出しをする場合は、事前に情報提供先に操作方法等の確認をしてください。
- ポーリング受信の場合、通話料は受信側の負担となります。

順次ポーリング受信をする

1回の操作で、最大366か所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲ または ▼ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　　　　＊

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して OK を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

を押します。

4 ２件目以降の相手先を手順３のように入力し、OK を押す

5 すべての相手先を入力する

6 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

ダイヤルを開始します。

機密ポーリング受信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲または▼で「ｷﾐﾂ」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｷﾐﾂ

3 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

ダイヤルを開始します。

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定をする〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲または▼で「ﾀｲﾏｰ」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾀｲﾏｰ

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=15:15

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

補足

時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P.95 を参照してください。

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 8 TUV を押す

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
8.ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀﾝﾌﾟ

2 ▲または▼で「On」を選択する

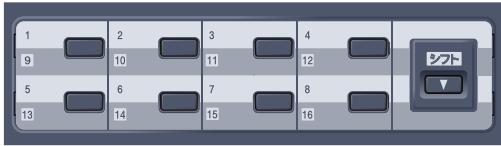
3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

● カラーファクス受信には適用されません。

電話帳を作成する

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1～16（最大16件）に登録することができます。

1 メニュー 2ABC 3DEF 1 を押す

デ゛ンワチョウ トウロク
1.デ゛ンワチョウ/ワンタッチ

2 登録するワンタッチボタンを押す

- 9～16に登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して OK を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

4 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。
- 続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返しします。

5 停止/終了 を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に 記号 ＊ を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶ を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは ▶（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.246 を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップやウェブブラウザからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.123 を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.88 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 メニュー 2ABC 3DEF 1 **を押す**

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
1.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
```

2 **変更するワンタッチボタンを押す**

登録されている内容が表示されます。

```
#005:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

3 1 **を押す**

変更しないときは、2ABC を押します。

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、1 を押した後、クリア/バック を押してすべての電話番号を消去して、OK を押します。

4 **新しい相手先の電話番号を入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 停止/終了 **を押す**

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～300（最大300件）に登録することができます。

1 メニュー 2ABC 3DEF 2ABC **を押す**

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
2.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾀﾝｼｭｸ
```

2 **登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して OK を押す**

- 001～300の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

```
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ?*
```

3 **相手先の電話番号を入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

4 **相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。
- 続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返しします。

5 停止/終了 **を押す**

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に [記号 ＊] を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、[▶] を押してカーソルを右に移動させます。(文字のときは [▶]（2回押）でスペースを入れることができます)
- 文字入力のしかたについては P.246 を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- ポーズを入力するには、[再ダイヤル/ポーズ] を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.123 を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.88 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 [メニュー] [2 ABC] [3 DEF] [2 ABC] を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
2.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾀﾝｼｭｸ
```

2 変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して [OK] を押す

登録されている内容が表示されます。

```
*005:ｴｲｷﾞｮｳ 1
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

3 [1] を押す

変更しないときは、[2 ABC] を押します。

4 新しい相手先の電話番号を入力して [OK] を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 変更しないときは、そのまま [OK] を押します。

5 新しい相手先の名前を入力して [OK] を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま [OK] を押します。

6 [停止/終了] を押す

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめてひとつのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法についてはP.103を参照してください。

1 メニュー 2ABC 3DEF 3DEF **を押す**

```
デ゛ンワチョウ トウロク
3.デ゛ンワチョウ/ク゛ループ゜
```

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
  9～16 を登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  電話帳検索/短縮 を押して短縮番号（001～300）を入力し、OK を押します。

3 グループ番号（1 ～ 20）をダイヤルボタンで入力し OK を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

```
デ゛ンワチョウ/ク゛ループ゜
ク゛ループ゜ ダ゛イヤル:G01
```

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

ワンタッチボタンの「5」と短縮ダイヤルの「009」をグループダイヤルに登録したい場合は、ワンタッチボタンの「5」→ 電話帳検索/短縮 → 0 0 9WXYZ の順に押します。

```
デ゛ンワチョウ/ク゛ループ゜
G01:#005*009
```

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力したら OK を押す

6 グループ名を入力して OK を押す

グループ名は15文字まで登録できます。

7 停止/終了 **を押す**

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大315件まで登録できます。
- 文字入力のしかたについてはP.246を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P.123を参照してください。

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

グループダイヤルを変更する

1 メニュー 2ABC 3DEF 3DEF を押す

```
デンワチョウ トウロク
3.デンワチョウ/グループ
```

2 変更するグループが登録されているワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

```
G01:エイギョウ
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

3 1 を押す

変更しないときは、2ABC を押します。

補足

グループダイヤルを削除するには

1 を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で クリア/バック を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は OK を押します。

4 変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して OK を押す

変更しないときは、そのまま OK を押します。

```
デンワチョウ/グループ
G01:*005#009
```

5 新しいグループ名を入力する

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 OK を押す

7 停止/終了 を押す

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する P.124

着信履歴を確認する

1 シフト ▼ を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲ または ▼ で電話番号を選択して OK を押す

詳細情報が表示されます。

3 停止/終了 を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 シフト ▼ を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲ または ▼ で電話番号を選択して OK を押す

```
02)03XXXXXXXX
   02/24 15:01
```

3 もう一度 OK を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は 1 を、短縮ダイヤルに登録する場合は 2 ABC を押す

5 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「ﾄｳﾛｸｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたあと、手順2に戻ります。

```
#001:03XXXXXXXX
ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
```

補足

「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

6 停止/終了 を押す

3章

転送・リモコン機能

《転送機能》

ファクス転送と電話呼び出し機能

ファクス転送と電話呼び出し機能について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）したり、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。

注意

■メモリーにはモノクロで蓄積されるため、カラーで転送することはできません。

■電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。
ファクス転送のときは、モノクロで転送されます。(カラーでの転送はできません。)

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
1.ﾃﾝｿｳ/ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲ または ▼ で「ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ」を選択して OK を押す

3 転送先番号(転送先の電話番号)を入力して OK を押す

登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルも指定できます。

```
ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ
#:
```

4 ▲ または ▼ で、印刷の設定を選択する

```
ﾎﾝﾀｲﾃﾞﾓ ｲﾝｻﾂ
On            *
```

- 「On」:
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「Off」:
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P.119 を参照してください。
- 転送先番号は最大20桁まで入力できます。(カッコは入力できません。)
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能の流れ

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
オウヨウ キノウ
1.テンソウ/メモリージ゛ュシン
```

2 ▲または▼で「デンワ ヨビダシ」を選択して OK を押す

3 呼び出し先番号を入力する

最大20桁まで入力できます。

```
デ゛ンワ ヨビ゛ダ゛シ
#:
```

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。P.119 を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスを本製品のメモリーやパソコンで受信する

受信したファクスを本製品のメモリーに蓄積したり、本製品と接続しているパソコンに転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。
メモリー受信のときは、モノクロで蓄積されます。（カラーでの受信はできません。）

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
1.ﾃﾝｿｳ/ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲または▼で「ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大500ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「Off」にすると「ﾌｧｸｽ ｼｮｳｷｮ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 ABC を押してください。1 を押すとメモリーから消去されます。

パソコンでファクスを受信する（PCファクス受信）

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスを本製品に蓄積してパソコンに接続したとき、まとめてパソコンに転送します。
パソコン受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
1.ﾃﾝｿｳ/ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ
```

2 ▲または▼で、「PCﾌｧｸｽ ｼﾞｭｼﾝ」を選び、OK を押す

3 ▲または▼で、パソコンが接続されているインターフェースを選び、OK を押す

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
<USB>
```

4 ▲または▼で、印刷の設定を選択する

```
ホンタイデ゙モ インサツ
On             *
```

- 「On」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「Off」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

注意

パソコンでファクスを受信したい場合は、本製品の設定を必ず「PCファクス ジュシン」にしてください。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクスがメモリーに残っている状態で、手順2で「Off」を選択しても、受信したファクスのデータがメモリーに残っている場合は、消去しないと「Off」に設定できません。「スベテノファクス プリント?」または「ファクス ショウキョ?」と表示されたら 1 を押して印刷、消去してください。2 ABC を押すと「Off」に設定できず、データはメモリーに残ります。
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。
印刷はモノクロで行われます。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 3 DEF を押す

```
オウヨウ キノウ
3.ファクス シュツリョク
```

2 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

印刷を開始します。

3 印刷終了後 停止/終了 を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ アリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 2 ABC **を押す**

オウヨウ キノウ
2.アンショウ バンゴウ

2 暗証番号を入力する

ダイヤルボタンで３桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた４桁の番号になります。）

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。P.118 を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、(9)(0)を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約４秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本製品が応答すると約４秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付留守電モードのとき**
    本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- １つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機　　　　能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、#を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋(＊)）を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す

4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋(＊)）を入力する

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す

4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 「ピー」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、
  (#)を1回押します。
  (#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順２の操作を行ってください。

4章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。
7	LAN設定内容リスト	ネットワークの設定内容を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。
- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチをOffにしたまま96時間（もしくは4日間）放置すると、以下の内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

- 送信レポート
- 通信管理レポート
- 着信履歴リスト

送信レポートを表示する

最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴の結果と詳細を表示します。

1 メニュー 6 MNO 1 を押す

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
1.ﾋｮｳｼﾞ

2 1 を押す

通信結果がリストで表示されます。

3 ▲ または ▼ で通信結果を選択し、

OK を押す

通信結果の詳細が表示されます。

4 停止/終了 を押す

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 1 2 ABC を押す

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
2.ｲﾝｻﾂ

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ」と表示されたら、

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 2 ABC を押す

ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ
2.ｷﾉｳｱﾝﾅｲ

2 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ」と表示されたら、

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 3 DEF を押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
1.ﾒﾓﾘｰﾊﾞﾝｺﾞｳｼﾞｭﾝ

2 ▲ または ▼ で印刷方法を選択する

「メモリーバンゴウジュン」「ナマエジュン」の中から選択します。

補足

「メモリーバンゴウジュン」を選択した場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの、それぞれに登録されている番号順に印刷されます。

3 OK を押す

4 「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ」と表示されたら、

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 4 GHI を押す

レポート インサツ
4.ツウシン カンリ レポート

2 「スタートボタンヲ オス」と表示されたら、

カラー スタート または スタート モノクロ を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 5 JKL を押す

レポート インサツ
5.セッテイナイヨウ リスト

2 「スタートボタンヲ オス」と表示されたら、

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 6 MNO を押す

レポート インサツ
6.チャクシンリレキ リスト

2 「スタートボタンヲ オス」と表示されたら、

LAN設定内容リストを印刷する

ネットワークの設定内容を印刷します。

1 メニュー 6 MNO 7 PQRS を押す

レポート インサツ
7.LANセッテイナイヨウリスト

2 「スタートボタンヲ オス」と表示されたら、

送信レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 メニュー 2 ABC 4 GHI 1 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

2 ▲または▼で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「On」「On +イメージ」「Off」「Off +イメージ」の中から選択します。

```
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
Off+ｲﾒｰｼﾞ
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off+イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の４種類の中から選択します。
  On：送信後に毎回自動的に印刷します。
  On+イメージ：「On」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
  Off：通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  Off+イメージ：「Off」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も印刷されます。
- リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 メニュー 2 ABC 4 GHI 2 ABC を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾝｶｸ
```

2 ▲または▼で間隔を設定して OK を押す

- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」「6 ジカンゴト」「12 ジカンゴト」「24 ジカンゴト」「2 カ ゴト」（2日ごと）「7 カ ゴト」（7日ごと）の中から選択します。
- 「7 カ ゴト」を設定したときは、曜日を▲または▼で選択して OK を押してください。

```
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾝｶｸ
50 ｹﾝ ｺﾞﾄ        *
```

3 開始時間を入力する

開始時間は、「50 ケン ゴト」「レポートシュツリョクシナイ」以外を選択した場合のみです。

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

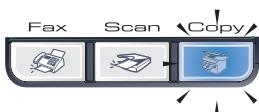
補足

お買い上げ時は「50 ケンゴト」に設定されています。

5章

コピー

コピーをする

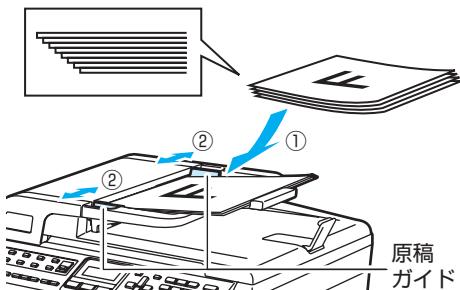
コピー設定

《コピーをする》

コピーをする

補足

- コピーを途中でキャンセルする場合は、停止/終了 を押してください。
- インクやのり、修正液などがついている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。原稿台ガラスやスキャナ読み取り部が汚れ、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナ読み取り部の清掃については、P.167 を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 原稿の大きさに合わせて原稿サブトレイを引き出し、原稿ストッパーを起こす

3 原稿のコピーする面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

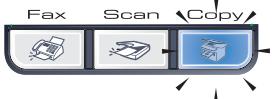
原稿は一度に35枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

4 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

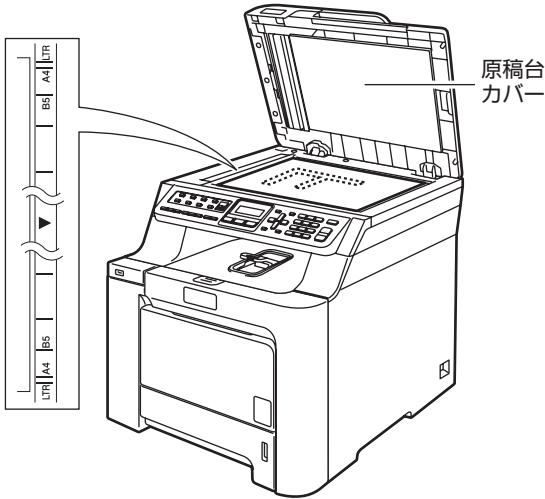
複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときはP.132 を参照してください。

5 カラースタート または スタートモノクロ を押す

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときはP.154 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。

注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスからコピーしてください。

原稿台ガラスからコピーする

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 原稿台カバーを持ち上げる

3 原稿台ガラスに原稿のコピーする面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドに合わせて中央にセットします。

4 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。

5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

6 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。P.167 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- ソートコピーする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。P.132 を参照してください。

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本製品内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

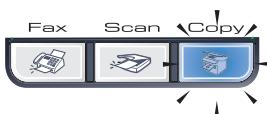
ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

停止/終了 を押すとコピーがキャンセルされます。

メモリーに受信したファクスを印刷して、コピー時に使用できるメモリーを確保してください。

P.115 を参照してください。

補足

- 「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。P.115 を参照してください。
- メモリーは増設することができます。P.214 を参照してください。

《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1～99）をダイヤルボタンで入力する

4 拡大/縮小 を押す

5 拡大/縮小 を押した後、▲または▼で倍率を選択する

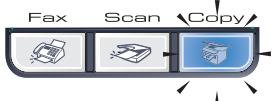
カクダイ/シュクショウ
100%

倍率は以下の中から選択します。

- 200%
- 141%　A5→A4
- 115%　B5→A4
- 100%
- 97%　USレター→A4
- 94%　A4→USレター
- 91%　フルページ
- 87%　A4→B5
- 83%　サイダイ→A4
- 70%　A4→A5
- 50%
- カスタム
  （25%～400%：ダイヤルボタンで入力）

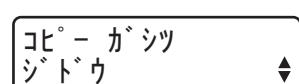
6 OK を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して OK を押してください。

7 カラースタート または モノクロスタート を押す

補足

- お買い上げ時は「100%」に設定されています。
- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。

画質を設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲または▼で「コピー　ガシツ」を選択して OK を押す

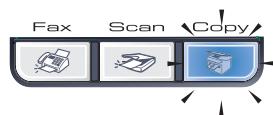
5 ▲または▼でコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

ジドウ　：自動的に画質を調整します。
テキスト：薄い文字をはっきりと印刷します。
シャシン：グラデーションをきれいに印刷します。

6 OK を押す

7 カラー スタート または モノクロ スタート を押す

補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

明るさを設定する

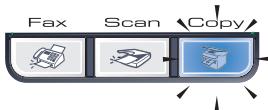
一時的にコピーの濃さ（明るさ）を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲または▼で「アカルサ」を選択して OK を押す

5 ▲または▼でコピーの濃度を選択する

- 明るさは5段階で調整できます。
- ▲を押すと明るくなり、▼を押すと暗くなります。

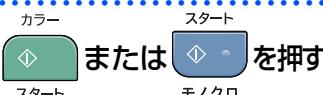
コントラストを調整する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

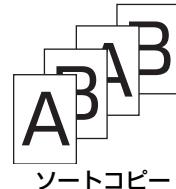
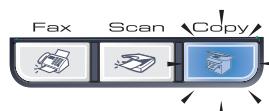
1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

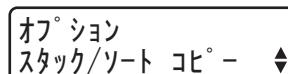
4 オプション を押し、▲ または ▼ で「コントラスト」を選択して OK を押す

5 ▲ または ▼ でコピーのコントラストを調整する

- コントラストは5段階で調整できます。
- ▲ を押すと濃くなり、▼ を押すと薄くなります。

6 OK を押す

7 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

ソートコピーを設定する

一時的にソートコピーすることができます。

ソートコピー

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

原稿台ガラスからソートコピーはできません。

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲ または ▼ で「スタック/ソート コピー」を選択して OK を押す

オプション
スタック/ソート コピー ◆

5 ▲ または ▼ で「ソートコピー」を選択して OK を押す

6 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

補足

コピー枚数は99部まで設定できます。100部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

■原稿の読み込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときはP.129を参照してください。

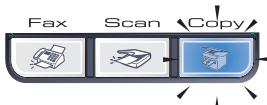
■メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーは増設することができます。詳しくはP.214を参照してください。

N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

〈2 in 1（タテナガ）〉

〈2 in 1（ヨコナガ）〉

〈4 in 1（タテナガ）〉

〈4 in 1（ヨコナガ）〉

N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲または▼で「レイアウトコピー」を選択して OK を押す

```
ｵﾌﾟｼｮﾝ
ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ          ▲▼
```

5 ▲または▼でレイアウトを選択して OK を押す

「2 in 1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)」「2 in 1 (ﾖｺﾅｶﾞ)」
「Off（1in1)」
「4 in 1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)」「4 in 1 (ﾖｺﾅｶﾞ)」の中から選択します。

```
ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ
2in1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)        ▲▼
```

6 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

原稿を読み取ります。

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順7に進みます。

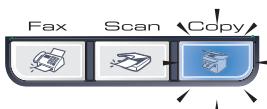
7 1 を押す

```
ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｱﾘﾏｽｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

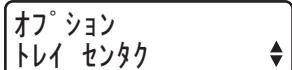
原稿を読み取り、コピーが開始されます。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

☞次ページへ続く

9 すべての原稿を読み取った後、2 ABC を押す

補足

- N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A 4」または「US レター」がセットされていることを確認してください。

コピーするときの記録紙トレイを選択する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 Copy ボタンを押して青色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲ または ▼ で「トレイ　センタク」を選択して OK を押す

オプション
トレイ　センタク

5 ▲ または ▼ で使用する記録紙トレイを選択する

「MPトレイ　＞　トレイ#1」「トレイ#1　＞　MPトレイ」「#1（XXX）」「MP（XXX）」の中から選択します。

- 増設記録紙トレイを装着しているときは「MP＞#1＞#2」「#1＞#2＞MP」「#1（XXX）」「#2（XXX）」「MP（XXX）」の中から選択します。
- XXXは、「記録紙サイズ」で選択したサイズが表示されます。

6 OK を押す

7 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

補足

- お買い上げ時は「MP トレイ　＞　トレイ#1」に設定されています。
- 「A　＞　B」に設定したときは、Aのトレイに記録紙がなくなったとき、Bトレイに同じサイズの記録紙がセットされていると、自動でBトレイから給紙させることができます。

設定内容を保持する

お買い上げ時の本製品の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合は P.130 を参照してください。

画質を変更する

コピーの画質を変更します。ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3 DEF 1 を押す

コピ゜ー
1.コピ゜ー ガ゛シツ

2 ▲ または ▼ で画質を選択する

「テキスト」「シャシン」「ジドウ」の中から選択します。

コピ゜ー ガ゛シツ
ジ゛ド゛ウ *

ジドウ ：自動的に画質を調整します。
テキスト ：薄い文字をはっきりと印刷します。
シャシン ：グラデーションをきれいに印刷します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

明るさを変更する

コピーの濃さ（明るさ）を変更します。ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3 DEF 2 ABC を押す

コピ゜ー
2.アカルサ

2 ▲ または ▼ で明るさを調整する

- 明るさは5段階で調整できます。
- ▲ を押すと明るくなり、▼ を押すと暗くなります。

アカルサ
▼ −□□■□□+ ▲

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

コントラストを変更する

コピーのコントラストを変更します。ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3DEF 3DEF を押す

コピ゜ー
3.コントラスト

2 ▲ または ▼ でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。
▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

コントラスト
▼ −□□■□□+ ▲

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

色の濃さを変更する

コピーの色の濃さを変更します。ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3DEF 4GHI を押す

コピ゜ー
4.カラー チョウセイ

2 ▲ または ▼ で調整する色を選択し、OK を押す

「1. レッド」「2. グリーン」「3. ブルー」の中から選択します。

3 ▲ または ▼ で濃さを調整する

濃さは5段階で調整できます。
▲を押すと色味が増し、▼を押すと色味が減少します。

レッド
▼ −□□■□□+ ▲

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

6章

USB ダイレクトプリント

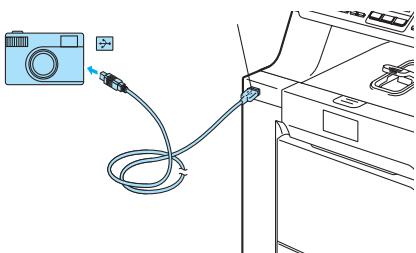
USBダイレクトプリントとは

本製品はPictBridge（ピクトブリッジ）に対応しています。PictBridge（ピクトブリッジ）対応のデジタルカメラと本製品をUSBケーブルで接続して、直接写真を印刷することができます。
また、市販のUSBメモリーに保存したメディアを接続して、直接保存されている画像やファイルを印刷することができます。

PictBridge（ピクトブリッジ）の必要条件

- 本機とデジタルカメラが適切なUSBケーブルで接続されていること
- 本機と接続するデジタルカメラで画像が撮影されていること

デジタルカメラで行う設定について

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のデジタルカメラでは、液晶ディスプレイからPictBridge（ピクトブリッジ）機能を利用して、次の項目を設定できます。ただし、デジタルカメラにより設定できない項目があります。
- 印刷枚数
- 印刷品質
- 用紙サイズ
- 日付印刷
- ファイル名印刷
- レイアウト

また、操作パネルからPictBridge（ピクトブリッジ）の設定ができます。詳しくは、「操作パネルでPictBridgeの設定をする」P.140を参照してください。

デジタルカメラから直接印刷する

印刷のしかた

1 デジタルカメラの電源をOFFにする

2 デジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続する

3 デジタルカメラの電源をONにする

```
08/21 10:08  Fax
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ ｾﾂｿﾞｸ
```

4 デジタルカメラを操作し、印刷したい画像を表示させる

5 デジタルカメラから印刷指示をする

詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

```
PictBridge
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ. ﾃﾞﾊﾞｲｽ
```

デジタルカメラからデータが送信されます。「ｲﾝｻﾂﾁｭｳ. ﾃﾞﾊﾞｲｽ ｦ ﾇｶﾅｲﾃﾞｸﾀﾞｻｲ.」が表示されている間はUSBケーブルを抜いたり、デジタルカメラの電源をOFFにしないでください。

補足

● お使いのデジタルカメラが PictBridge に対応していない機種の場合、本製品はデジタルカメラ内のメモリーカードをUSBメモリーと同様に記憶装置として認識します。写真データを印刷するには、本製品のパネルから操作してください。詳しくは「USBメモリーなどから直接印刷する」P.143 を参照してください。

操作パネルでPictBridgeの設定をする

補足

デジタルカメラ側でPictBridgeの設定がされている場合は、デジタルカメラ側の設定が優先されます。操作パネルの設定は、デジタルカメラ側でPictBridgeについてプリンタの設定を優先するように設定されている場合に有効になります。

記録紙サイズを設定する

印刷する記録紙のサイズを設定します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF 1 を押す

```
PictBridge
1.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ
```

2 ▲ または ▼ で用紙サイズを選択する

「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」の中から選択します。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
A4              ＊
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「A4」に設定されています。

印刷の方向を設定する

記録紙の印刷する方向を設定します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF 2 ABC を押す

```
PictBridge
2.ｲﾝｻﾂ ﾉ ﾑｷ
```

2 ▲ または ▼ で用紙サイズを選択し、OK を押す

「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」の中から選択します。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
A4
```

3 ▲ または ▼ で記録紙の方向を選択する

「ﾀﾃ」「ﾖｺ」の中から選択します。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾀﾃ              ＊
```

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

日時の印刷の有無を設定する

印刷時に撮影日時を印刷するかどうかを設定します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF 3 DEF **を押す**

```
PictBridge
3.ヒヅ゛ケ インサツ
```

2 ▲ **または** ▼ **で選択する**

- 「On」を選択した場合、撮影した日時が印刷されます。
- 「Off」を選択した場合、日時は印刷されません。

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
Off                *
```

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off（印刷しない）」に設定されています。
- この項目はデジタルカメラからも設定できます。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

ファイル名印刷の有無を設定する

印刷時にデジタルカメラに保存されている写真のファイル名を印刷するかどうかを設定します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF 4 GHI **を押す**

```
PictBridge
4.ファイルメイ インサツ
```

2 ▲ **または** ▼ **で選択する**

- 「On」を選択した場合、ファイル名が印刷されます。
- 「Off」を選択した場合、ファイル名は印刷されません。

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
Off                *
```

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off（印刷しない）」に設定されています。
- この項目はデジタルカメラからも設定できます。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

画質を設定する

印刷時の画質を設定します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF 5 JKL を押す

```
PictBridge
5.インサツ ヒンシツ
```

2 ▲または▼で選択する

「ヒョウジュン」「キレイ」の中から選択します。

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
ヒョウシ゛ュン　　　　＊
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
- 「キレイ」を選択すると、印刷に時間がかかることがあります。
- この項目はデジタルカメラからも設定できます。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

USBメモリーなどから直接印刷する

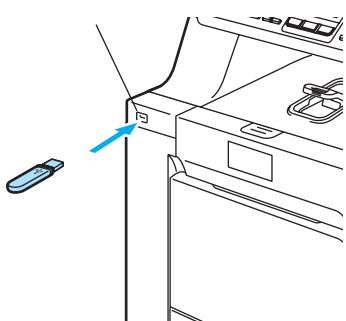
本製品のUSBメモリー差込口にUSBメモリーを接続するだけで印刷ができます。

補足

ご使用のUSBメモリーによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。

対応しているデータ形式

USBダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は次のとおりです。

- JPEG形式
- PDF形式
- TIFF形式
- PRN形式
- PostScript®3™形式※

※BRScript3プリンタドライバ画面から作成

補足

PRN形式およびPostScript®3™形式のファイルを保存するには、プリンタドライバ画面で「ファイルに保存」項目にチェックを付けます。

印刷のしかた

1 USBメモリーをUSBメモリー差込口に接続する

本製品がUSBメモリーを認識し、が青く点灯します。

2 USBダイレクトを押す

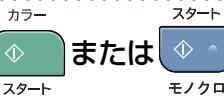
フォルダやデータ名が表示されます。

3 ▲または▼でフォルダやデータを選択する

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
1./TESTDA~1
```

- フォルダを選択しているときは、フォルダ名の前に「/」が表示されます。
- フォルダの中に入るときはOKを押します。
- 一つ上の階層に戻るときはクリア/バックを押します。
- データを選択しているときは、データ名の最初の8文字（半角）と拡張子が表示されます。
- 小文字のフォルダ名、ファイル名および拡張子は半角大文字で表示されます。
- データやフォルダ名が全角のカタカナ、ひらがな、漢字のときは「??」と表示されます。
- 拡張子を除くデータやフォルダ名が半角9文字以上の場合は、次のように表示されます。
brotherprintdata.pdf→BROTHE~1.PDF
- 最初の 6 文字で同じファイル名が続く場合は、「BROTHE~1.PDF」「BROTHE~2.PDF」と表示されます。

4 OKを押す

☞次ページへ続く

5 印刷の設定をする

記録紙サイズ、記録紙タイプ、レイアウト、印刷の向き（JPEG形式選択時のみ）、部単位、トレイ選択、画質、PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

の設定を行います。設定項目は▲または▼で選択し、OKを押して確定します。

```
ｲﾝｻﾂ ｾｯﾃｲ
ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ
```

6 カラースタートまたはモノクロスタートを押す

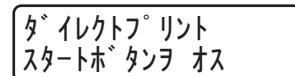
7 プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタンで入力する

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

USBメモリーからデータが送信されます。「ｲﾝｻﾂﾁｭｳ. ﾃﾞﾊﾞｲｽ ｦ ﾇｶﾅｲﾃﾞｸﾀﾞｻｲ.」とメッセージが表示されている間はUSBメモリーを抜かないでください。

補足

印刷の設定はあらかじめメニューで設定しておくこともできます。詳しくは「操作パネルから印刷の設定をする」P.145 を参照してください。

フォルダ構成やデータの一覧を印刷する

フォルダ内にあるフォルダ構成やデータの一覧を印刷できます。

1 データを選択していない状態で▲または▼を押し、「ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ」を表示させる

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 OKを押す

3 カラースタートまたはモノクロスタートを押す

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

補足

- インデックスシートはカラーで印刷されます。
- 印刷されるインデックスシートの内容については P.149 を参照してください。

操作パネルから印刷の設定をする

記録紙サイズを設定する

印刷する記録紙のサイズを設定します。
データの用紙サイズは、ここで設定した記録紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小されます。

1 メニュー 5 JKL 1 1 を押す

```
ダ゛イレクト プ゛リント
1.キロクシ サイス゛
```

2 ▲ または ▼ で記録紙サイズを選択する

「A4」「B5」「A5」「A6」「ハガキ」の中から選択します。

```
▲▼テ゛センタク&OKホ゛タン
A4                 *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「A4」に設定されています。

記録紙種類を設定する

印刷する記録紙の種類を設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 2 ABC を押す

```
ダ゛イレクト プ゛リント
2.キロクシ タイプ゛
```

2 ▲ または ▼ で記録紙種類を選択する

「フツウシ」「フツウシ(アツメ)」「アツガミ」「ハガキ」「チョウアツガミ」「サイセイシ」の中から選択します。

```
▲▼テ゛センタク&OKホ゛タン
フツウシ              *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。

N in 1を設定する

N in 1プリントを設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 3 DEF を押す

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
3.ﾚｲｱｳﾄ
```

2 ▲または▼でレイアウトの種類を選択する

「1in1」「2in1」「4in1」「9in1」「16in1」「25in1」「タテ2×ヨコ2バイ」「タテ3×ヨコ3バイ」「タテ4×ヨコ4バイ」「タテ5×ヨコ5バイ」の中から選択します。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
1in1            *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「1in1」に設定されています。

印刷の方向を設定する

印刷する方向を設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 4 GHI を押す

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
4.ｲﾝｻﾂ ﾉ ﾑｷ
```

2 ▲または▼で印刷の方向を選択する

「タテ」「ヨコ」の中から選択します。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾀﾃ              *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「タテ」に設定されています。

部単位での印刷を設定する

部単位で印刷するかどうかを設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 5 JKL を押す

```
ダ゛イレクト プ゜リント
5.ブ゛タンイ
```

2 ▲ または ▼ で選択する

「On」「Off」から選択します。

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
On                  *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「On」に設定されています。

画質を設定する

画質を設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 6 MNO を押す

```
ダ゛イレクト プ゜リント
6.インサツ ヒンシツ
```

2 ▲ または ▼ で選択する

「ヒョウジュン」「キレイ」の中から選択します。

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
ヒョウジ゛ュン          *
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
- 「キレイ」を選択すると、印刷に時間がかかることがあります。

PDFオプションを設定する

PDFデータを印刷するとき、印刷する内容を設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 7 PQRS を押す

ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
7.PDF ｵﾌﾟｼｮﾝ

2 ▲または▼で選択する

「ﾌﾞﾝｼｮ」「ﾌﾞﾝｼｮ&ｽﾀﾝﾌﾟ」「ﾌﾞﾝｼｮ&ﾁｭｳｼｬｸ」の中から選択します。

▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ﾌﾞﾝｼｮ *

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ﾌﾞﾝｼｮ」に設定されています。

インデックスシートの形式を設定する

インデックスシートの形式を設定します。

1 メニュー 5 JKL 1 8 TUV を押す

ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
8.ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ｾｯﾃｲ

2 ▲または▼で選択する

「ｶﾝｲ」「ｼｮｳｻｲ」から選択します。

▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ｶﾝｲ *

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｶﾝｲ」に設定されています。
- 「ｶﾝｲ」を選択すると、フォルダ名、ファイル名、更新日時、ファイル形式のアイコンが印刷されます。JPEGファイルはサムネール画像が印刷されます。
- 「ｼｮｳｻｲ」を選択すると、フォルダ名、ファイル名、更新日時が印刷されます。PDFファイル、JPEGファイルはサムネール画像が印刷されます。
- PDFファイルはページ数が印刷されます。

インデックスシートの内容

簡易

簡易方式のインデックスシートに印刷される内容は次のとおりです。

① フォルダ
　フォルダのアイコンが表示されます。

② フォルダ名
　フォルダ名が表示されます。

③ フォルダの作成年月日および時刻が表示されます。

④ ファイル
　・ファイル形式を表すアイコンが表示されます。印刷できないデータのアイコンは「？」で表示されます。
　・JPEG形式の場合はサムネール画像が印刷されます。

⑤ ファイルの情報
　ファイル名、ファイルサイズ、ファイルの作成年月日および時刻が表示されます。

⑥ PDFファイルまたはTIFFファイルの場合はページ数が表示されます。

詳細

詳細方式のインデックスシートに印刷される内容は次のとおりです。

① フォルダ
　フォルダのアイコンが表示されます。

② フォルダ名
　フォルダ名が表示されます。

③ フォルダの作成年月日および時刻が表示されます。

④ ファイル
- ファイル形式を表すアイコンが表示されます。印刷できないデータのアイコンは「？」で表示されます。
- JPEG形式の場合はサムネール画像が印刷されます。
- PDF形式の場合は、1ページ目のサムネール画像が印刷されます。

⑤ ファイルの情報
　ファイル名、ファイルサイズ、ファイルの作成年月日および時刻が表示されます。

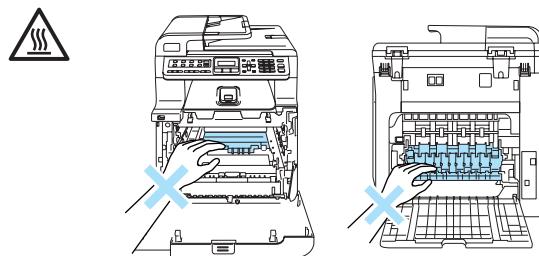
⑥ PDFファイルまたはTIFFファイルの場合はページ数が表示されます。

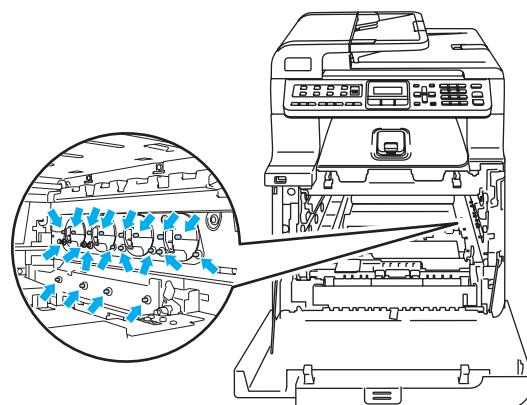
7章

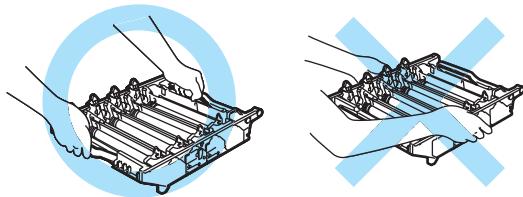
こんなときは

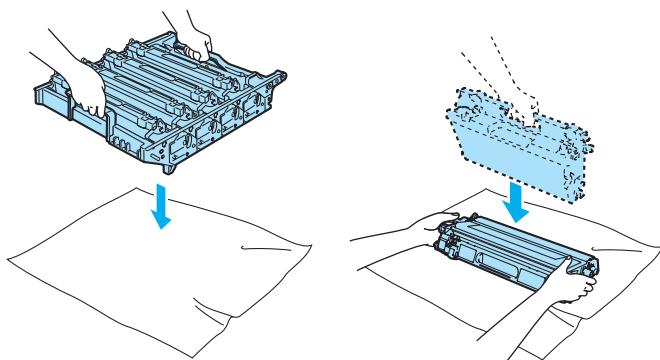
《日常のお手入れ》

紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき P.154 を参照してください。	ｹﾞﾝｺｳﾂﾞﾏﾘ ADF
記録紙がつまったとき P.155 を参照してください。	ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ XXXX

“XXXX”は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

注意

■本製品の内部を操作するときは、必ず電源スイッチをOffにしてから行ってください。

■本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、下図の水色の部分には絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

補足

次の記録紙は紙づまりを起こすおそれがあるため、使用しないでください。

● 曲がっていたりカールしている記録紙

● 湿っている記録紙

● ミシン目の入った記録紙

● 本製品の仕様に合わない記録紙 P.47 を参照してください。

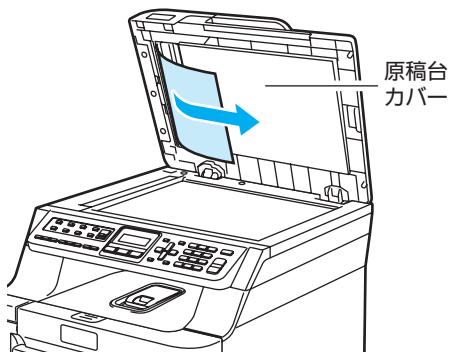
原稿がつまったときは

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

```
ｹﾞﾝｺｳﾂﾞﾏﾘ ADF
```

ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す

3 原稿台カバーを閉じる

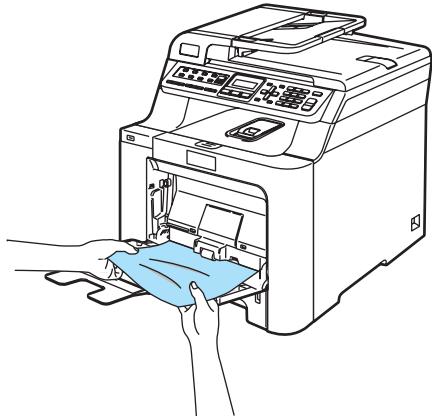
4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿をゆっくり引き出す

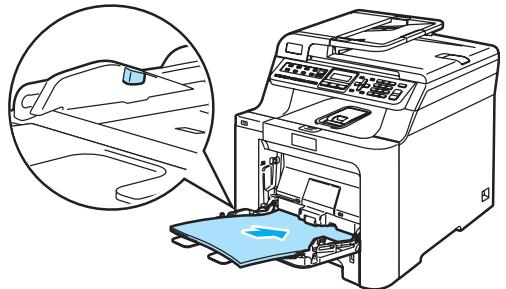
3 停止/終了 を押す

「ｷﾛｸｼｼﾂﾞﾏﾘ　MPﾄﾚｲ」と表示されたとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙がつまっています。

ｷﾛｸｼｼﾂﾞﾏﾘ MPﾄﾚｲ

1 多目的トレイからつまっていない記録紙を取り除く

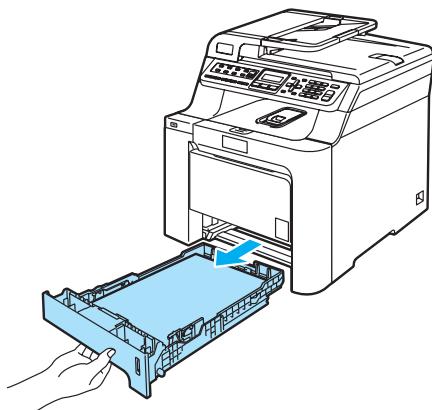
2 つまった記録紙を取り除く

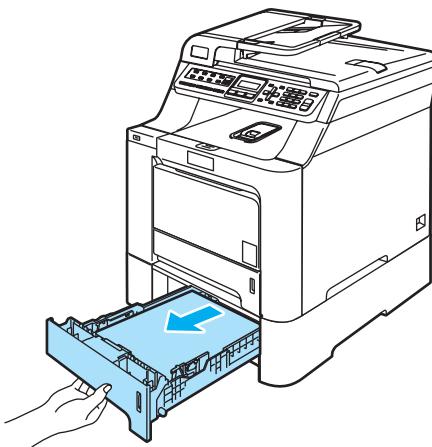
両手で静かに引き出してください。

3 多目的トレイをいったん閉じる

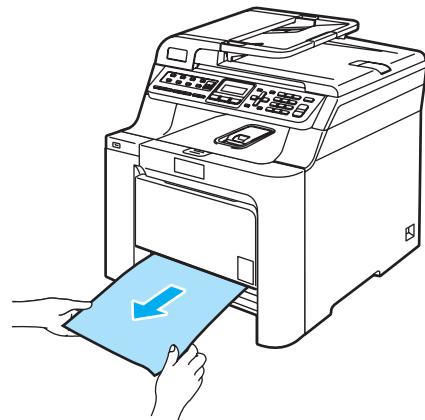
4 フロントカバーをいったん開けて、閉じる

5 多目的トレイを開き、記録紙をよくさばいてセットし直す

多目的トレイの印を超えないようにセットしてください。

「キロクシヅマリ　トレイ 1」「キロクシヅマリ　トレイ 2」と表示されたとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、標準記録紙トレイ（トレイ 1）または増設記録紙トレイ（トレイ2）に記録紙がつまっています。

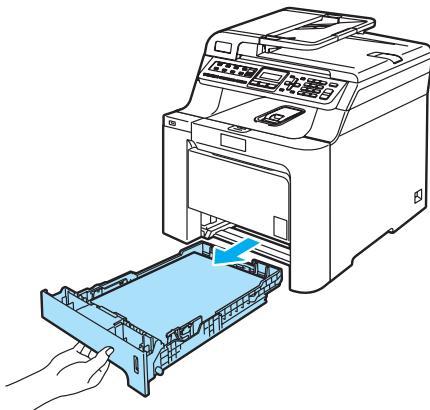
```
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 1
```

```
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 2
```

1 記録紙トレイを完全に引き出す

■標準記録紙トレイ（トレイ1）のとき

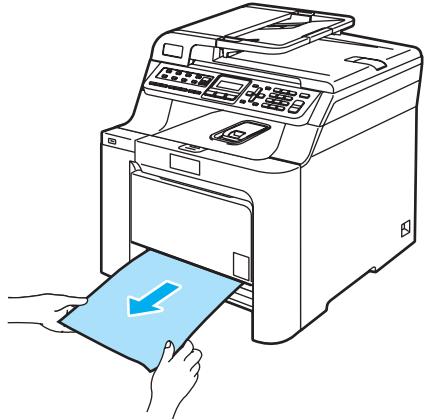
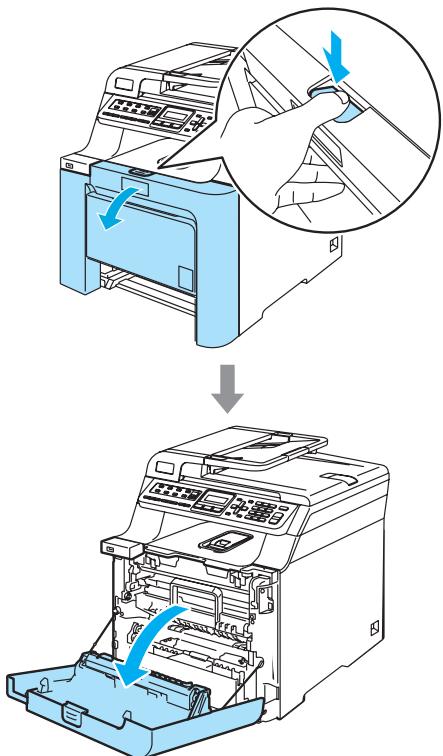
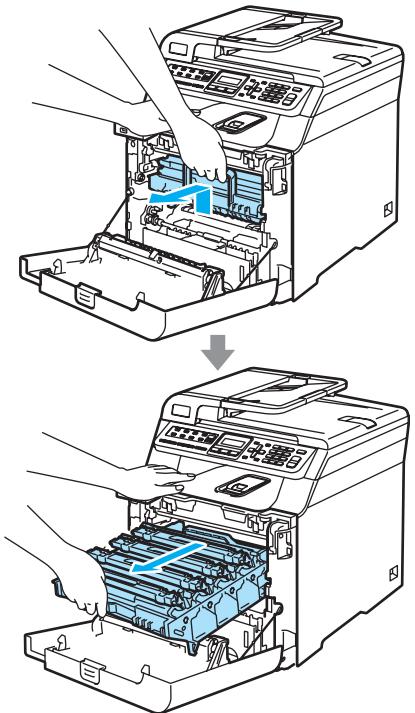
■増設記録紙トレイ（トレイ2）のとき

2 つまった記録紙を取り除く

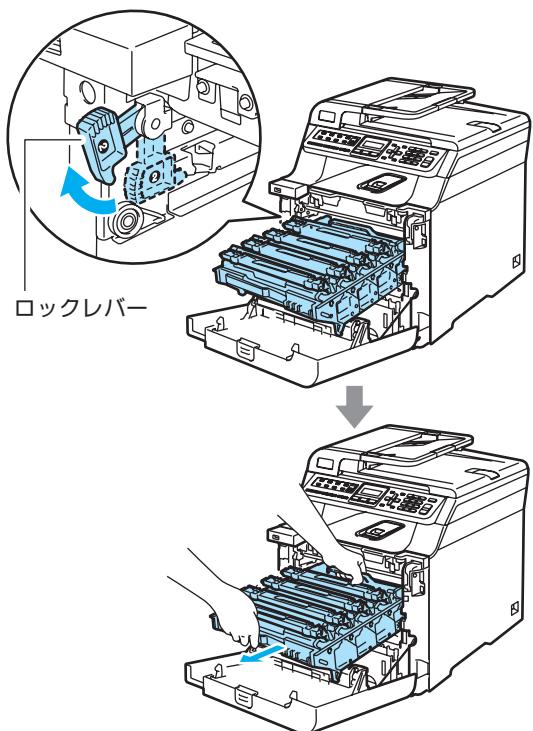
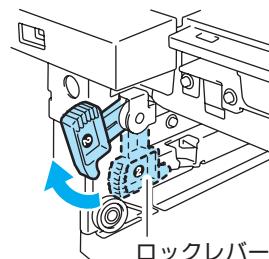
両手で静かに引き出してください。

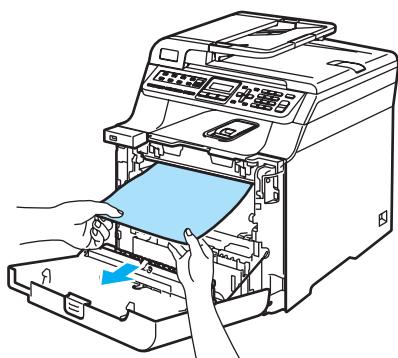
3 記録紙トレイを元に戻す

「キロクシヅマリ　ナイブ」と表示されたとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、内部に記録紙がつまっています。

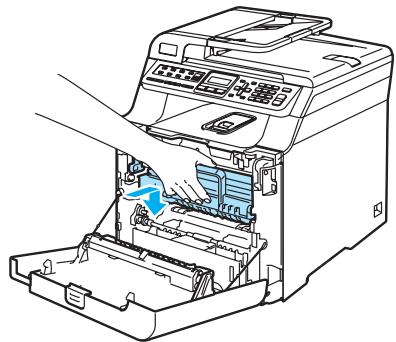
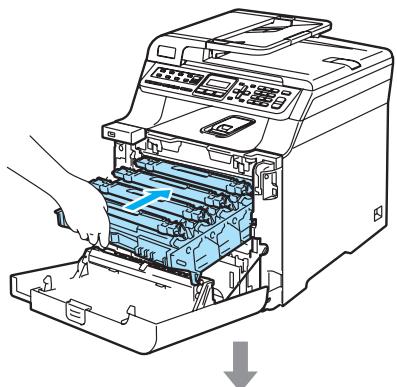
```
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ
```

1 本製品内部を冷やすために、電源を切って、10分待ってください。

2 記録紙トレイを完全に引き出す

3　つまった記録紙を取り除く

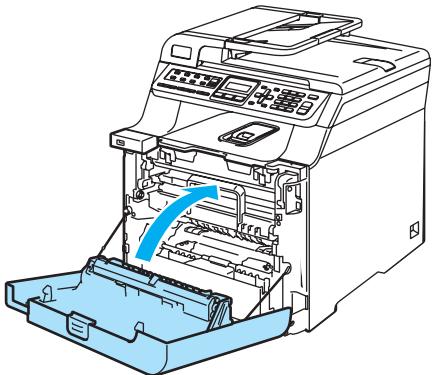
両手で静かに引き出してください。

4　取り除けない場合は、フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

5　ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

☞ 次ページへ続く

6 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

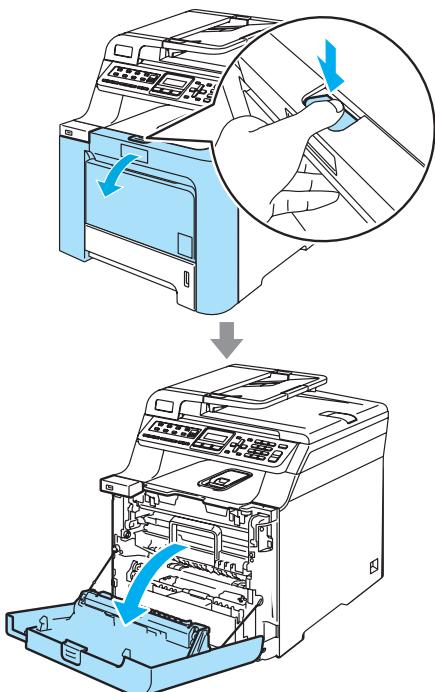
7 つまった記録紙を取り除く

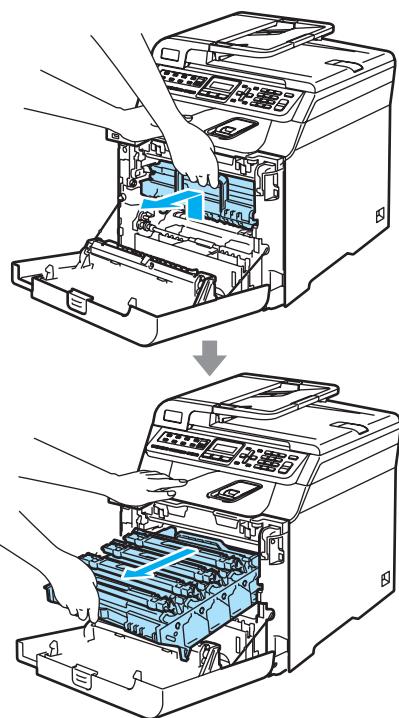
両手で静かに引き出してください。

8 ロックレバーが上がっていることを確認する

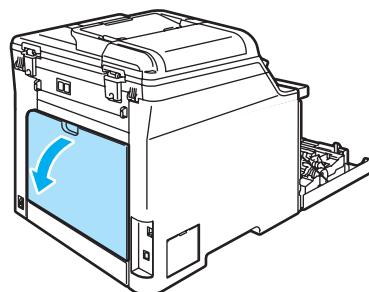
9 **ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる**

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

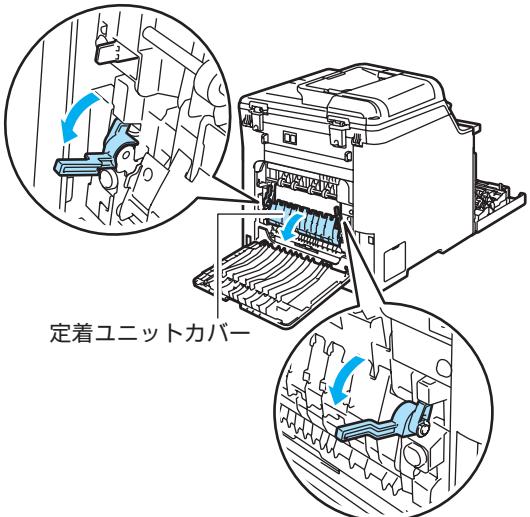
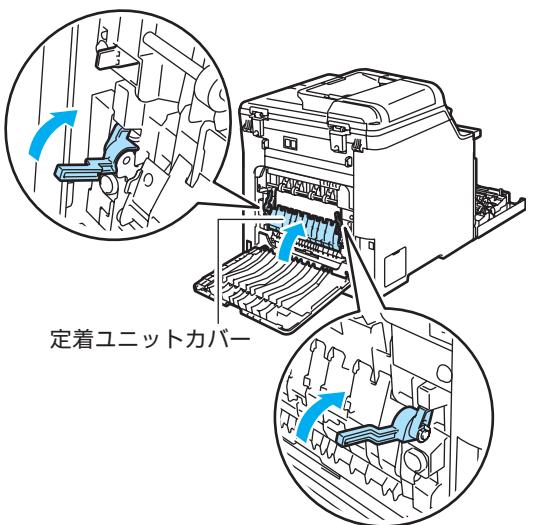
10 **ドラムユニットを奥へ押し込む**

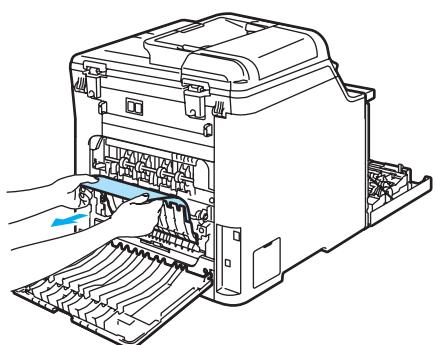
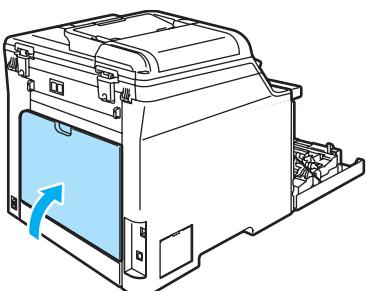
11 **フロントカバーを閉じる**

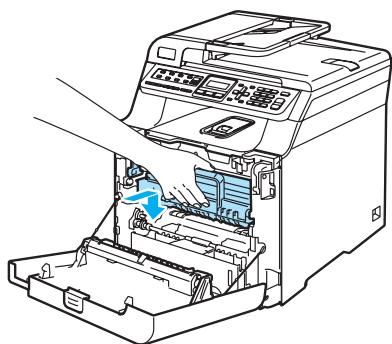
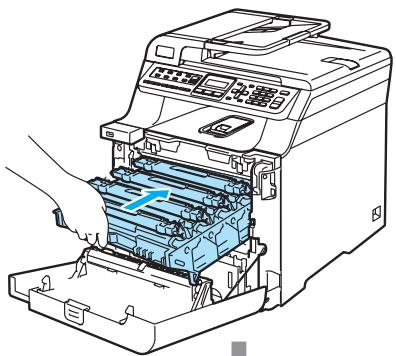
12 **記録紙トレイを元に戻す**

13 **電源スイッチをONにする**

「ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ　ｳｼﾛ」と表示されたとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、定着ユニット付近に記録紙がつまっています。

```
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ｳｼﾛ
```

1 本製品内部を冷やすために、電源を切って、10分待ってください。

2 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

3 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

4 バックカバーを開く

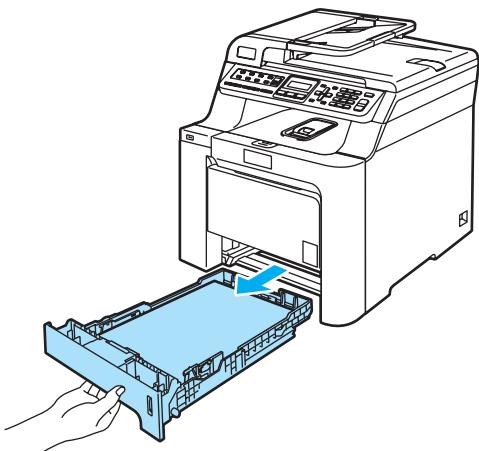
5 2か所の緑色のレバーを下げ、定着ユニットカバーを開く

6 つまった記録紙を取り除く

両手で静かに引き出してください。

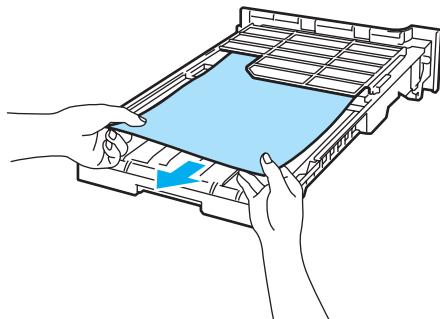
7 定着ユニットカバーを閉じ、2か所の緑色のレバーを上げる

8 バックカバーを閉じる

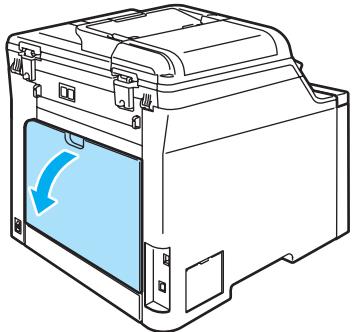
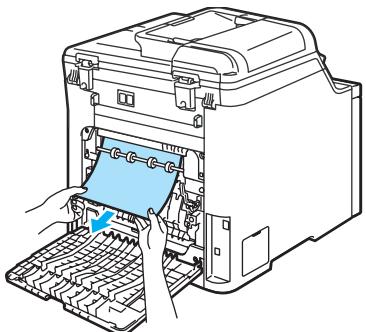
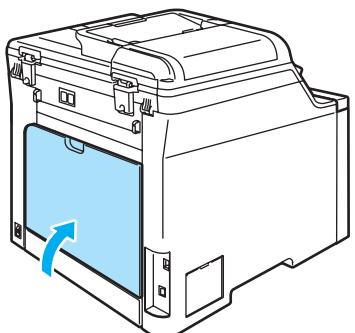
☞ 次ページへ続く

9 ドラムユニットを奥へ押し込む

10 フロントカバーを閉じる

11 電源スイッチをONにする

「キロクシヅマリ　リョウメン」と表示されたとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、両面ユニット付近に記録紙がつまっています。

キロクシヅマリ　リョウメン

1 本製品内部を冷やすために、電源を切って、10分待ってください。

2 記録紙トレイを完全に引き出す

3 内部に記録紙がないか確認し、トレイの下側に記録紙が入り込んでいないか確認する

4 記録紙がない場合はバックカバーを開く

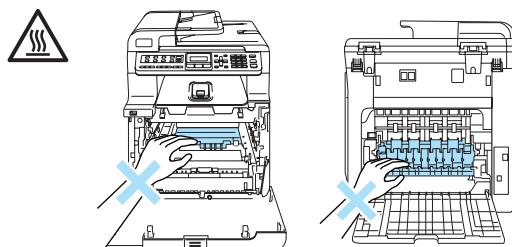
5 つまった記録紙を取り除く

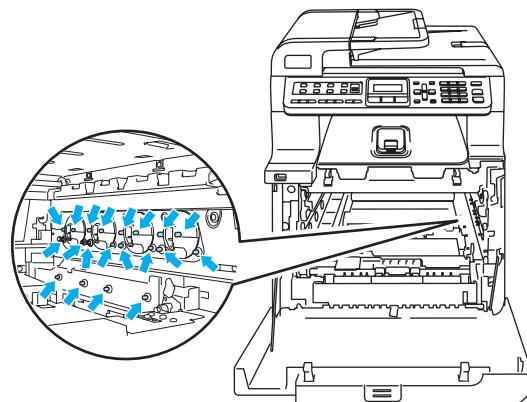
両手で静かに引き出してください。

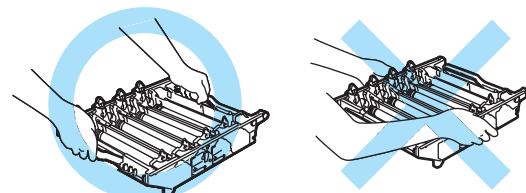
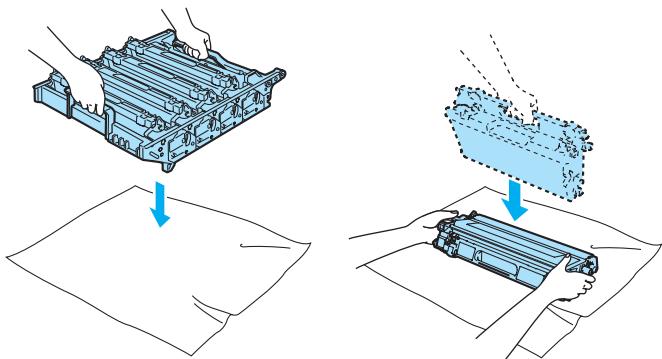
6 バックカバーを閉じる

7 記録紙トレイを元に戻す

8 電源スイッチをONにする

《日常のお手入れ》

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。
- 記録紙トレイ
- 原稿台ガラス
- スキャナウィンドウ
- ドラムユニット

注意

■本製品の使用直後は、機器の内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図の水色の部分には絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

本体外部を清掃する

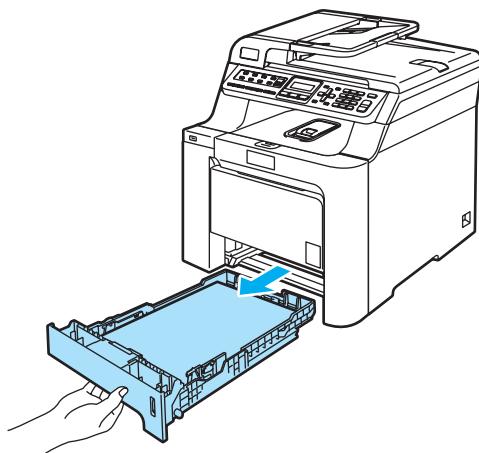
注意

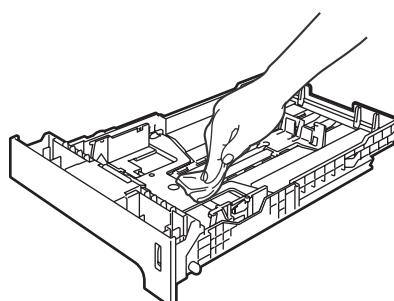
■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

■本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

記録紙トレイを清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

1 記録紙トレイを完全に引き出す

2 記録紙を取り出す

3 柔らかい布で記録紙トレイの内側と外側を拭く

4 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

原稿台ガラスとスキャナ読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。読み取り部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、読み取り部を清掃してください。

注意

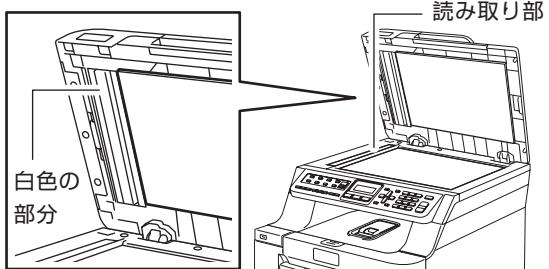
■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

■ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

1 原稿台カバーを開く

2 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、次の部分をきれいに拭く

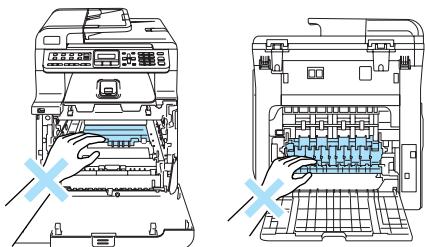
- 原稿台ガラス
- 原稿台カバー（プラスチック面）

補足

水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布をご使用ください。

3 ADF読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、次の部分を拭いてください。

- 原稿台カバー（白い部分）
- 読み取り部

注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますのでていねいに拭いてください。

■汚れが見えない場合は、ADF読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、OAクリーナーを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

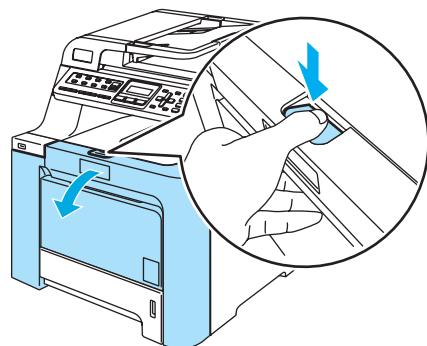
スキャナウィンドウの清掃

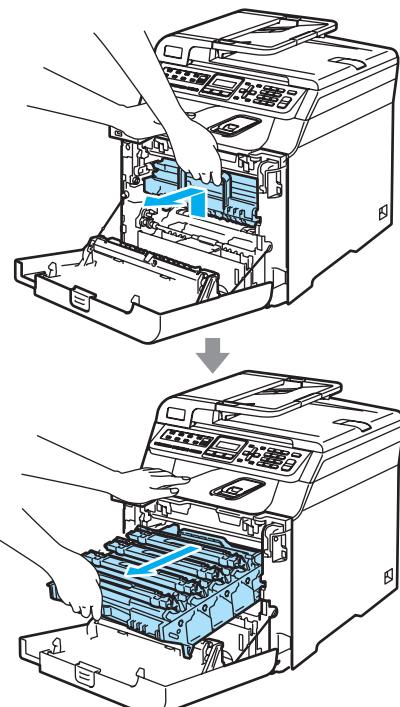
本製品内部のスキャナウィンドウが汚れていると、印刷の濃度が薄くなります。次の手順でスキャナウィンドウを清掃してください。

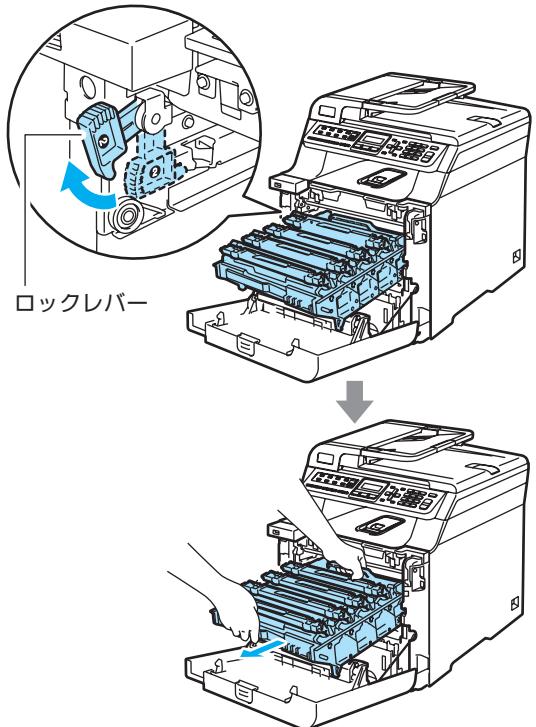
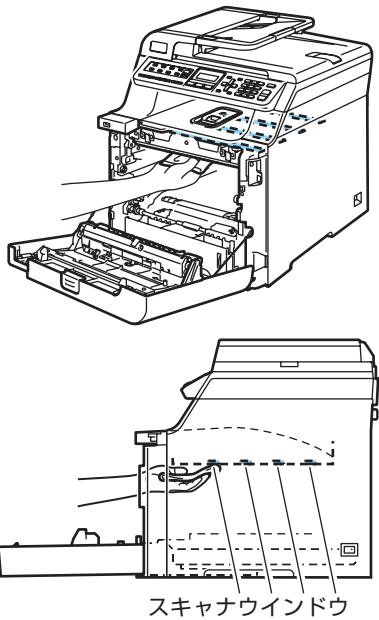
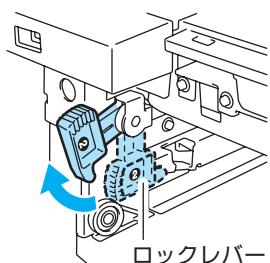
注意

■内部のお手入れをするときは、必ず電源スイッチをOffにしてから行ってください。

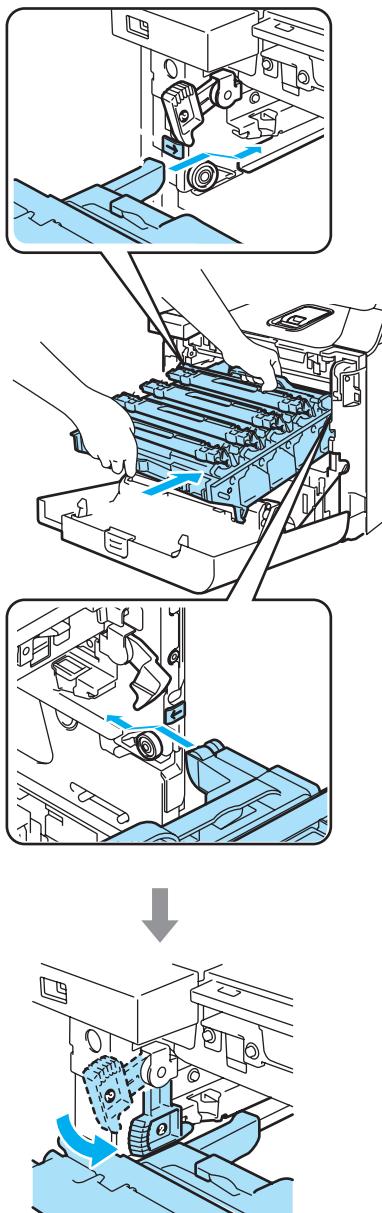
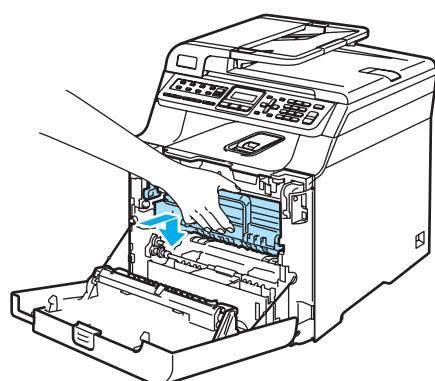
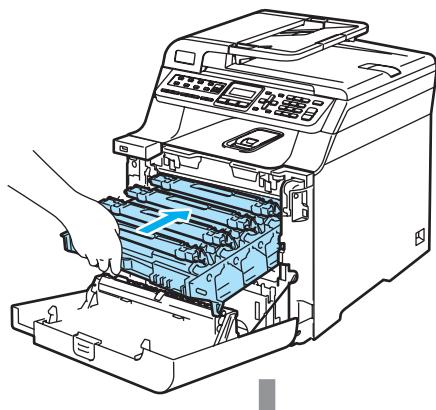
■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図の水色の部分には絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

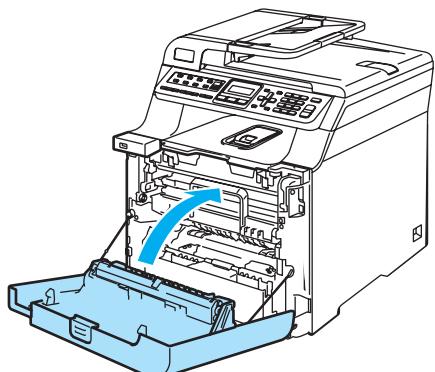
■スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

本製品の背面と壁側のコンセント両方とも外してください。

4 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

5 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

6 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

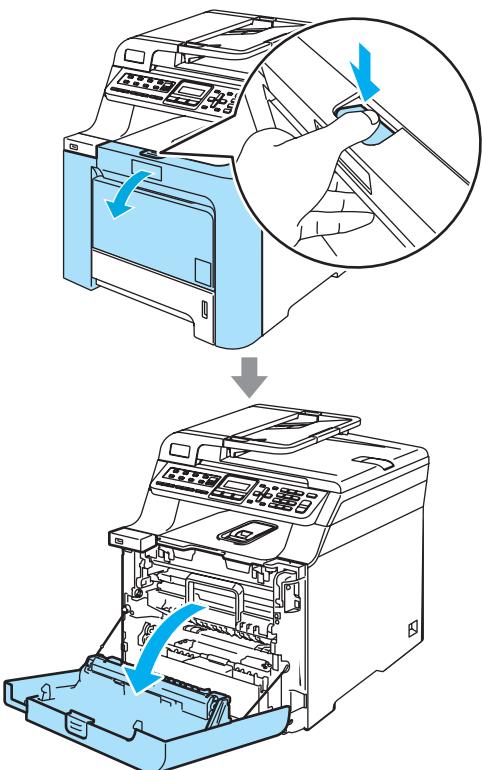
7 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをすべてきれいに拭く

8 ロックレバーが上がっていることを確認する

☞次ページへ続く

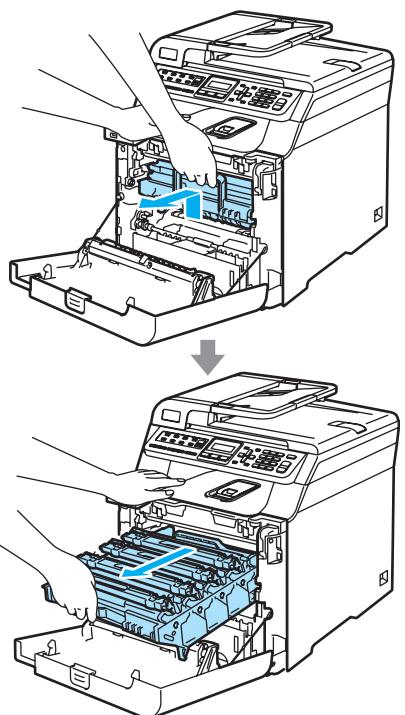
9 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

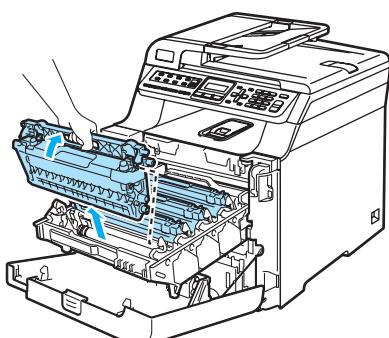
10 ドラムユニットを奥へ押し込む

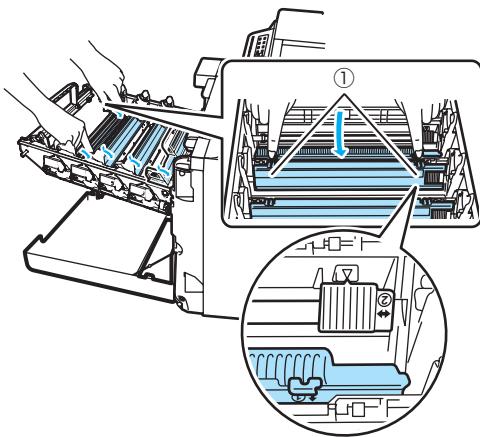
11 フロントカバーを閉じる

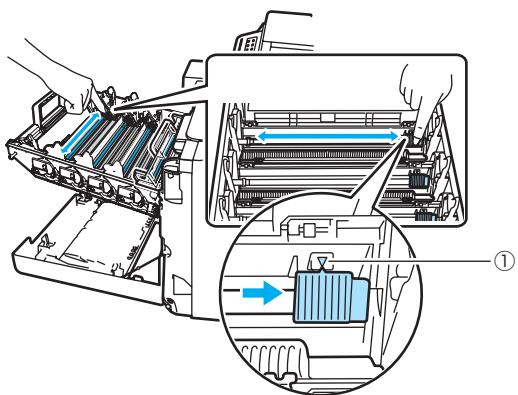
12 接続していたケーブルを取り付ける

13 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

14 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

15 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

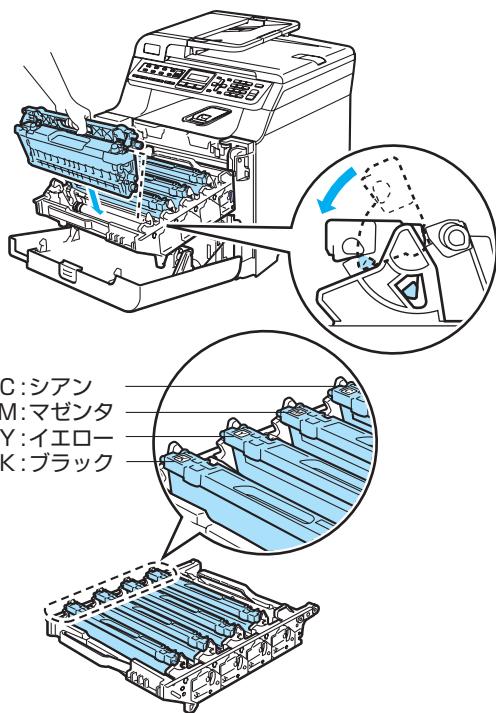
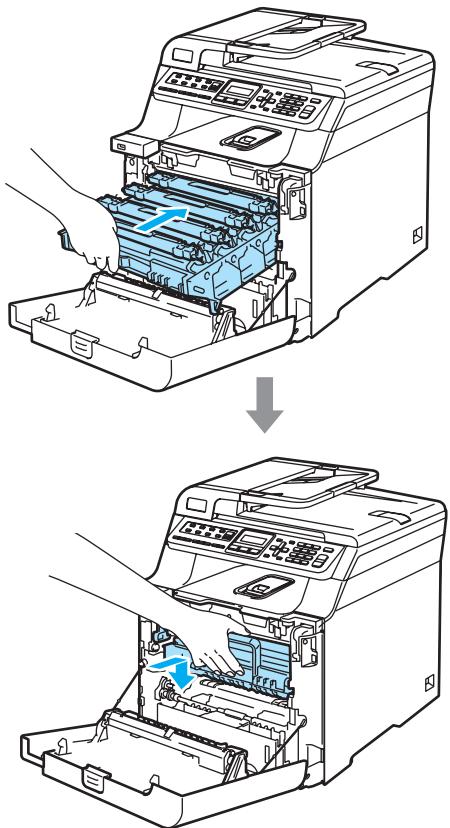
コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。プリントやコピーで汚れる場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

3 トナーカートリッジのハンドルを持ち、矢印の方向に引いて取り外す

すべてのトナーカートリッジを取り外してください。

☞ 次ページへ続く

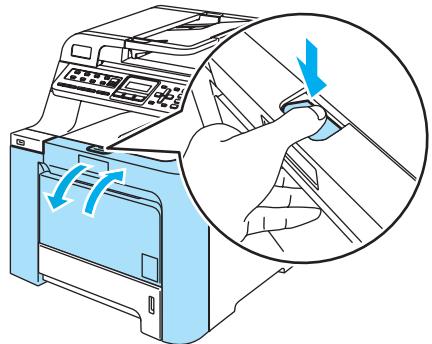
4 半透明の白いカバー（①）のつまみを持ち、図のように開く

5 図の位置にある緑色のつまみ（①）を左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する

すべてのワイヤーを清掃してください。

6 緑色のつまみを必ず元の位置（▼）に戻す

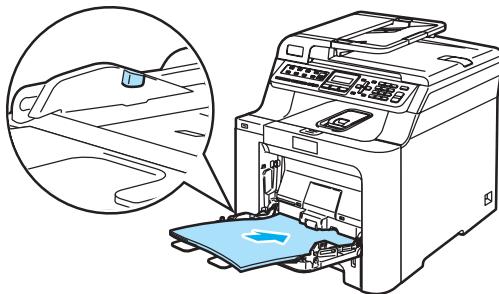
7 手順４で開いた白いカバーをもとに戻す

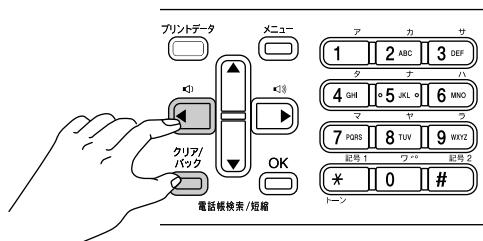
8 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジはドラムユニットの表示に合わせて正しい位置にセットしてください。

9 ドラムユニットを奥へ押し込む

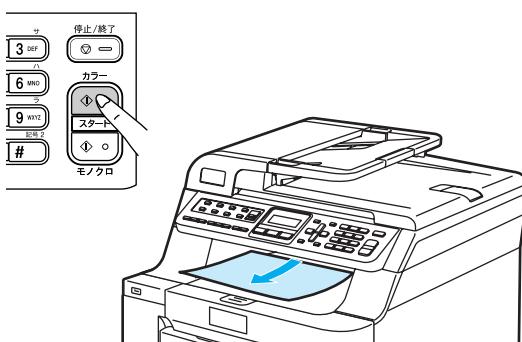
10 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷した用紙に細かい白や色の点が付く場合は、以下の方法で本製品を清掃してください。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーをいったん開け、再び閉じる

標準画面 P.36 に戻っていることを確認してください。

2 多目的トレイ（MP　トレイ）を開け、用紙ストッパーを引き出す

☞ 次ページへ続く

3 多目的トレイ（MP トレイ）に用紙を挿入する

4 クリア/バック を押しながら ◀ を押す

液晶ディスプレイに「DRUM CLEANING」と表示されたら、手を離す

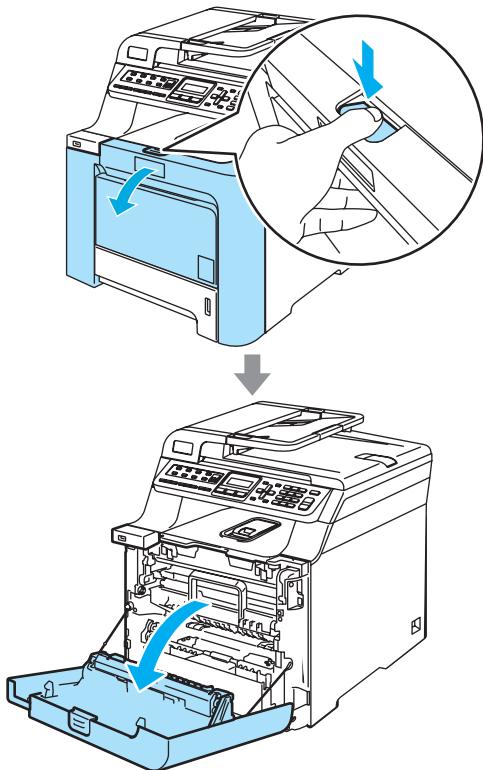
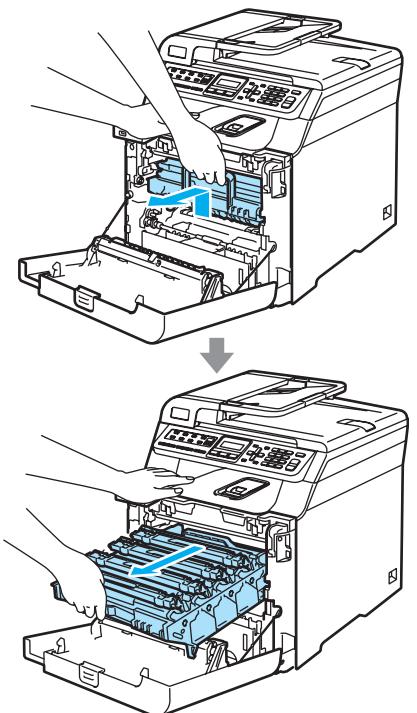
5 カラー スタート を押す

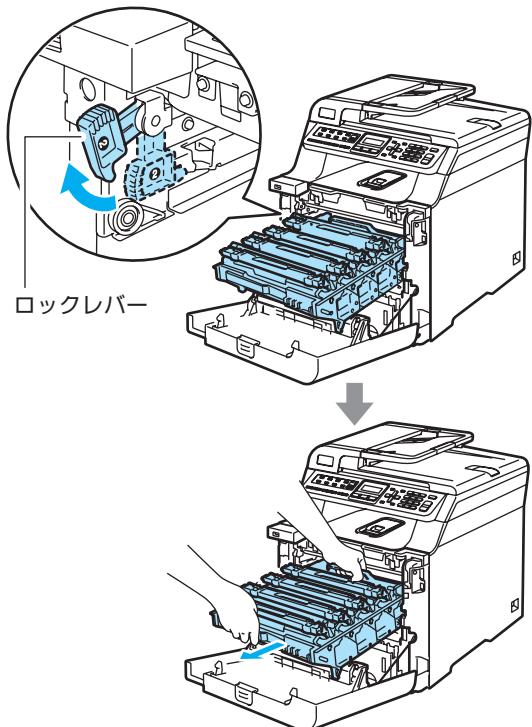
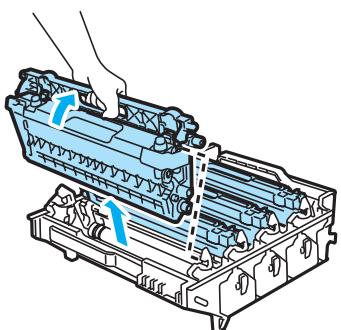
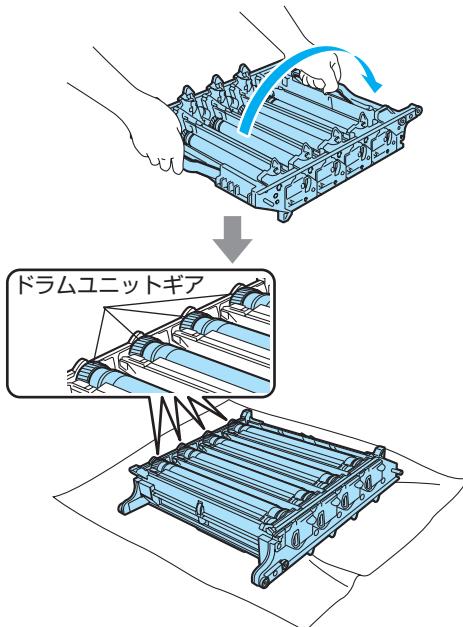
用紙が給紙され、ドラムユニットの清掃が始まります。

6 液晶ディスプレイに「DRUM CLEANING COMPLETED」と表示されたら、停止/終了 を押す

清掃が終了すると上記メッセージが表示されます。

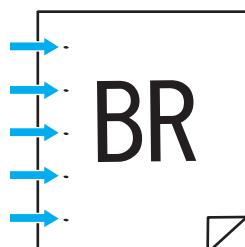
7 手順3～6を2回以上繰り返す

補足

- 上記の手順を行っても問題が解決しない場合は、「規則的な汚れがつく場合」P.175 を試してください。
- 手順1でカバーの開閉を行っても標準画面 P.36 に戻らない場合は、スリープモードが0分に設定されている可能性があります。設定を5分に変更して、もう一度最初から行ってください。スリープモードの設定方法は、P.69 をご覧ください。

規則的な汚れがつく場合

印刷したページに約7.5cm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。汚れの色と同じ色の感光ドラムを清掃してください。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

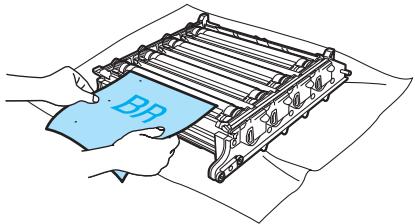
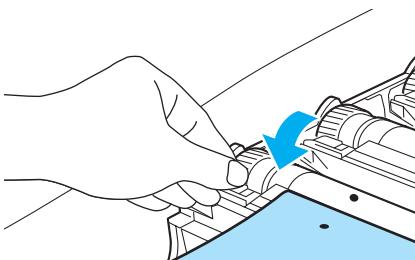
☞ 次ページへ続く

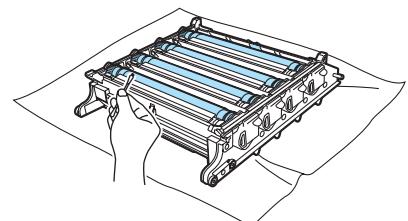
3 **ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す**

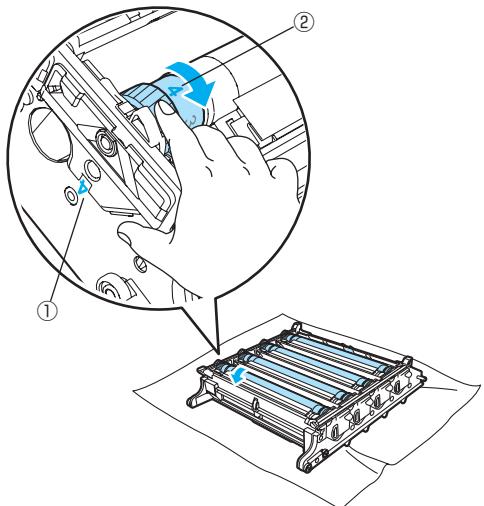
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

4 **トナーカートリッジのハンドルを持ち、矢印の方向に引いて取り外す**

すべてのトナーカートリッジを取り外してください。

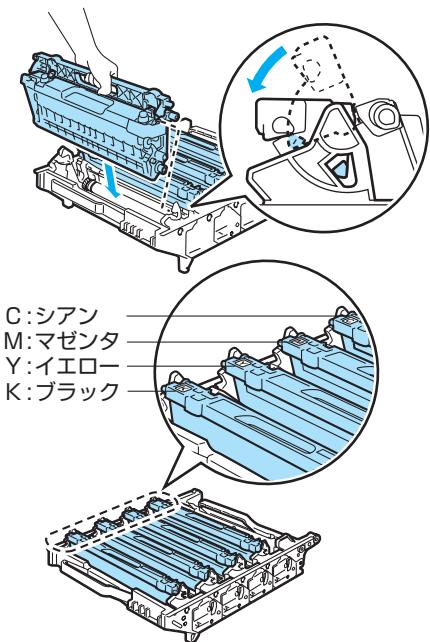
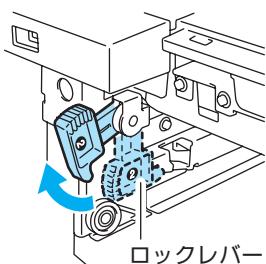
5 **ドラムユニットの緑色のレバーを持ち、感光ドラムが見えるように裏返して机の上に置く**

このとき、向かって左側にドラムユニットギアがくるように置きます。
机が汚れないように、机の上に新聞紙などの紙をしいてから置いてください。

6 **印刷したページの汚れの色を確認する**

7 **6で確認した色の感光ドラムの前に、印刷したページを置く**

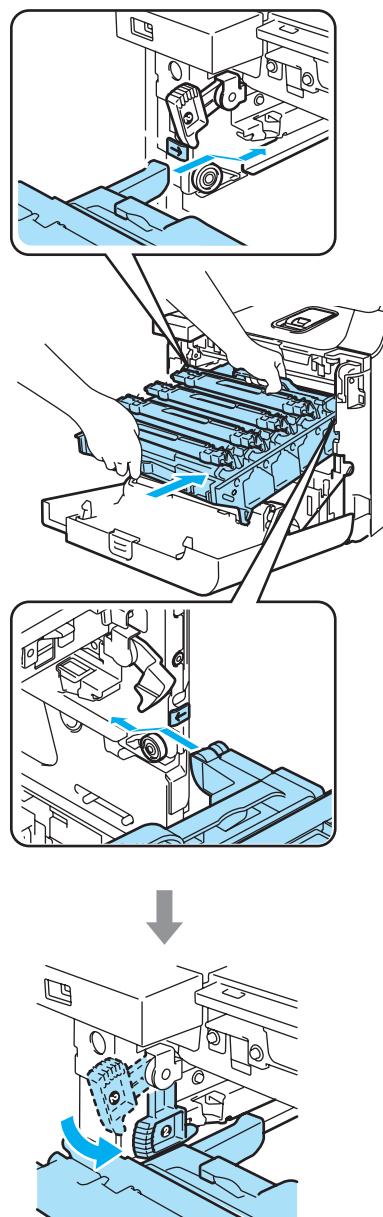
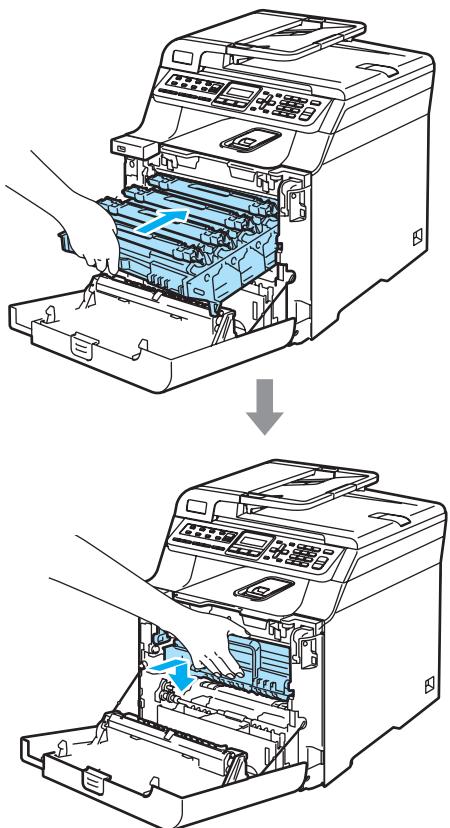
印刷面を上にして、ページ上部が感光ドラム側になるように置きます。

8 **ドラムユニットギアを手前に回しながら、感光ドラムの汚れの場所を確定する**

印刷したページの汚れの位置を、感光ドラムに照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を確定します。

9 **8で確定した感光ドラムの汚れを、綿棒でふきとる**

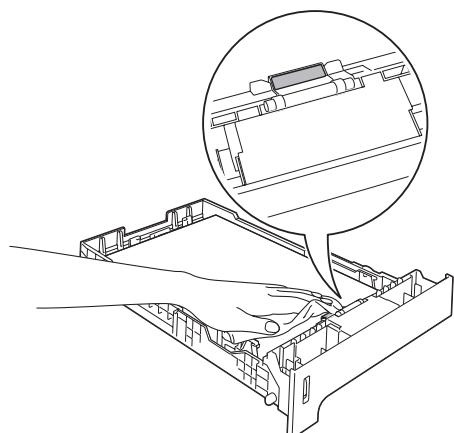
10 **ドラムユニットギアを手前に回し、正しい位置に戻す**

ドラムユニットの数字（①）と同じ数字が上にくるように（②）、ドラムユニットギアを手前に回してください。
ドラムユニットの数字は、色によって異なります。

11 **ドラムユニットを裏返す**

☞次ページへ続く

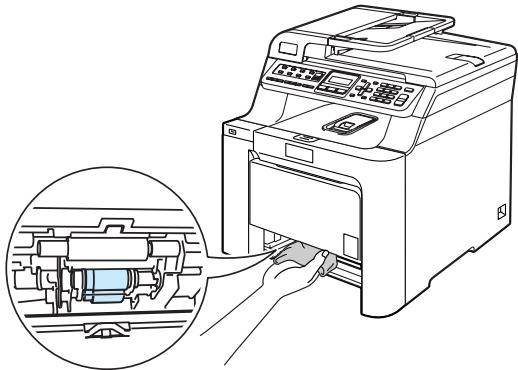
12 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジはドラムユニットの色表示に合わせて正しい位置にセットしてください。

13 ロックレバーが上がっていることを確認する

14 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

15 ドラムユニットを奥へ押し込む

16 フロントカバーを閉じる

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 記録紙トレイを完全に引き出す

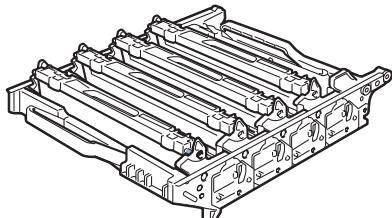
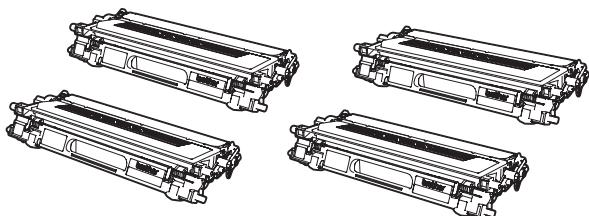
5 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パットを拭く

☞ 次ページへ続く

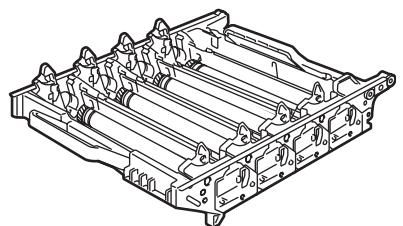
6 本製品内部にある給紙ローラー（2つ）を拭く

7 記録紙トレイを本製品に戻す

8 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

9 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

10 電源スイッチをONにする

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品では、画像を作成するドラムユニットに4色のトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。

ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ
標準タイプ：TN-190M/TN-190C/TN-190Y/TN-190BK
大容量タイプ：TN-195M/TN-195C/TN-195Y/TN-195BK

マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの文字を書いたり、表面に色づけするための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット
（DR-190CL）

トナーを記録紙に転写する部分です。

交換のしかたについては、P.184「トナーカートリッジを交換する」、またはP.189「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

補足

- 標準タイプのトナーカートリッジ（TN-190）は、カラーで約1,500枚、モノクロで約2,500枚印刷できます。
- 大容量タイプのトナーカートリッジ（TN-195）は、カラーで約4,000枚、モノクロで約5,000枚印刷できます。
- ドラムユニットは約17,000枚印刷できます。
- 消耗品の寿命は、実際の印刷方法や内容、使用環境により異なります。詳しくは、P.266「消耗品」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、FAX による注文も承っております。P.281 を参照してください。

《消耗品の交換》

トナーカートリッジの交換

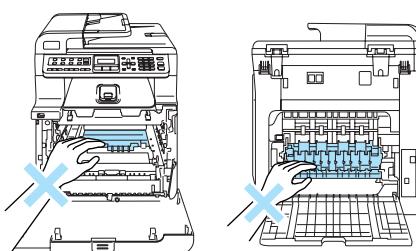
トナーカートリッジ交換のメッセージ

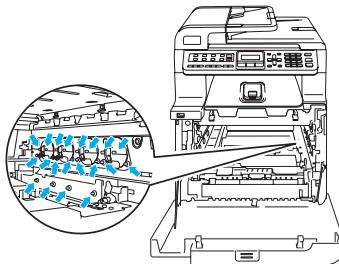
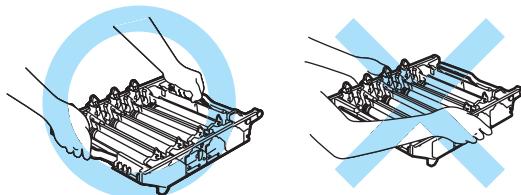
本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、寿命が残り少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーの寿命が残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

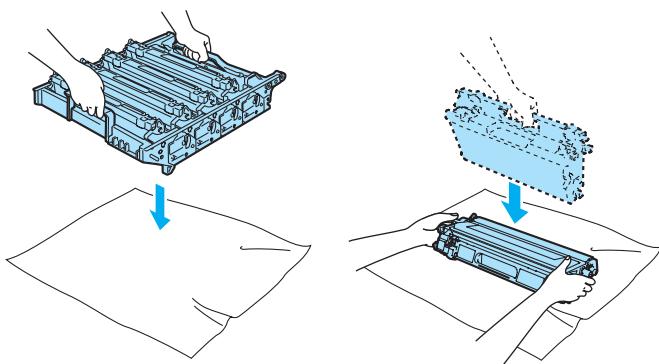
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｺｳｶﾝ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰｺｳｶﾝ

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

- トナーの寿命は「使用可能なトナーが無くなった場合」及び「トナーが劣化した場合」の2通りで検知しており、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。
- 複数色のカラートナーの交換を同時期に行う場合には、それらのトナーの劣化が同時に進むため、同時期にトナーの寿命と判断されることがあります。
- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾃﾞｽ」のメッセージが表示されてから約100ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ／印刷密度５％の場合）
  トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

警告

■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

■ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
■トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

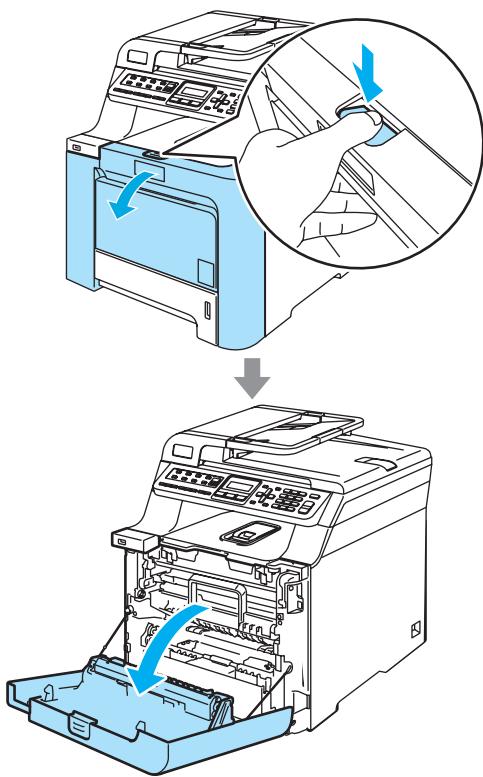
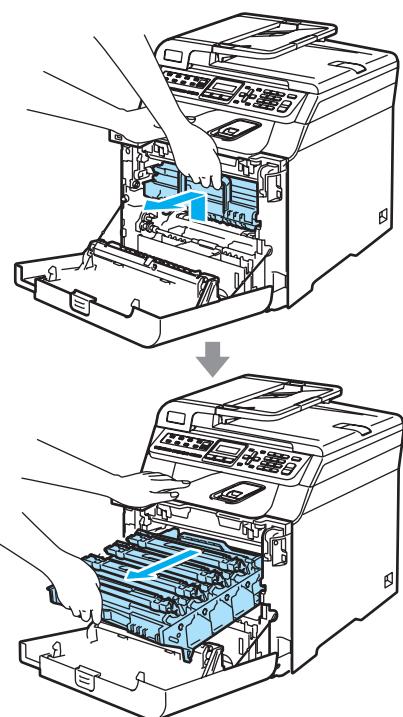
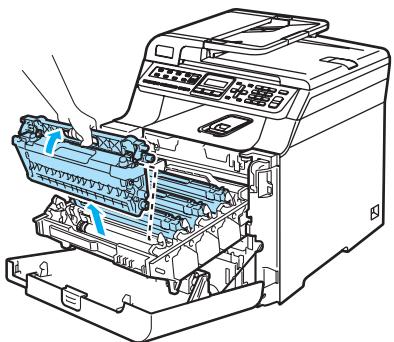
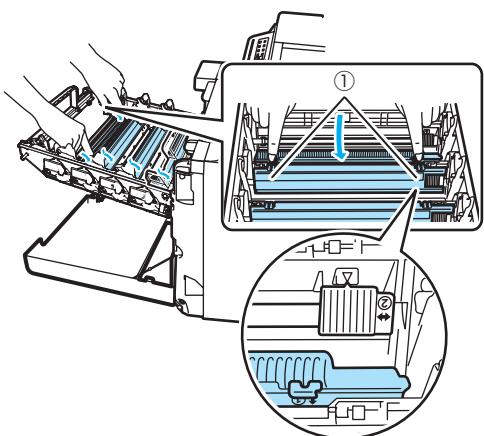
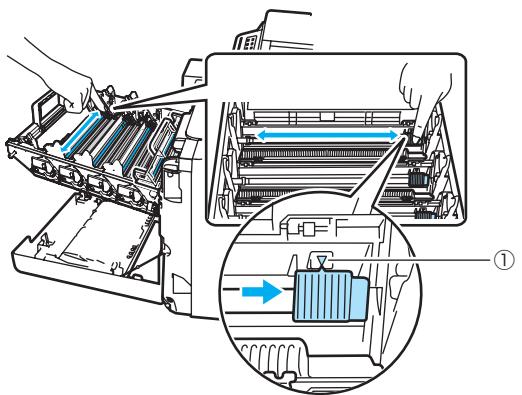
■トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-190またはTN-195）をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

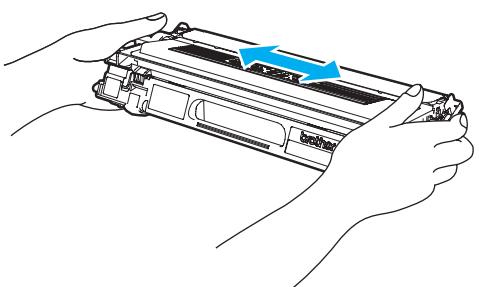
■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

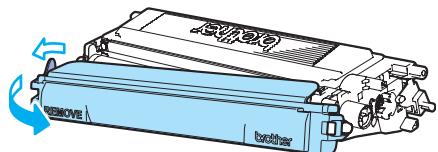
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

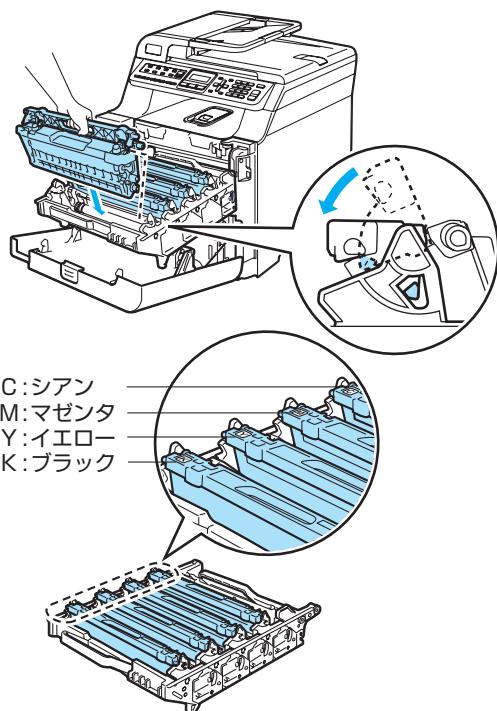
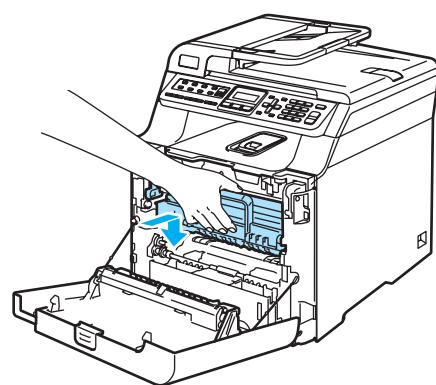
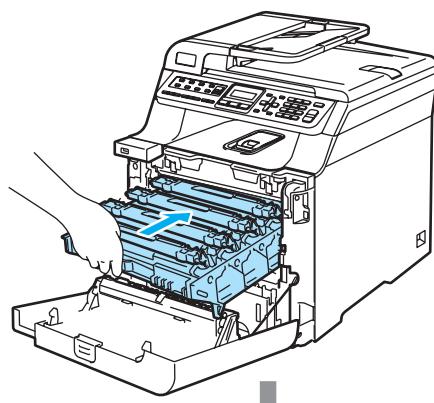
■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

トナーカートリッジを交換する

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

3 古いトナーカートリッジのハンドルを持ち､矢印の方向に引いて取り外す

4 半透明の白いカバー（①）のつまみを持ち、図のように開く

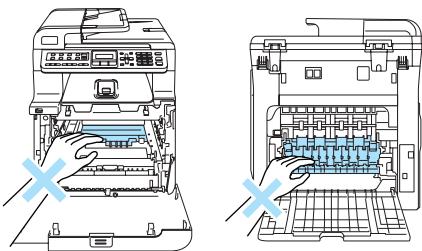
5 図の位置にある緑色のつまみ（①）を左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する

6 緑色のつまみを必ず元の位置（▼）に戻す

7 手順４で開いた白いカバーをもとに戻す

8 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

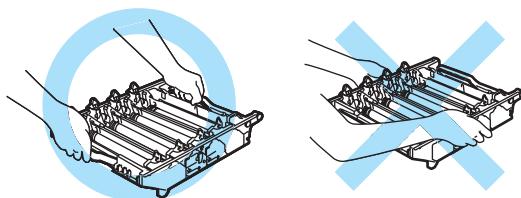
9 トナーカートリッジを左右に 5、6 回ゆっくりと振る

☞ 次ページへ続く

10 保護カバーを取り除く

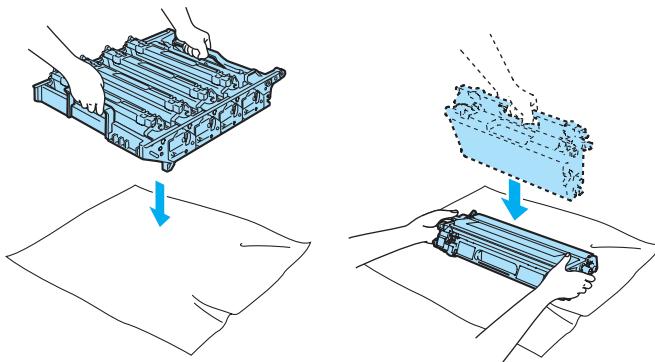
11 トナーカートリッジをセットする

12 ドラムユニットを奥へ押し込む

13 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

警告

■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

■ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
■トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-190CL）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

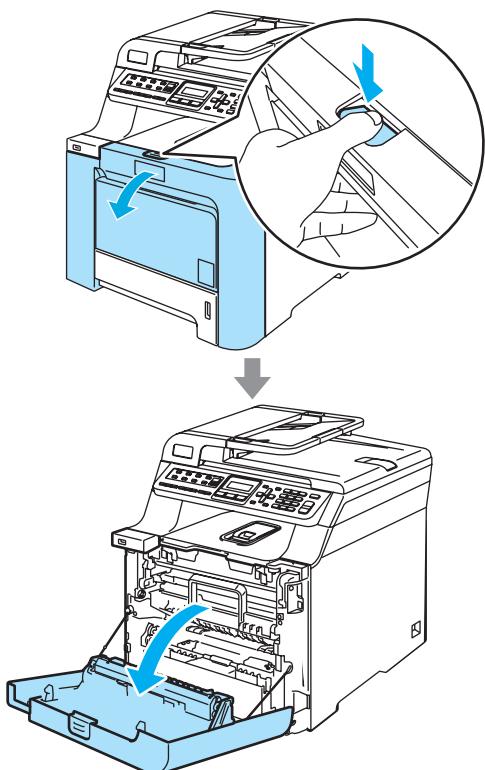
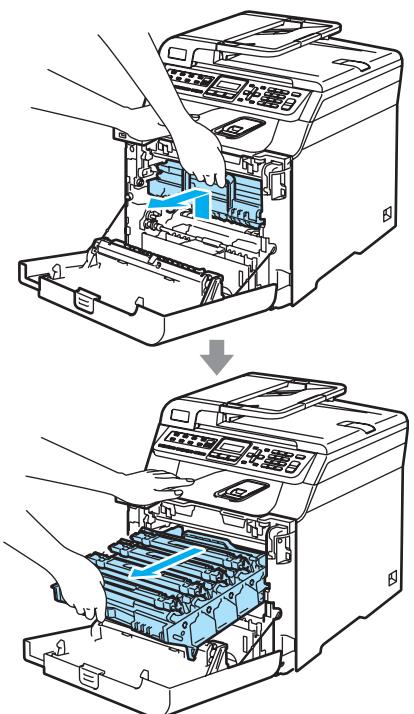
■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

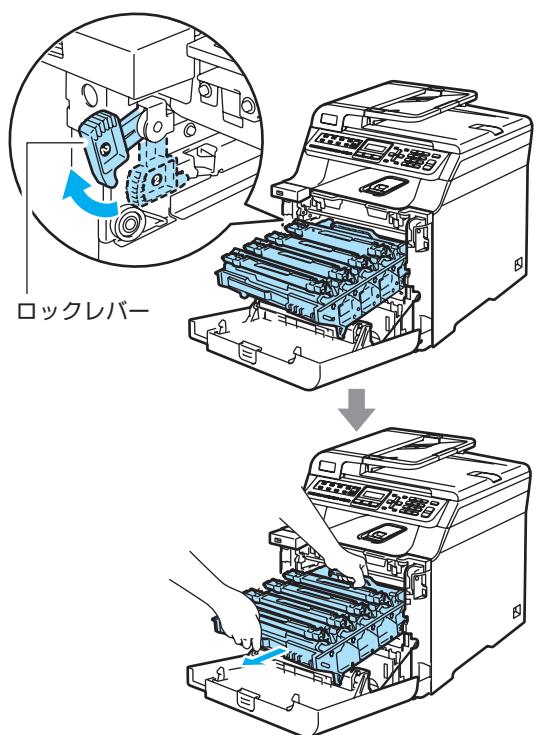
☞次ページへ続く

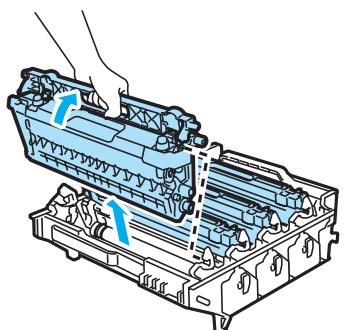
■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

補足

● 液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

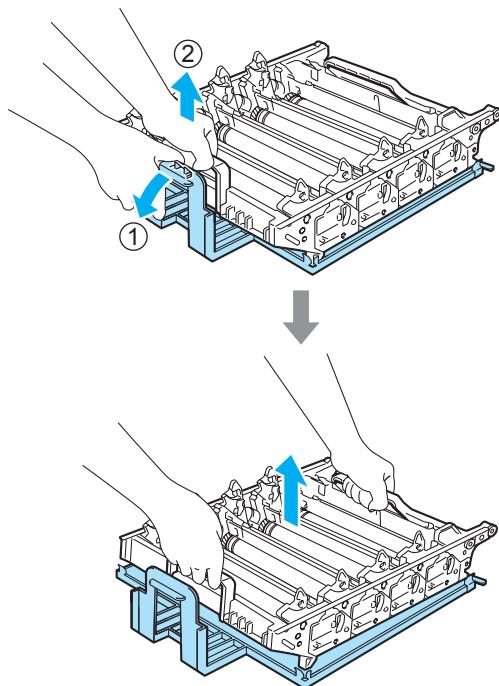
●「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

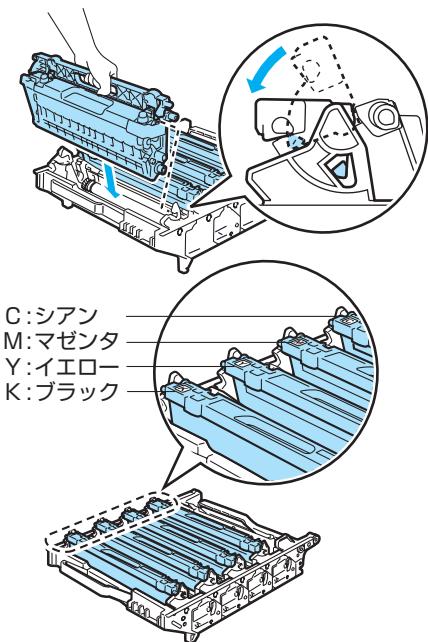
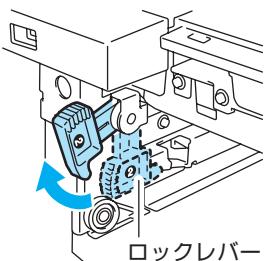
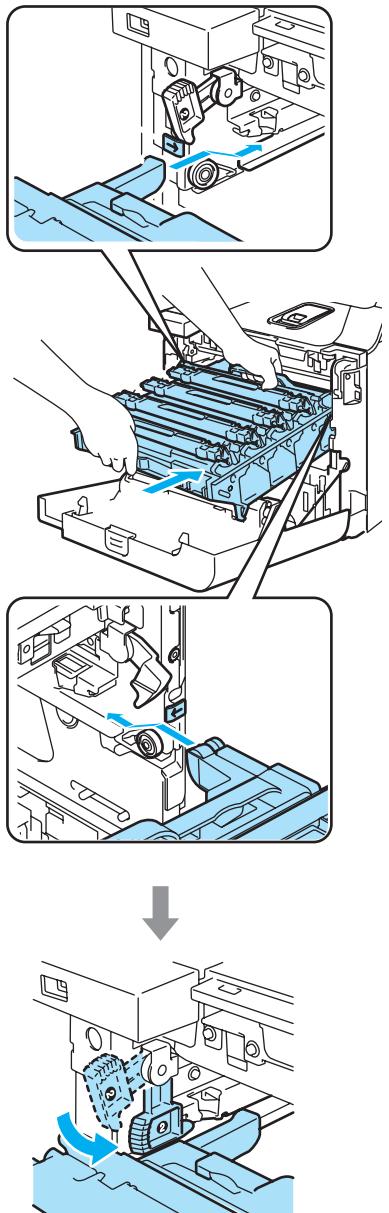
● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。P.164 を参照してください。

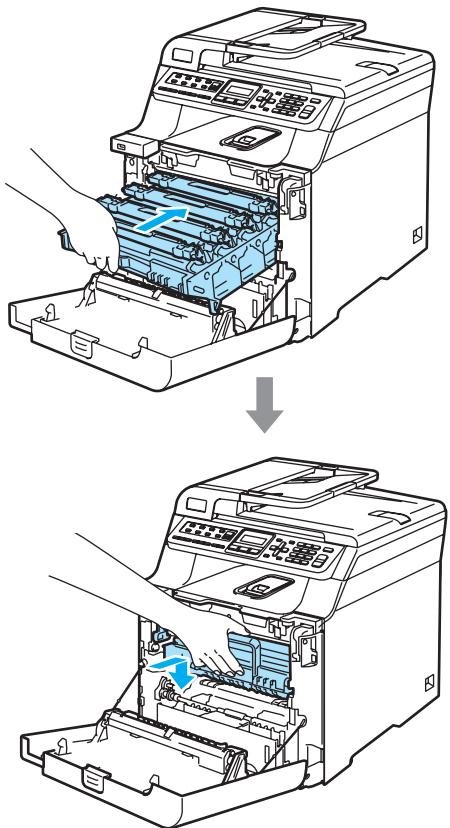
ドラムユニットを交換する

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

☞ 次ページへ続く

3 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

4 トナーカートリッジのハンドルを持ち、矢印の方向に引いて取り外す

すべてのトナーカートリッジを取り外してください。

5 新しいドラムユニットをカバーから取り外す

6 新しいドラムユニットにトナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジはドラムユニットの表示に合わせて正しい位置にセットしてください。

7 ロックレバーが上がっていることを確認する

8 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

☞次ページへ続く

9 ドラムユニットを奥へ押し込む

10 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットのカウンターをリセットする

以下のメニューは消耗品の交換時のみ有効です。

1 メニュー 8 TUV 4 GHI を押す

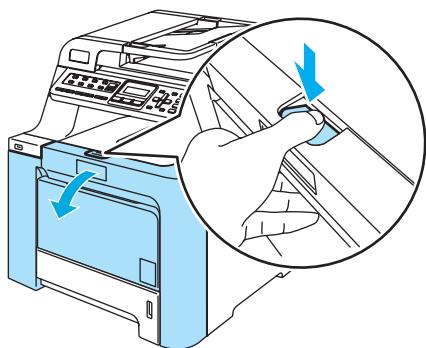
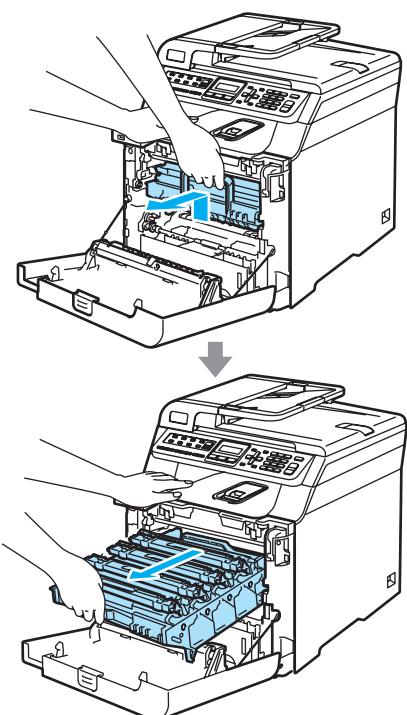
2 ▲ または ▼ で「ドラム　ユニット」を選択する

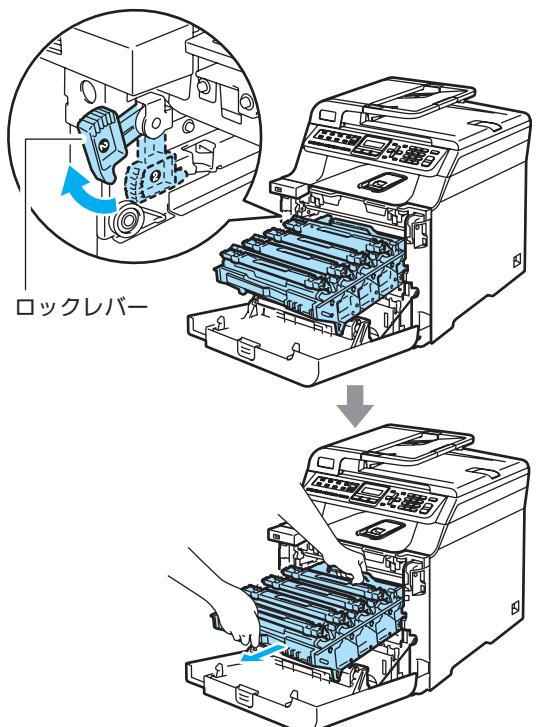
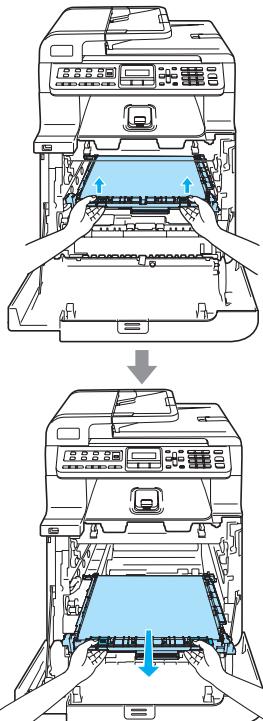
ここでは、交換する必要のある部品のみが表示されます。

ショウモウヒン　リセット
ト゛ラム　ユニット

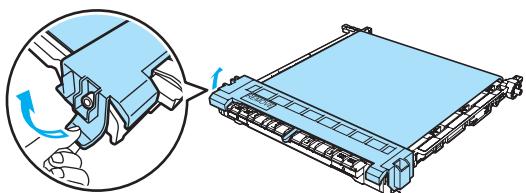
3 OK を押す

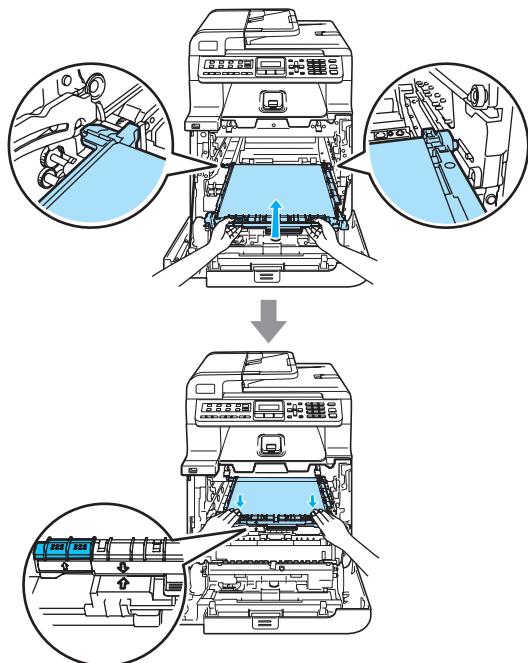
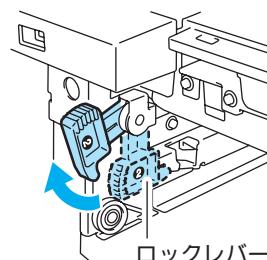
4 1 を押す

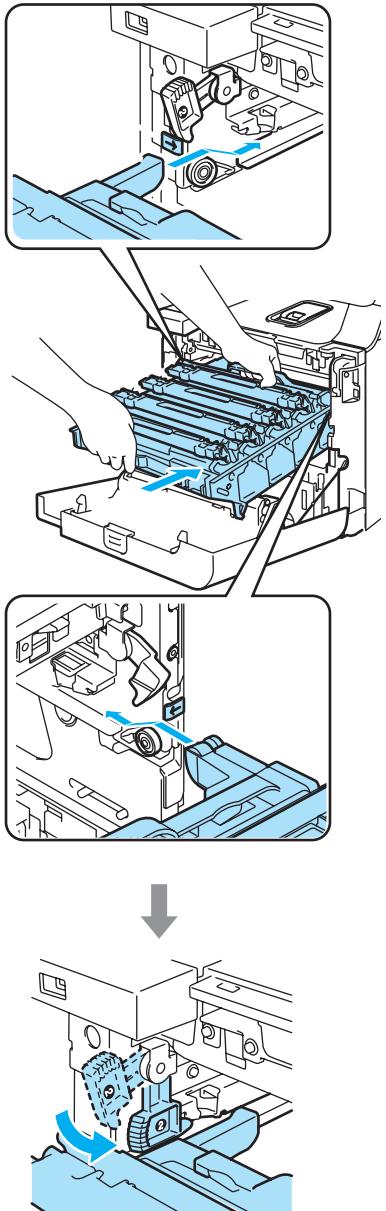
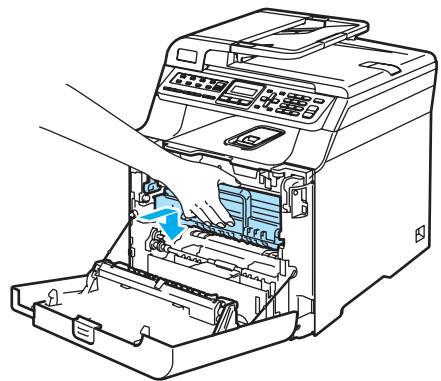
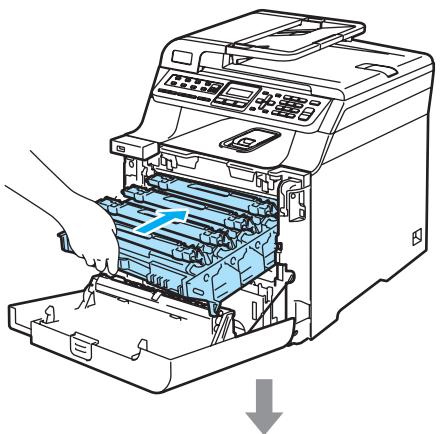
ト゛ラム　ユニット
1.リセット　2.キャンセル

液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

ベルトユニットの交換

ベルトユニットは、画像が転写された記録紙を定着ユニットへ送る働きをする部分です。
液晶ディスプレイに「ベルトユニット　コウカン」と表示された場合は、新しいベルトユニットと交換してください。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

3 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

☞次ページへ続く

4 ベルトユニットの緑色のつまみを持ち上げてから手前に引き出す

5 新しいベルトユニットを箱から出し、図ように保護カバーと保護用紙を取り除く

6 新しいベルトユニットを取り付ける

ベルトユニットの「↓」マークと本製品の「↑」マークの位置を合わせ、両端の緑色の部分を持ちながら下に押してセットします。

7 ロックレバーが上がっていることを確認する

8 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

9 ドラムユニットを奥へ押し込む

10 フロントカバーを閉じる

ベルトユニットのカウンターをリセットする

以下のメニューは消耗品の交換時のみ有効です。

1 メニュー 8 TUV 4 GHI を押す

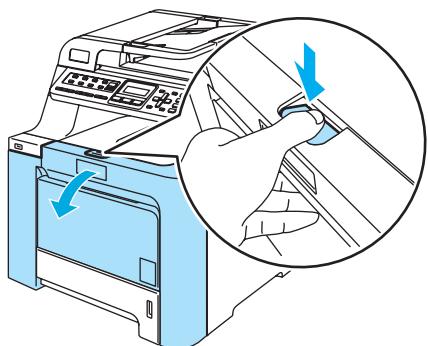
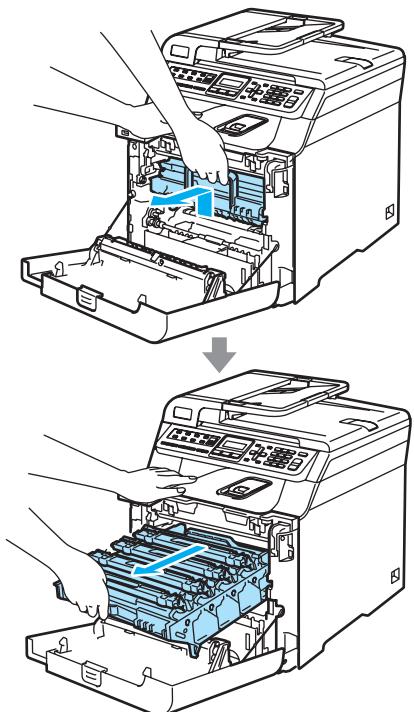
2 ▲または▼で「ベルト ユニット」を選択する

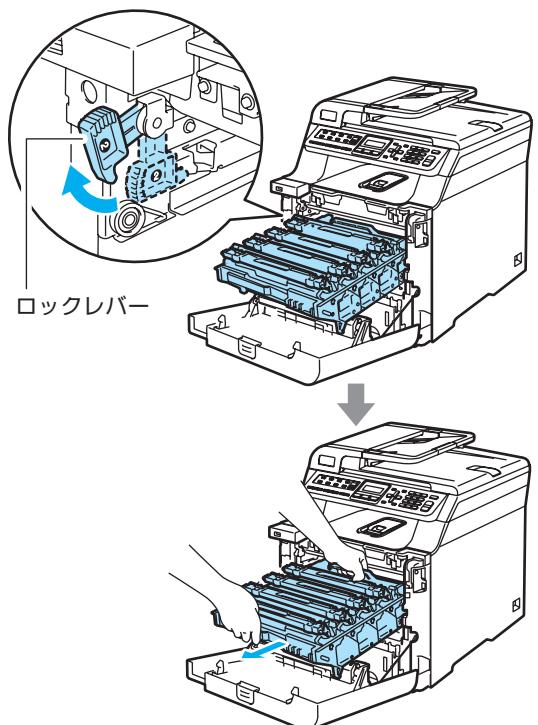
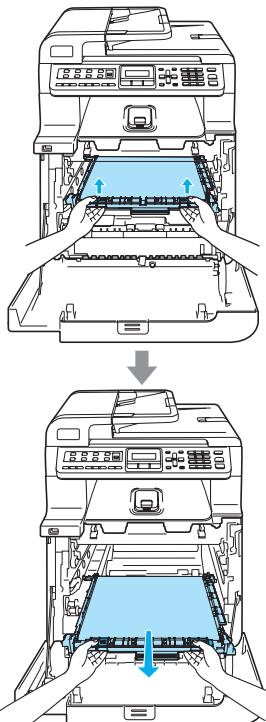
ここでは、交換する必要のある部品のみが表示されます。

ショウモウヒン リセット
ベルト ユニット

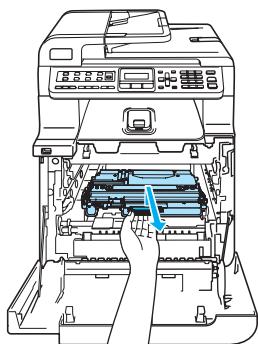
3 OK を押す

4 1 を押す

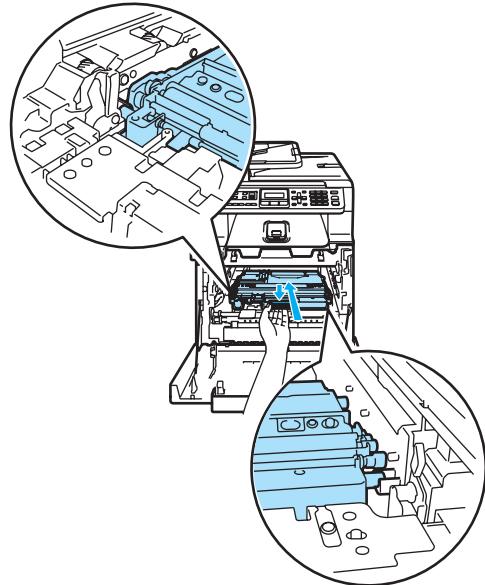
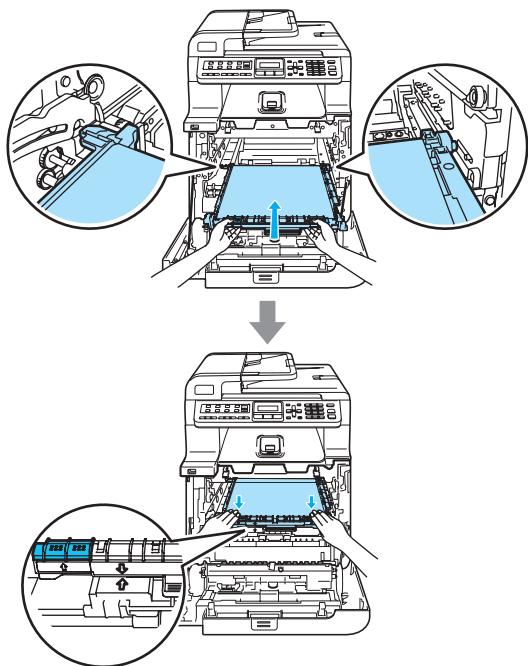
ベルト ユニット
1.リセット 2.キャンセル

液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

廃トナーボックスの交換

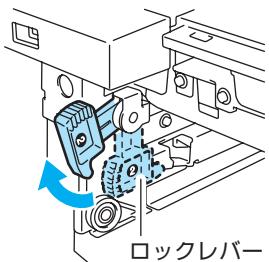
廃トナーボックスとは、画像を作成する過程でできた余分なトナーを集めているボックスです。
液晶ディスプレイに「ﾊｲﾄﾅｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示された場合は、新しい廃トナーボックスと交換してください。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

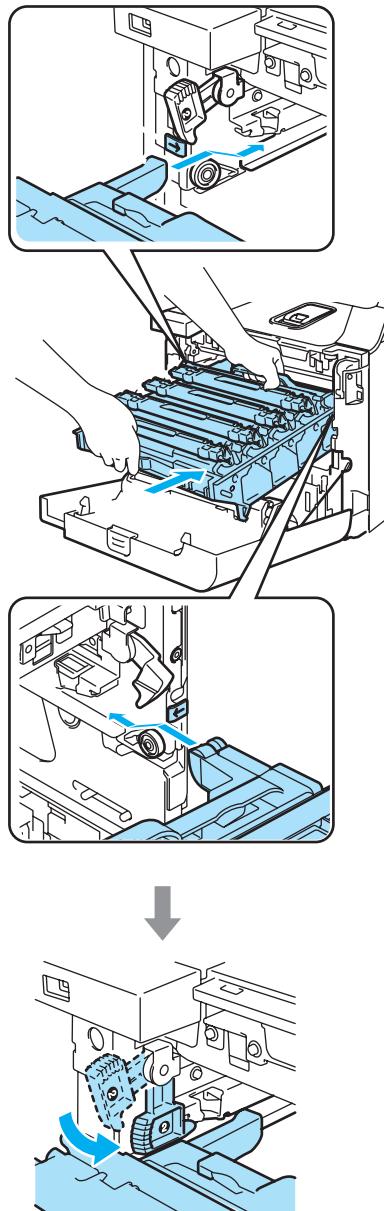
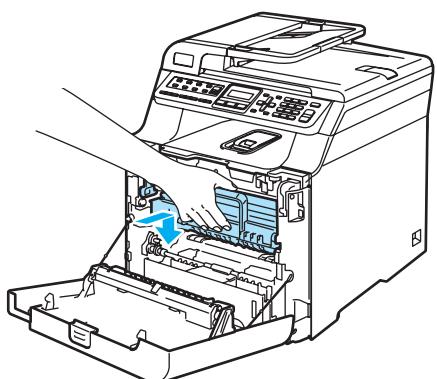
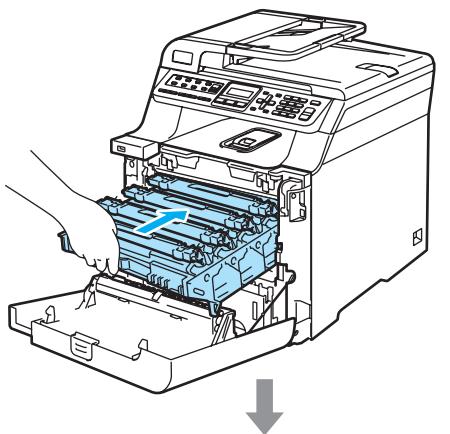
3 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

☞ 次ページへ続く

4 ベルトユニットの緑色のつまみを持ち上げてから手前に引き出す

取り外したベルトユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

5 緑色のつまみを持ち上げ、廃トナーボックスを取り出す

6 新しい廃トナーボックスを取り付ける

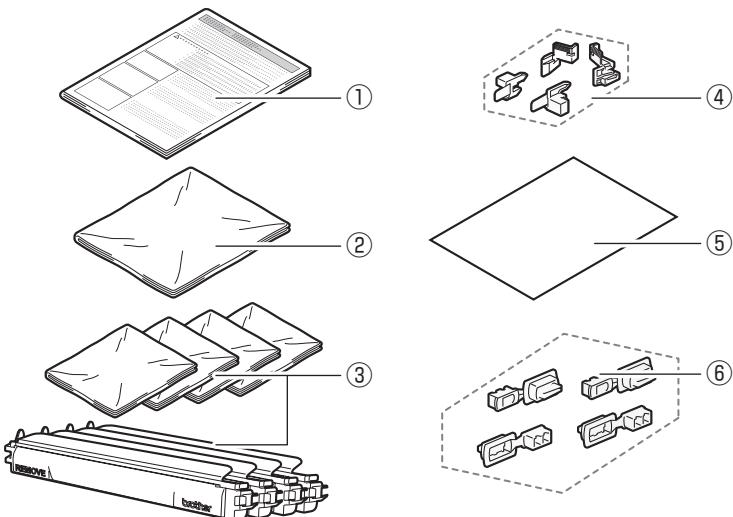
図の位置を確認して、確実にセットされていることを確認してください。

7 ベルトユニットを取り付ける

ベルトユニットの「↓」マークと本製品の「↑」マークの位置を合わせ、両端の緑色の部分を持ちながら下に押してセットします。

8 ロックレバーが上がっていることを確認する

9 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

☞次ページへ続く

10 ドラムユニットを奥へ押し込む

11 フロントカバーを閉じる

本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱に保管します。本製品には再梱包用部品も同梱されており、この部品と保管されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

補足

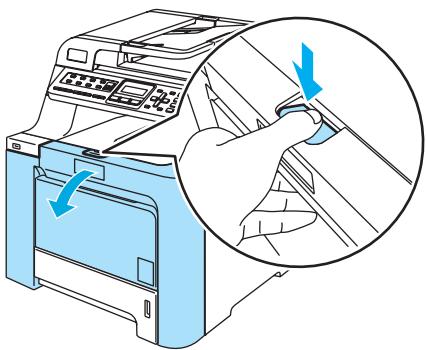
- 再梱包用の部品がそろっているか確認してください。

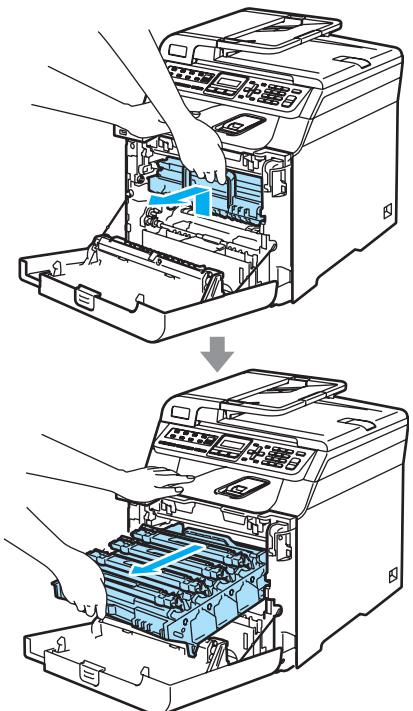
①再梱包用手順書
②廃トナーボックス用梱包袋（製品に同梱されています）
③トナーカートリッジ用保護カバーと梱包袋
④ベルトユニット固定部品（保護部材）
⑤A4サイズの用紙
（ベルトユニットの保護に使用します。お客様でご用意ください。）
⑥ジョイント部品

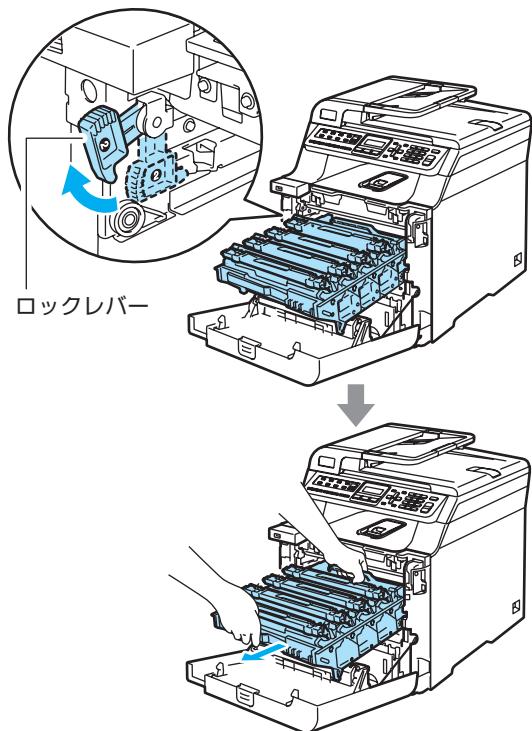
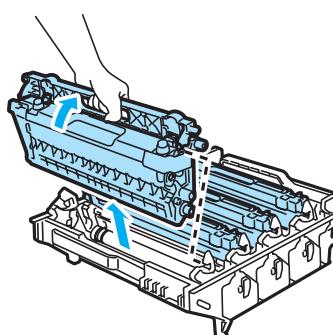
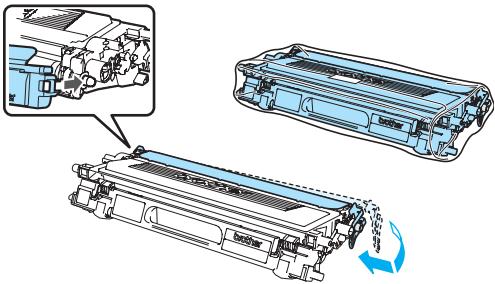
- ③④⑥は、お買い上げ時に製品を梱包しているものです。捨てないで保管してください。

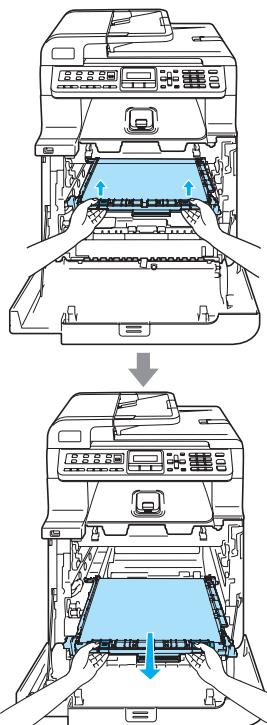
注意

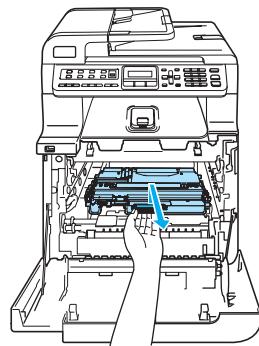
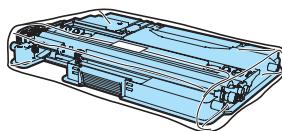
■再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチをOFFにし、機械内部を十分に冷ましてください。

■再梱包の作業は必ず、2人以上で行ってください。本製品を持ち上げるときは、必ず両脇を持ち底面は持たないでください。

1 電源スイッチをOFFにする

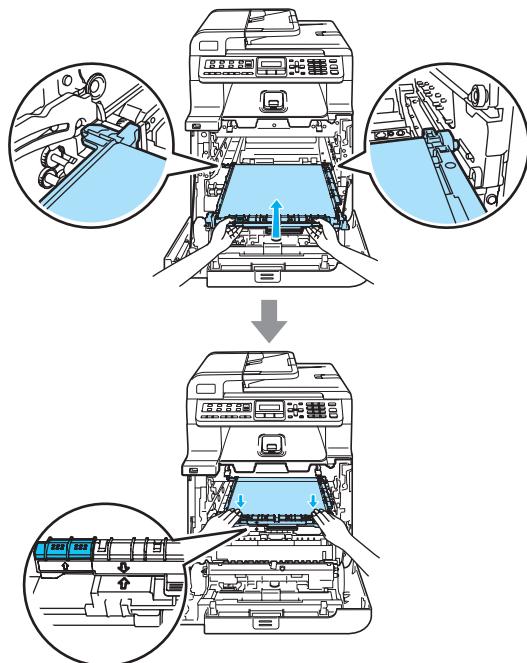
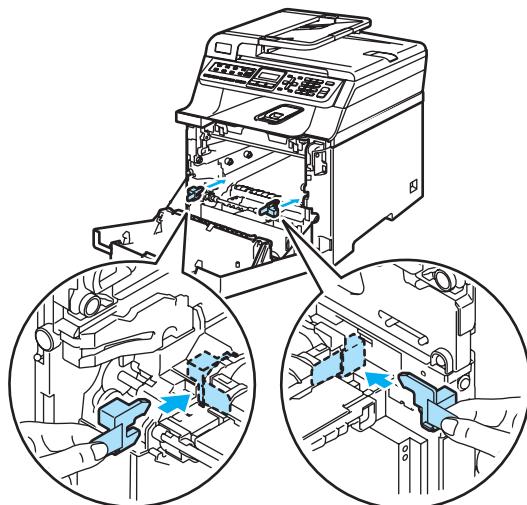
2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

3 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

☞次ページへ続く

4 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

5 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

6 ロックレバーを矢印の方向に上げ、ドラムユニットを本製品から取り出す

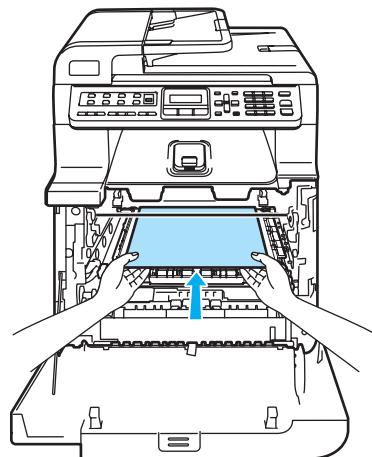
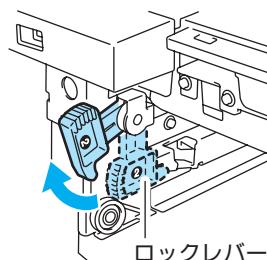
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

7 トナーカートリッジのハンドルを持ち、矢印の方向に引いて取り外す

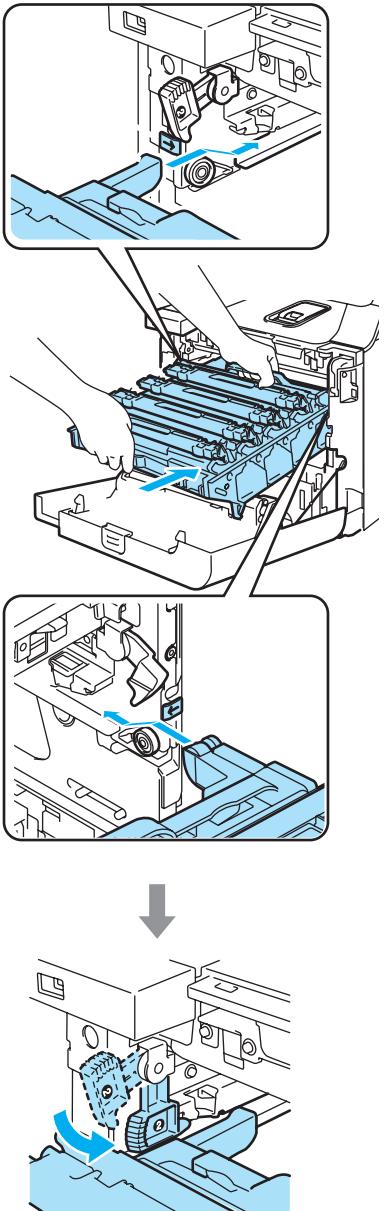
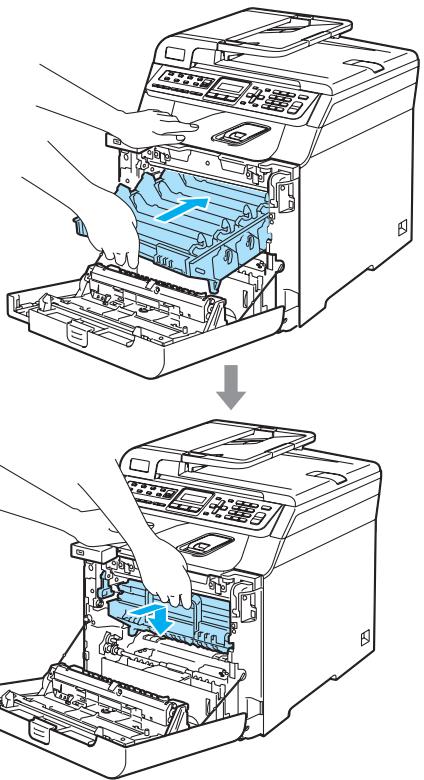
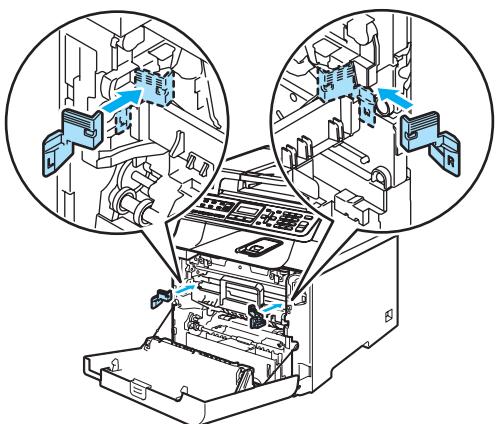
すべてのトナーカートリッジを取り外してください。

8 トナーカートリッジの保護カバーを取り付け、トナーカートリッジを梱包していた袋に入れる

9 ベルトユニットの緑色のつまみを持ち上げてから手前に引き出す

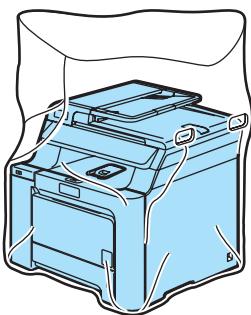
取り外したベルトユニットを新聞紙など汚れてもよい紙の上に置きます。

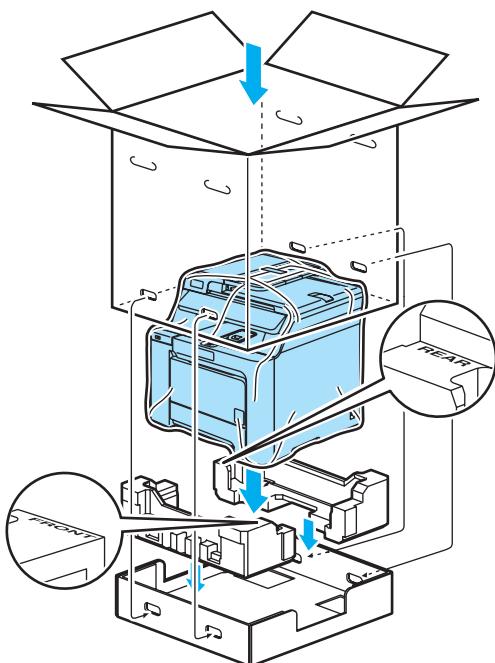
10 緑色のつまみを持ち上げ、廃トナーボックスを取り出す

11 廃トナーボックスを梱包袋に入れる

☞ 次ページへ続く

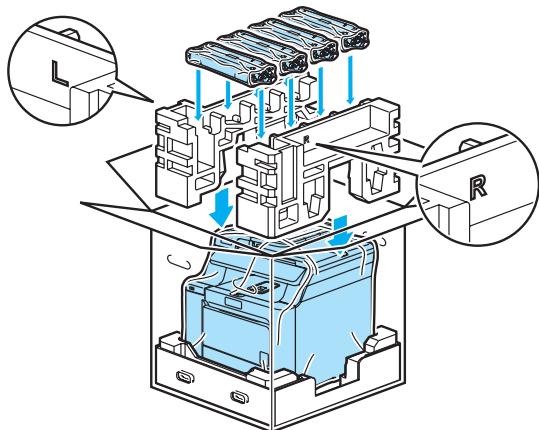
12 ベルトユニットを取り付ける

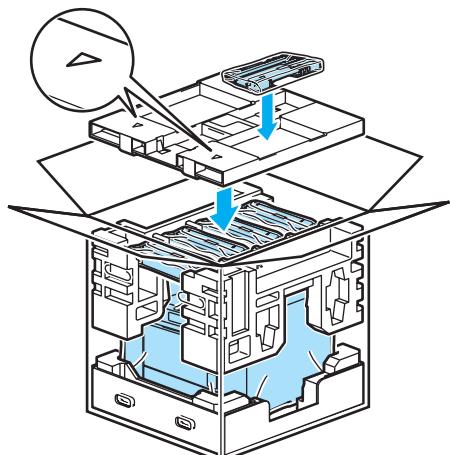
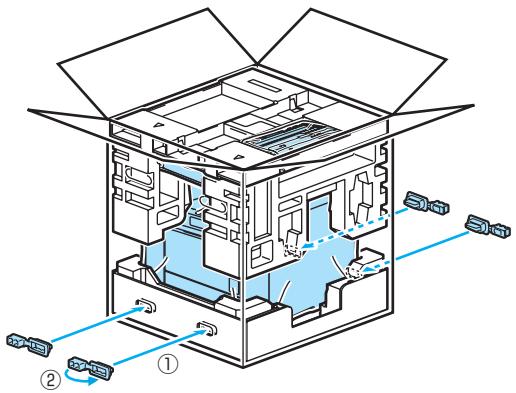
ベルトユニットの「↓」マークと本製品の「↑」マークの位置を合わせ、両端の緑色の部分を持ちながら下に押してセットします。

13 設置時に取り外した保護部品（橙色）を図の位置にセットする

14 ベルトユニット保護のためにA4サイズの用紙をベルトユニットの上に置く

用紙はお客様でご用意ください。

15 ロックレバーが上がっていることを確認する

16 ドラムユニットの先端の部分のみを図のように入れ、ロックレバーを下げる

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げます。

17 ドラムユニットを奥へ押し込む

18 設置時に取り外した保護部品（橙色）を図の位置にセットする

19 フロントカバーを閉じる

☞ 次ページへ続く

20 本体をビニール袋に入れる

21 図のように底箱に発泡スチロール、本製品、外箱の順にセットする

- 底箱の矢印の向きに従って「FRONT」および「REAR」の発泡スチロールをセットします。
- 底箱と穴の位置が合うように外箱をセットします。

22 本製品の上に発泡スチロールをセットし、トナーカートリッジを図の位置にセットする

- 正面に向かって右側に「R」、左側に「L」の発泡スチロールをセットします。

23 一番上に箱型トレイを載せ、図の位置に廃トナーボックスをセットする

24 ジョイント部材をセットし（①）、設置する（②）

25 外箱をしっかりとテープで閉じる

《定期交換部品の交換》

定期交換部品の交換

ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- PFキットMP　コウカン
- PFキット1　コウカン
- PFキット2　コウカン
- ヒーター　コウカン
- レーザーユニット　コウカン

補足

- PFキットMPとはMPトレイ用のローラホルダと分離パッドのキットです。
- PF キット 1/PF キット 2 とは、標準記録紙トレイおよび増設記録紙トレイ用のローラホルダ、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- 定期交換部品の概算寿命は次のとおりです。残り寿命の確認は「消耗品の寿命を確認する」P.210 または「設定内容リストを印刷する」P.124 を参照してください。
  - PFキットMP：50,000枚
  - PFキット1：100,000枚
  - PFキット2：100,000枚
  - ヒーター（定着ユニット）：80,000枚
  - レーザーユニット：100,000枚
- 実際の印刷枚数は、使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容によって異なります。

製品情報

シリアル番号を確認する

本製品のシリアル番号を確認します。

1 メニュー 8 TUV 1 を押す

シリアル番号が表示されます。

```
シリアル No.
XXXXXXXXX
```

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本製品は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 メニュー 8 TUV 2 ABC を押す

「ゴウケイ」「ファクス／リスト」「コピー」「プリンタ」のカウンタ値が表示されます。

```
インサツマイスウ ヒョウジ
ゴウケイ       :XXXXXX
```

2 ▲ または ▼ で表示する項目を選択する

印刷枚数が表示されます。

3 OK を押す

カラー、モノクロの印刷枚数を確認できます。

```
カラー         :XXXXXX
モノクロ       :XXXXXX
```

4 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

消耗品の寿命を確認する

ドラムユニットの寿命を確認する

ドラムユニットの寿命は、以下の操作で確認できます。

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 1 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、ドラムユニットの寿命が表示されます。

2 ドラムユニットの寿命を確認して

停止/終了 を押す

ベルトユニットの寿命を確認する

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 2 ABC を押す

液晶ディスプレイに２秒間、ベルトユニットの寿命が表示されます。

2 ベルトユニットの寿命を確認して

停止/終了 を押す

PFキットMPの寿命を確認する

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 3 DEF を押す

液晶ディスプレイに２秒間、PFキットMPの寿命が表示されます。

2 PFキットMPの寿命を確認して

停止/終了 を押す

PFキット1の寿命を確認する

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 4 GHI を押す

液晶ディスプレイに２秒間、PFキット１の寿命が表示されます。

2 PFキット1の寿命を確認して

停止/終了 を押す

PFキット2の寿命を確認する（増設記録紙トレイがセットされているとき）

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 5 JKL を押す

液晶ディスプレイに２秒間、PFキット２の寿命が表示されます。

2 PFキット2の寿命を確認して

停止/終了 を押す

定着ユニットの寿命を確認する

ディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 5 JKL を押す

- 増設記録紙トレイ（トレイ2）を装着している場合は、メニュー 8 TUV 3 DEF 6 MNO を押します。
- 液晶ディスプレイに2秒間、定着ユニットの寿命が表示されます。

2 定着ユニットの寿命を確認して 停止/終了 を押す

レーザーユニットの寿命を確認する

1 メニュー 8 TUV 3 DEF 6 MNO を押す

- 増設記録紙トレイ（トレイ2）を装着している場合は、メニュー 8 TUV 3 DEF 7 PQRS を押します。
- 液晶ディスプレイに2秒間、レーザーユニットの寿命が表示されます。

2 レーザーユニットの寿命を確認して 停止/終了 を押す

補足

- 表示される寿命はあくまで目安です。
- PFキットMPとはMPトレイ用のローラホルダと分離パッドのキットです。
- PFキット1/PFキット2とは、ヒョウジュン記録紙トレイおよび増設記録紙トレイ用のローラホルダ、分離パッド、分離パッドバネのキットです。

《設定機能の初期化》

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去したりすることができます。

注意

■初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。P.123 を参照してください。

■セキュリティ設定ロックがOnになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。セキュリティ設定ロックをOffにしてください。P.72 を参照してください。

個人情報を消去する

注意

メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認の上消去してください。

次の内容を一度にすべて消去することができます。

- お客様の名前・電話番号 P.53 を参照してください。
- セキュリティ設定ロックで設定したパスワードと設定内容 P.71 を参照してください。
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容 P.85 を参照してください。
- 送付書のコメント P.89 を参照してください。
- 一括に送信する相手先の内容 P.89 を参照してください。
- タイマー送信する相手の内容 P.94 を参照してください。
- リモート起動番号 P.99 を参照してください。
- 電話帳の内容 P.103 を参照してください。
- グループダイヤルの内容 P.106 を参照してください。
- 着信履歴の内容 P.108 を参照してください。
- ファクス転送先の内容と転送設定解除 P.111 を参照してください。
- メモリーの内容（受信データ） P.114 を参照してください。
- PCファクス受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません） P.114 を参照してください。
- 暗証番号 P.116 を参照してください。
- 通信管理レポートの内容 P.124 を参照してください。
- 送信レポートの内容 P.125 を参照してください。

1 メニュー 0 8 を押す

```
ｺｼﾞﾝｼﾞｮｳﾎｳ ｸﾘｱ
1.ｹｯﾃｲ 2.ｷｬﾝｾﾙ
```

2 1 を押す

```
ｺｼﾞﾝｼﾞｮｳﾎｳ ｸﾘｱ
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

3 1 を押す

「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示され、本製品が自動的に再起動します。

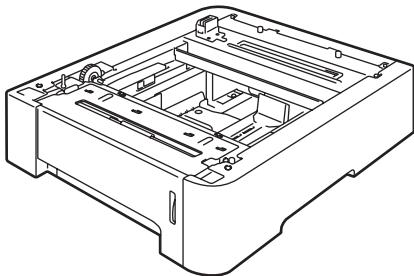
機能設定をもとにもどす

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 メニュー 0 9 を押す

```
ｷﾉｳｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ
1.ｹｯﾃｲ 2.ｷｬﾝｾﾙ
```

2 1 を押す

```
ｷﾉｳｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ
```

3 1 を押す

「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示され、本製品が自動的に再起動します。

《オプション》

増設記録紙トレイ（トレイ2）：LT-100CL

増設記録紙トレイは最大500枚（80g/m^2）の記録紙をセットできます。

本製品への増設記録紙トレイの取り付け方法は増設記録紙トレイに付属の説明書をご覧ください。

補足

増設記録紙トレイにセットできる記録紙については、「記録紙について」P.40 を参照してください。

《オプション》

メモリーを増設する

メモリー容量を増やすことができます。本製品には64MBの標準メモリーと追加できるスロットが1つあり、最大で576MBまで容量を増やすことができます。増設することによって、本製品の性能が向上します。

（株）バッファローの場合

メモリー容量	メモリーボード
64MB	VN133-64MY
128MB	VN133-128MZ
256MB	VN133-256MY
512MB	VN133-512MY

使用できるメモリーボード

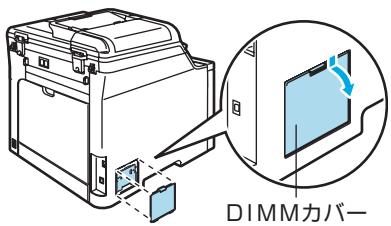
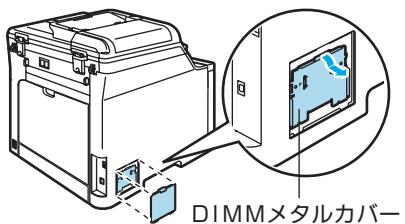
本製品に増設できるメモリーボードは次のとおりです。

タイプ	144ピンおよび64ビットの出力
CASレイテンシイ	2または3
クロック周波数	100MHz以上
容量	128MBから512MB
DRAMタイプ	SDRAM

メモリーボードを取り付ける

1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードを取り外す

本製品の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 接続されているケーブルを取り外す

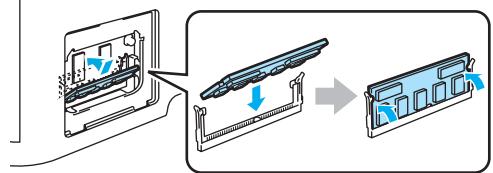
警告

メモリーボードの取り付け・取り外しのときは、電源スイッチが OFF になっていること、コンセントから電源コードが抜いてあることを確認してください。コンセントから電源コードを抜かずに取り付け・取り外しをすると感電する恐れがあります。

5 DIMMカバーを取り外す

6 DIMMメタルカバーを取り外す

7 メモリーボードの両端を持つ

注意

- ■メモリーボードは、わずかな静電気でも内部が破損する恐れがありますので、必ず金属製の物に触れて静電気を除去してください。
- ■メモリーボードの表面には触れないようにしてください。

8 メモリーボードを取り付ける

両端をもったまま、メモリーボードの切り欠きをスロットの端子の凸部分を合わせるように差し込みます。
スロット両側にあるロックが開いていることを確認して、カチッと音がするまでメモリーボードを倒します。
スロット両側にあるロックがしっかりとはまっていることを確認してください。

補足

メモリーボードを取り外すときは、押さえているロックを開いてメモリーボードの両端を持ってまっすぐに引き抜いてください。

9 DIMMメタルカバーを取り付ける

10 DIMMカバーを取り付ける

11 接続していたケーブルを取り付ける

12 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

13 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチをONにする

補足

本製品のメモリーサイズは、設定内容リストの「RAMサイズ」の項目で確認できます。リストの出力は、P.124を参照してください。

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本製品をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

それでも問題が解決しないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｱｸｾｽ ｴﾗｰ ﾃﾞﾊﾞｲｽ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ.	USBメモリーやデジタルカメラのデータを読み込み中に抜かれました。	停止/終了 を押し、USBメモリーまたはデジタルカメラを接続し直してください。
ｲﾛ ﾎｾｲ ｲﾛ ﾎｾｲ ﾆ ｼｯﾊﾟｲ ｼﾏｼﾀ. ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｼﾃ ﾔﾘﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	各色のトナーカートリッジの取り付け位置が間違っている。 トナーカートリッジが正しく装着されていない。	もう一度 カラー スタート または モノクロ スタート を押してください。それでもメッセージが表示される場合は、電源スイッチをOffにして、2～3秒後に電源スイッチをOnにしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジを正しく装着し直してください。
ｲﾛ ﾎｾｲ ｲﾛ ﾎｾｲ ﾆ ｼｯﾊﾟｲ ｼﾏｼﾀ. ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ <ｺﾝﾅﾄｷﾊ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ.	ベルトユニットの表面が傷ついている。	もう一度 カラー スタート または モノクロ スタート を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、電源スイッチをOffにして、2～3秒後に電源スイッチをOnにしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、ベルトユニットを交換してください。
	ベルトユニットの表面が汚れている。	もう一度 カラー スタート または モノクロ スタート を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、電源スイッチをOffにして、2～3秒後に電源スイッチをOnにしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、ベルトユニットを乾いた布で拭いてください。 清掃しきれないほど汚れている場合は、ベルトユニット、廃トナーボックスを交換してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｲﾛ ﾎｾｲ ｲﾛ ﾎｾｲ ﾆ ｼｯﾊﾟｲ ｼﾏｼﾀ. ｲﾛﾎｾｲ ﾆ ﾋﾂﾖｳﾅ ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾌｿｸ ｼﾃｲﾏｽ.	色補正に必要なトナーの量が不足している。	もう一度（カラー スタート）または（スタート モノクロ）を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、電源スイッチをOffにして、2～3秒後に電源スイッチをOnにしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、トナーカートリッジを交換してください。
ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ ﾆ ｼｯﾊﾟｲ ｼﾏｼﾀ. ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｼﾃ ﾔﾘﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ.	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	ドラムユニットを取り外し、液晶パネルに表示されているトナーカートリッジを正しく装着し直してください。
ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ ﾆ ｼｯﾊﾟｲｼﾏｼﾀ. ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ <ｺﾝﾅﾄｷﾊ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ		
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ XX ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ>ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOffにして、もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度Onにしてみてください。
ｶｷｺﾐ ｷﾝｼﾉ USBﾒﾓﾘ	セキュリティが設定されたUSBメモリーが接続されました。	USB メモリーのセキュリティを解除して、もう一度書き込みしてください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	バックカバーが完全に閉じていません。	バックカバーを閉め直してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ.	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
ｷｵﾝｶﾞ ﾋｸｽｷﾞﾏｽ ｲﾝｻﾂ ｶﾞ ｶﾉｳﾆﾅﾙﾏﾃﾞ, ﾍﾔ ｦ ｱﾀﾀﾒﾃｸﾀﾞｻｲ.	本製品の温度が低すぎます。	印刷が可能になるまで部屋の温度を上げてください。
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ ﾀﾀﾞｼｲｻｲｽﾞ ﾉ ｷﾛｸｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ.	記録紙サイズが間違っています。	正しいサイズの記録紙をセットしてください。
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ｳｼﾛ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ, ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ.	本製品の背面で記録紙がつまっています。	P.160 を参照してください。
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ ｦ ﾊｽﾞｼ, ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ.	本製品の内部で記録紙がつまっています。	P.156 を参照してください。
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ MPﾄﾚｲ MPﾄﾚｲ (ﾀﾓｸﾃｷﾄﾚｲ) ｶﾗ ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	多目的トレイ（MPトレイ）で記録紙がつまっています。	P.155 を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 1 ｦ ﾋｷﾀﾞｼ, ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ.	標準記録紙トレイ（トレイ1）で記録紙がつまっています。	P.155 を参照してください。
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲ 2 ｦ ﾋｷﾀﾞｼ, ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ.	増設記録紙トレイ（トレイ2）で記録紙がつまっています。	P.155 を参照してください。
ｷﾛｸｼﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾄﾚｲ1 ｦ ｶﾝｾﾞﾝﾆ ﾋｷﾀﾞｼ ﾅｶ ｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾏﾀﾊ, ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ, ﾂﾏｯﾀ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	標準記録紙トレイ（トレイ1）または背面で記録紙がつまっています。	P.162 を参照してください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 1 ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	標準記録紙トレイ（トレイ 1）の記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください。 それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラが汚れている可能性があります。 給紙ローラを清掃してください。 P.179
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 2 ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	増設記録紙トレイ（トレイ 2）のに記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ MPﾄﾚｲﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	多目的トレイ（MPトレイ）の記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	
ｹﾂﾛｶﾞ ﾊｯｾｲｼﾃﾏｽ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦｷﾗｽﾞ ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ. 30ﾌﾟﾝｲｼﾞｮｳ ﾎｳﾁｼﾃｶﾗ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞ, ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	結露が発生してます。	電源を切らずフロントカバーを開けてください。30 分以上放置してからフロントカバーを閉じ、電源を入れ直してください。
ｹﾞﾝｺｳﾂﾞﾏﾘ ADF ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF(自動原稿送り装置)に原稿がつまっています。	ADF(自動原稿送り装置)カバーを開け、原稿を取り除いて 停止/終了 を押してください。
ｼﾖｳ ﾃﾞｷﾅｲ ﾃﾞﾊﾞｲｽ	接続したデバイスは、壊れているか互換性がありません。	接続しているデバイスを確認し、接続し直してください。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｷ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOffにした後、もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度Onにしてみてください。 メモリーに保管されたファクスデータは電源を切っても、4 日間は消去されません。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ XX ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ>ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ		
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	相手との通信が切断されました。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ XX XX	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。 相手がポーリングモードに設定していません。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。 全ての送信で発生する。 P.223 を参照してください。 特定の相手で発生する。 P.75 を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルが登録されていません。	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルを登録してください。 P.103 、P.104 を参照してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ. ｲｴﾛｰ(Y)	ドラムユニットまたはトナーカートリッジが正しく装着されていません。あるいは、トナーの残りが少なくなっています。	次のいずれかを行ってください。 • ドラムユニットまたはトナーカートリッジを正しく装着してください。 • 残り少ないトナーの色を確認して、トナーカートリッジを交換してください。 • カラートナーのうちのどれかが空でも、モノクロで印刷し続けることができます。P.242 を参照してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ. ｼｱﾝ(C)		
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾌﾞﾗｯｸ(K)		
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾏｾﾞﾝﾀ(M)		
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ｲｴﾛｰ(Y) ﾄﾅｰ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	正しく装着されていない色を確認して、トナーカートリッジを正しく装着し直してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ｼｱﾝ(C) ﾄﾅｰ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾌﾞﾗｯｸ(K) ﾄﾅｰ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾏｾﾞﾝﾀ(M) ﾄﾅｰ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ｽﾍﾞﾃﾉ ﾄﾅｰ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	すべてのトナーカートリッジを正しく装着し直してください。
ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ<ｺﾝﾅﾄｷﾊ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	コロナワイヤー（ドラムユニット）が汚れています。	コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください。P.171 を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムユニットが装着されていません。	ドラムユニットを装着してください。 P.189 を参照してください。
ﾄﾚｲ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 1 ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ.	標準記録紙トレイ（トレイ1）が正しく装着されていません。	標準記録紙トレイ（トレイ 1）を装着し直してください。
ﾄﾚｲ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 2 ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	増設記録紙トレイ（トレイ2）が正しく装着されていません。	増設記録紙トレイ（トレイ 2）を装着し直してください。
ﾄﾚｲ2 ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 2 ｦ ﾀﾀﾞｼｸ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	増設記録紙トレイ（トレイ2）が正しく装着されていません。	増設記録紙トレイ（トレイ 2）を装着し直してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾊｲﾄﾅｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾊｲﾄﾅｰ ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ｺｳｶﾝﾎｳﾎｳ ﾊ ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボックスの交換時期です。	廃トナーボックスを交換してください。 P.197 を参照してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽ ｱﾘﾏｾﾝ ﾊｲﾄﾅｰ ﾎﾞｯｸｽ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾄﾘﾂｹﾎｳﾎｳ ﾊ ﾕｰｻﾞｰｽﾞｶﾞｲﾄﾞ ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボックスが正しく装着されていません。	廃トナーボックスを正しく装着し直してください。P.197
ﾋｰﾀｰ ｴﾗｰ ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ, 15ﾌﾝ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	本製品は定着ユニットが一定以上の温度に達すると製品保護のため、動作を止めるように設計されています。 定着ユニットが高温になっています。	電源スイッチをOffにします。2～3秒後、もう一度、電源スイッチをOnにして、そのまま15分お待ちください。 メモリーに保管されたファクスデータは電源を切っても、４日間は消去されません。
ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝ	定着ユニットの交換時期です。	お客様相談窓口へご連絡ください。
ﾋｰﾀｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾋｰﾀｰ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	定着ユニットが正しく装着されていません。	電源スイッチをOffにして、もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
ﾍﾞﾙﾄﾕﾆｯﾄ ｺｳｶﾝ	ベルトユニットの交換時期です。	ベルトユニットを交換してください。 P.193 を参照してください。
ﾍﾞﾙﾄﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ ｦ ﾊｽﾞｼ, ﾍﾞﾙﾄﾕﾆｯﾄ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	ベルトユニットが正しく装着されていません。	ベルトユニットを正しく装着し直してください。P.193 を参照してください。
ﾌｧｲﾙﾒｲｦ ｶｴﾃｸﾀﾞｻｲ	USBメモリーの中に、保存しようとしているファイルと同じ名前のファイルがあります。	別の名前で保存してください。
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾃﾞｽ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾖｳｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ｲｴﾛｰ(Y)	表示されたトナーの残りが少なくなっています。	表示された色の新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾃﾞｽ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾖｳｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ｼｱﾝ(C)		
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾃﾞｽ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾖｳｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾌﾞﾗｯｸ(K)		
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ ﾃﾞｽ ｱﾀﾗｼｲ ﾄﾅｰｦ ﾖｳｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ. ﾏｾﾞﾝﾀ(M)		
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。
	ドラムユニットを交換後、ドラムカウンタがリセットされていません。	ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。P.192 を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾏﾓﾅｸ ﾊｲﾄﾅｰ ｲｯﾊﾟｲ	廃トナーボックスの交換時期が近づいています。	新しい廃トナーボックスを用意してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリーがいっぱいです。	キャンセル を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください。またセキュリティ印刷のデータが保存されている場合、印刷するかデータを消去してメモリーの空き容量を確保してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** 停止/終了 を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、カラー スタート または スタート モノクロ を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。 **プリント中のとき** 解像度を下げてからもう一度試してください。
	接続したUSBメモリーがいっぱいです。	USBメモリーの空き容量を確保し、もう一度書き込みしてください。
ﾚｲｷｬｸﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっているため、現在のジョブを一時停止し、冷却モードに入っています。	本製品内部の冷却ファンの回転音が聞こえること、本製品の排気口がふさがれていないことを確認してください。 回転音が聞こえる場合は、電源スイッチをOnにしたまま本製品を数分間放置してください。 回転音が聞こえない場合は、電源スイッチをOffにし、もう一度Onにしてください。それでも表示されるときは、本製品を数分間放置した後、電源スイッチをOffにし、もう一度Onにしてください。 メモリーに保管されたファクスデータは、電源を切っても4日間は消去されません。
ﾚｰｻﾞｰﾕﾆｯﾄ ｺｳｶﾝ	レーザーユニットの交換時期です。	お客様相談窓口へご連絡ください。
EL ｴﾗｰ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ, ｼﾒﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生しました。	フロントカバーを開け、もう一度、閉め直してください。
PFｷｯﾄMP ｺｳｶﾝ	MP用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口へご連絡ください。
PFｷｯﾄ1 ｺｳｶﾝ	標準記録紙トレイ用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口へご連絡ください。
PFｷｯﾄ2 ｺｳｶﾝ	増設記録紙トレイ用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口へご連絡ください。

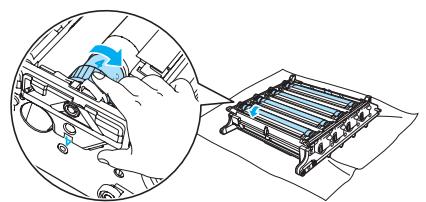
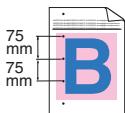
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A)」をチェックしてください。それでも異常があるときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.25 を参照してください。
		本製品の設定が正しくされていますか。	本製品の設定内容を確認してください。P.73 を参照してください。
		NTTのナンバー･ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。P.73 を参照してください。
ISDN回線※	電話を受けても本製品のベルが鳴らない。(電話をかけた側は、呼び出し続けている)	電話回線が正しく接続されていますか。	確実に本製品に接続してください。 かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 電話機コードを接続する」を参照してください。
		本製品の電源スイッチが ON になっていますか。	電源スイッチが ON になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i･ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1～2回おきにしか本製品が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。(電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない)	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報のアナログポートに本製品を接続している場合 • ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		相手側ターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認してください。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。 ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。P.25 を参照してください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでご購入ください。

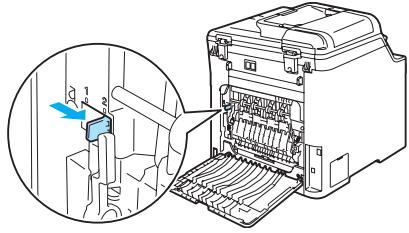
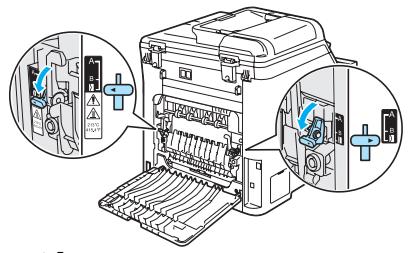
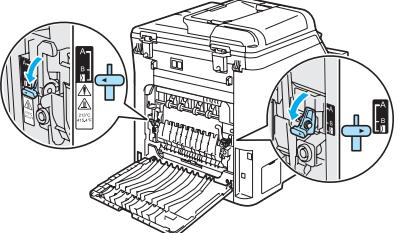
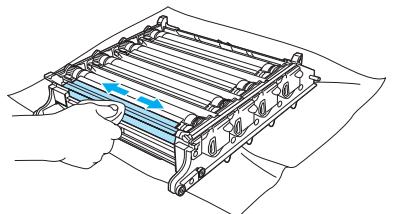
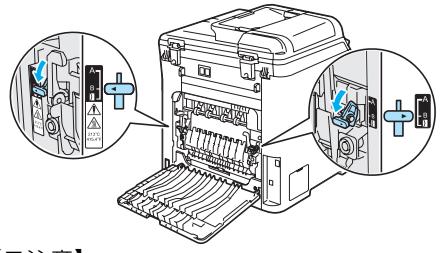
※ ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。 スーパーG3の場合で、通信品質が保証されている場合は、安心通信モードを「ヒョウジュン」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。
	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本製品をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P.75 を参照してください。
	原稿が送り込まれていかない。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。P.39 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。P.79 、P.129 を参照してください。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.154 を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.154 を参照してください。
	カラー スタート または スタート モノクロ を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。かんたん設置ガイド「STEP1 接続・設置する＞ 電話機コードを接続する」を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直してください。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認してください。P.50 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	カラーファクス受信ができない。	下記の機能を設定しているときは、カラーファクス受信ができません。 • 安心通信モード • メモリー受信 • ファクス転送 • 電話呼出 • PC-FAX 受信	カラーで受信したいときは、これらの設定を解除してください。 • 安心通信モード：「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」にする。 P.76 • メモリー受信：「OFF」にする。P.114 • ファクス転送：「OFF」にする。P.111 • 電話呼出：「OFF」にする。P.113 • PC-FAX 受信：「OFF」にする。 P.114 を参照してください
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。 P.167 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信してください。 P.86 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	**「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。**
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.25 を参照してください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本製品のスキャナが汚れているか、または受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信してください。 P.167 を参照してください。 それでも現象が変わらなければ、相手のファクシミリの状態を確認してください。
	原稿台ガラスからファクスが複数枚送れない。	リアルタイム送信の設定が「On」になっていませんか。	リアルタイム送信の設定を「Off」にしてください。P.90 を参照してください。
	リモート受信できない。	リモート受信の設定は「On」になっていますか。	リモート受信の設定を「On」にしてください。P.99 を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.99 を参照してください。
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 P.95 、P.115 を参照してください。
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットしてください。 P.44 を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本製品内部を確認してください。 P.152 を参照してください。
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認してください。 P.44 を参照してください。
		フロントカバーまたはバックカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉め直してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。 P.167 を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	正常なときは相手側のファクススキャナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリの状態を確認してください。
	本製品が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本製品の「シンセツ　ジュシン」が「On」に設定されていませんか。	本製品の「シンセツ　ジュシン」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続されている電話機をお使の場合は、本製品の 停止/終了 ボタンを押します。「シンセツ　ジュシン」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。 P.98 を参照してください。
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4 サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。 P.96 を参照してください。
	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。 P.51 を参照してください。
	受信時に本製品が応答しない。	本製品が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。 P.54 を参照してください。
		オンフック を押して発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
		可能であれば、本製品にダイヤルしてみてください。	本製品を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	本製品に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本製品と接続されている電話機と本製品の電話機コードは正しく接続されていますか。	本製品に接続されている電話機が本製品の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「コウソク」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定してください。P.76 を参照してください。
	送信確認レポートで「ケッカ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみてください。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	スキャナ読み取り部が汚れていませんか。	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.167 を参照してください。
		画質の設定は適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。P.86 を参照してください。
	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	スキャナ読み取り部が汚れていませんか。	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.167 を参照してください。
		相手側のファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリの状態を確認してください。コピーをとって、本製品が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「コウソク」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定してください。P.76 を参照してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「コウソク」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定してください。P.76 を参照してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、本製品に接続されている電話の呼び出し音を鳴らします。	本製品に接続されている電話機で応答してください。
	本製品がファクスをリモート受信できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「Off」に設定されています。P.99 を参照してください。
	コピーに縦の縞が現れる。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）が汚れていませんか。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。P.167 を参照してください。
	黒い縦の線が現れる	スキャナ読み取り部が汚れていませんか？	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.167 を参照してください。
	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。 P.132 を参照してください。原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
	色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い。	画質設定とコントラストを調整してください。	画質の設定を「テキスト」にし、コントラストのレベルを１～２上げてください。P.132 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。	感光ドラムが汚れていませんか。	ドラムユニットを清掃してください。P.173 を参照してください。
	印刷されたページの色が違う。	トナーカートリッジは正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けられているときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		液晶ディスプレイに「トナーコウカン」と表示されていませんか。	新しいトナーカートリッジに交換してください。
		印刷濃度や色合いを確認してください。	メニュー 3 DEF 5 JKL を押して色補正を行ってください。P.240 を参照してください。
		プリンタドライバの印刷設定を確認してください。	プリンタドライバの拡張機能で色を変更してください。印刷した色と画面で表現した色は若干異なります。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
	色ずれが起こる。	色ずれ補正を行っていますか。	自動色ずれ補正、または手動で色ずれ補正を行ってください。P.240 を参照してください。
		ドラムユニットギアが正しい位置にセットされていますか。	色ずれ補正を行っても正しく印刷されない場合は、ドラムユニットを取り出して、ドラムユニットギアが正しい位置にセットされているか確認してください。P.177 を参照してください。 ドラムユニットをセットし直しても改善されない場合は、ドラムユニット、ベルトユニット、廃トナーボックスを交換してください。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。P.182 を参照してください。
	印刷の質が悪い。		

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	パソコンから印刷できない。（①から順番に試してください。）	①本製品の電源スイッチがONになっていますか。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	電源スイッチをONにしてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。P.217「エラーメッセージ」を参照してください。
		②トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。
		③印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。[プリンタ]アイコンを開き、[プリンタ]から[すべてのドキュメントの取り消し]を行ってください。 <Windows Vista® > [スタート]-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[プリンタ]の順にクリックします。 <Windows® XP> [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]の順にクリックします。 <Windows® 2000> [スタート]-[設定]-[プリンタ]の順にクリックします。
		④「通常使用するプリンタ」の設定になっていますか。	[プリンタ]アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックしてチェックを付けます。
		⑤[一時停止]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[印刷の再開]がメニューにある場合は一時停止の状態です。[印刷の再開]をクリックしてください。
		⑥[オフライン]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインにする]がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする]をクリックしてください。
		⑦印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[ポート]タブを右クリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑧USBケーブルはパソコンと本製品側にしっかりと接続されていますか。 ネットワークケーブルでの接続の場合は、正しく接続されていますか。無線LANの場合は、正しくセットアップされていますか。	本製品側とパソコン側の両方のUSBケーブルをさし直してください。（USBハブなどを経由しては接続できません。） ネットワーク経由で印刷できない場合は、画面で見るマニュアル（HTML形式）の[ネットワーク設定]-[トラブルシューティング]を参照してください。
		⑨以上の手順を全て確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源スイッチをONにしてみてください。	

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	パソコンから印刷できない。(①から順番に試してください。)	⑩ ①～⑨までを全て確認してもまだ印刷できない場合には、プリンタドライバをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従ってもう一度インストールすることをおすすめします。 <アンインストールの方法> [スタート]-[すべてのプログラム(プログラム)]-[Brother]-[MFC-XXXX]-[アンインストール]の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	本製品が印刷をしない。	アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
		液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	P.217 を参照してください。
	本製品に給紙できない。	液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼ ｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給してください。記録紙トレイに記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認してください。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにしてください。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの記録紙の枚数を減らしてもう一度試してください。
	記録紙を給紙しない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 P.179 を参照してください。
	使用できる記録紙とサイズが知りたい。	普通紙、ラベル紙などを使用できます。P.40 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法が知りたい。	P.152 を参照してください。	
	印刷されたページに、白い線が横方向に現れる。	本製品を平らなところに設置していますか。	本製品が平らな面に設置されていることを確認してください。トナーカートリッジを取り外してください。左右にゆっくりと振ったあと、本製品に取り付けてください。
		トナーカートリッジは正しく取り付けてありますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けられているときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	色が薄いまたは全体的にはっきりしていない。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		フロントカバーは完全に閉まっていますか。	フロントカバーを閉め直してください。
		トナーがカートリッジの中で偏っている可能性があります。	トナーカートリッジを取り外し、左右にゆっくりと振ったあと、本製品に取り付けてください。
		スキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを清掃してください。P.168 を参照してください。
		トナーセーブモードが「On」になっていませんか。	トナーセーブモードを「Off」に設定してください。P.69 を参照してください。また、湿度、高温などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	印刷されたページに、白い線が縦方向に現れる。	トナーがカートリッジの中で偏っている可能性があります。	トナーカートリッジを取り外し、左右にゆっくりと振ったあと、本製品に取り付けてください。
		スキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを清掃してください。P.168 を参照してください。
		トナーが残り少なくなっていませんか。	少なくなっているトナーカートリッジを交換してください。
	印刷されたページに、色のついた線が縦方向に現れる。	線の色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。
		コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。コロナワイヤー清掃後、緑のつまみが元の位置（▼）にあることを確認します。清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.187 を参照してください。さらに改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。
	印刷されたページに、色のついた線が横方向に現れる。	コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。清掃後も線が現れる場合は、トナーカートリッジまたはドラムユニットを新しいものに交換してください。
		スキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、問題を解決できる場合があります。P.168 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷されたページに白い部分が現れる。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		記録紙タイプが正しく選択されていますか。	プリンタドライバまたは操作パネルの記録紙タイプ（メニュー 1、2）の設定を「ｱﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」にしてください。またはお使いの記録紙を厚めのものに交換してください。高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
		コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。コロナワイヤー清掃後、緑のつまみが元の位置にあることを確認します。
		ドラムユニットが汚れていませんか。	ドラムユニットの清掃を行ってください。P.173 を参照してください。
	ページに何も印刷されない、または色が抜けている。	トナーカートリッジが正しくセットされていますか。	トナーカートリッジをセットし直してください。P.182 を参照してください。改善されない場合は、印刷されていない色のトナーカートリッジを交換してください。さらに改善されない場合はドラムユニットを交換してください。
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。	設置環境を確認してください。	湿度、高温などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		トナーカートリッジを確認してください。	飛び散った色のトナーカートリッジを交換してください。P.184 を参照してください。
		コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
	背景がグレイになる。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.182 、P.187 を参照してください。
		コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.182 、P.187 を参照してください。
	斜めに印刷される。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。また、記録紙ガイドがセットした記録紙に正しく合わされているか確認してください。P.44 を参照してください。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.182 、P.187 を参照してください。
	印刷されたページが１色だった。	ドラムユニットとコロナワイヤーを確認してください。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.171 を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
		トナーカートリッジは正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けられているときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		ドラムユニットは正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けてドラムユニットを確認してください。正しく取り付けられているときは、ドラムユニットの不具合が考えられますのでドラムユニットを交換してください。
		廃トナーボックスは正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けて廃トナーボックスを確認してください。正しく取り付けられているときは、廃トナーボックスの不具合が考えられますので廃トナーボックスを交換してください。
	色むらが起こる。	トナー残量が少なくなっていませんか。	濃さの異なっている色を特定し、その色のトナーカートリッジを新品に交換して試してください。「トナーカートリッジの交換」P.182 を参照してください。
		液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示されていませんか。	ドラムユニットを新品に交換して試してください。「ドラムユニットの交換」P.187 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷ページの端が印刷されない。	トナーカートリッジは正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジを確認してください。正しく取り付けられているときは、トナーカートリッジの不具合が考えられますのでトナーカートリッジを交換してください。
		ドラムユニットが正しく取り付けられていますか。	フロントカバーを開けてドラムユニットを確認してください。正しく取り付けられているときは、ドラムユニットの不具合が考えられますのでドラムユニットを交換してください。
		印刷されない部分の色を確認してください。	確認した色のトナーカートリッジを交換してください。
	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。
		バックカバーを確認してください。	バックカバーが開いている場合はきちんと閉めてください。
		記録紙トレイに正しく記録紙をセットしていますか。	記録紙トレイに記録紙を多く入れすぎていないか確認してください。
		ドラムユニットを確認してください。	ドラムユニットをセットし直してください。P.189 を参照してください。改善されないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
	画像のずれが起こる。	設置環境を確認してください。	本製品が設置されている環境を確認してください。高温多湿の環境で起こりやすくなります。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。
		ドラムユニットを確認してください。	ドラムユニットをセットし直してください。P.189 を参照してください。
	指でこすると色がにじむ。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。
		記録紙タイプが正しく選択されていますか。	トレイにセットした記録紙とプリンタドライバまたは操作パネルの記録紙タイプ（メニュー1、2）の設定を合わせて正しく設定してください。厚紙をセットした場合は、プリンタドライバは「厚紙」、「超厚紙」から、操作パネルの記録紙タイプは「ｱﾂｳｼ （ｱﾂﾒ）」を選択してください。
	厚めの紙に印刷し、指でこすると色がにじむ。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.182 、P.187 を参照してください。
		記録紙タイプが正しく選択されていますか。	トレイにセットした記録紙とプリンタドライバまたは操作パネルの記録紙タイプ（メニュー1、2）の設定を合わせて正しく設定してください。プリンタドライバは「厚紙」、「超厚紙」から、操作パネルの記録紙タイプは「ｱﾂｳｼ （ｱﾂﾒ）」を選択してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	カールしたり波打って印刷される。	記録紙タイプが正しく選択されていますか。	トレイにセットした記録紙とプリンタドライバまたは操作パネルの記録紙タイプ（メニュー1、2）の設定を合わせて正しく設定してください。厚紙をセットした場合は、プリンタドライバは「厚紙」、「超厚紙」から、操作パネルの記録紙タイプは「ｱﾂｳｼ（ｱﾂﾒ）」を選択してください。
		設置環境を確認してください。	本製品が設置されている環境を確認してください。高温多湿の環境で起こりやすくなります。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.39を参照してください。改善されない場合は、バックカバーを開けて図の部分のつまみを「2」の位置へ切り替えます。 【ご注意】 印刷が終了したら、レバーを元の位置に戻してください。
	印刷された封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	バックカバー内のレバー位置を確認してください。	バックカバーを開け、図の位置にある灰色のレバーを封筒の位置に合わせます。 バックカバーを閉じて、印刷データをプリンタに送ります。 【ご注意】 印刷が終了したら、バックカバーを開け、灰色のレバーを元の位置に戻してください。また、灰色のレバーが左右同じ位置にあることを確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	両面印刷時に、白い線が現れたり、波打って印刷されたりする。	記録紙タイプを確認してください。	プリンタドライバの設定で「普通紙（厚め）」を選択して、印刷データをプリンタに送ってください。
		バックカバー内のレバー位置を確認してください。	バックカバーを開け、図の位置にある灰色のレバーを押し下げます。バックカバーを閉じて、プリンタドライバの設定で「普通紙」を選んで、もう一度、印刷データをプリンタに送ります。数ページ印刷しても問題が解決しないときは、プリンタドライバの設定で「普通紙（厚め）」を選択してください。 【ご注意】 印刷が終了したら、バックカバーを開け、灰色のレバーを元の位置に戻してください。また、灰色のレバーが左右同じ位置にあることを確認してください。
		適した記録紙を使用しているか確認してください。	現在使用しているものより厚い記録紙を使用してください。
	用紙の端にトナーが飛び散り汚れる	ドラムユニットの端が汚れていませんか？	本体内部からドラムユニットを取り出して裏返し、柔らかい乾いた布で図の部分を拭いてください。 ドラムユニットの取り出し方は、「ドラムユニットの清掃」P.175 の手順1～5を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	はがきがカールして印刷される	バックカバー内のレバー位置を確認してください。	バックカバーを開け、図の位置にある灰色のレバーを「B」の位置に合わせます。バックカバーを閉じて、印刷データをプリンタに送ります。 【ご注意】 印刷が終了したら、バックカバーを開け、灰色のレバーを元の位置に戻してください。また、灰色のレバーが左右同じ位置にあることを確認してください。
スキャナ	スキャン中にTWAIN エラーが表示される。	Brother TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。	Presto! PageManager で［ファイル］ー［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
	黒い縦の線が現れる	スキャナ読み取り部が汚れていませんか？	スキャナ読み取り部を清掃してください。 P.167 を参照してください。
ソフト	Windows®		
	BRMFC： BRUSB： USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナーギレ」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。 P.182 を参照してください。
	ネットワークスキャナ機能が使えない。	ファイアーウォールによる問題が考えられます。	詳しくは 画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。
	パソコンで本製品が認識されない。		
	Macintosh		
	接続したプリンタが表示されない。	本製品の電源スイッチは ON になっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
		インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		デバイスセレクタが正しく設定されていますか。	デバイスセレクタを再度、設定してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	Windows®またはMacintosh		
	「MFC 接続エラー」か「MFCはビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	インターフェースケーブルをパソコンに直接接続していますか。	インターフェースケーブルは他の周辺機器（キーボード、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージの内容を確認してください。	原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.ini ファイルのLoad=、Run =コマンド行とスタートアップグループなど）
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーガイッパイデス」というエラーメッセージが表示される。	画像が多かったり文章が複雑で、データ容量が重すぎていませんか。	文書を簡単にしてもう一度印刷してください。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らしてください。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コード（壁側、本体側）を確実に差してください。
		本製品の電源がON になっていますか。	電源がONになっていることを確認してください。
		雷等の外部電圧の影響により、保護機能がはたらいている可能性があります。	本製品から電源コードを取り外して5分以上放置したあと、電源コードを本製品に接続し、電源を入れてください。
	本製品に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

《色補正・色ずれ補正》

色合いや色ずれを補正する

カラー印刷で使用する4色は、色ずれが起きないよう本製品が自動で補正を行います。通常は自動的に行われる補正を手動で行ったり、自動補正の頻度を設定することができます。

自動色ずれ補正を強制的に行う

自動的に行われている色ずれ補正を強制的に行います。

1 メニュー 4 GHI 6 MNO 1 を押す

```
ジドウ イロズレホセイ
1.イロズレホセイ ジッシ
```

2 色ずれ補正を行う場合は 1 を押す

```
イロズレホセイ ジッシ
1.スタート 2.キャンセル
```

自動色ずれ補正が実行されます。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

自動色ずれ補正の頻度を変更する

自動色ずれ補正を行う頻度を設定します。

1 メニュー 4 GHI 6 MNO 2 ABC を押す

```
ジドウ イロズレホセイ
2.ホセイ ヒンド
```

2 ▲または▼で自動色ずれ補正の頻度を選択する

- 自動色ずれ補正を行う頻度を「ヒクイ」「フツウ」「タカイ」から選択します。
- 自動色ずれ補正を行わない場合は「Ｏｆｆ」を選択します。

```
▲▼デ センタク&OKボタン
フツウ                *
```

色の濃さや色合いを補正する（色補正）

カラー印刷の濃さや色合いは、本製品が自動で補正しますが、必要に応じて手動で補正できます。

1 メニュー 4 GHI 5 JKL を押す

```
プリンタ
5.イロ ホセイ
```

2 ▲または▼で「イロホセイ ジッシ」または「リセット」を選択する

- イロホセイ　ジッシ：印刷時の濃度特性を測定し、補正します。
- リセット：補正に使う濃度特性データを工場出荷時の値に戻した後、補正します。

```
▲▼デ センタク&OKボタン
イロホセイ ジッシ        *
```

3 OK を押す

4 1 を押す

選択した方法で色補正が行われます。

5 Windows®をお使いの方
プリンタドライバの［拡張機能］－［その他特殊機能］－［色補正］を選択し、[接続器の測定情報を取得する]をクリックする

Macintoshをお使いの方
[Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] から [ブラザーステータスモニタ] アイコンをクリックする。メニューバーの［コントロール］－［色補正］－［接続器の測定情報を取得する］をクリックする。

選択した方法で色補正が行われます。

色ずれを手動で補正する（手動色ずれ補正）

印刷した結果、色ずれが感じられるときに手動で数値を入力し、補正します。手動色ずれ補正では、はじめに色ずれチャートを印刷し、チャートを見ながら補正値を入力します。

色ずれチャートを印刷する

1 メニュー 4 GHI 7 PQRS 1 を押す

シュドウ イロズレホセイ
1.イロズレチャート インサツ

2 色ずれチャートを印刷するときは、スタートボタンを押します。
色ずれチャートが印刷されます。

補足

カラースタート を押しても スタートモノクロ を押しても色ずれチャートはカラーで印刷されます。

色ずれの補正値を入力する

印刷された色ずれチャートには、①～⑨のパートがあります。それぞれのパートには、－12～12の25本のバーが印刷されています。①②③⑦⑧⑨は縦方向、④⑤⑥は横方向に一直線に同じ濃さで見えるバーを探し、横に表示されている数値を補正値として入力します。

補足

- 色ずれの補正を行うパートは次のとおりです。
  ①マゼンタ ヒダリ
  ②シアン ヒダリ
  ③イエロー ヒダリ
  ④マゼンタ チュウオウ
  ⑤シアン チュウオウ
  ⑥イエロー チュウオウ
  ⑦マゼンタ ミギ
  ⑧シアン ミギ
  ⑨イエロー ミギ

1 メニュー 4 GHI 7 PQRS 2 ABC を押す

シュドウ イロズレホセイ
2.ホセイチ ニュウリョク

「①マゼンタ　ヒダリ」の補正値が入力できるようになります。

2 ▲ または ▼ で補正値を選択する
補正値を修正しない場合は手順3に進んでください。

1 マゼンタ ヒダリ
0

3 OK を押す
「②シアン ヒダリ」の補正値が入力できるようになります。

4 手順 2、3 を繰り返して②～⑨の補正値を入力する

5 停止/終了 を押す
必要に応じて、再度色ずれチャートを印刷して、ずれがないか確認してください。

《クロだけ印刷》

ブラックトナーのみで印刷する

カラートナーが空になっている、もしくはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態でも、ブラックトナーだけを使って、ファクス受信、コピー、パソコンからの印刷データをモノクロで印刷できます。

受信したファクスを印刷する

カラートナーが空になっている、もしくはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態でFAXを受信すると、ブラックトナーだけを使って自動的にモノクロ印刷されます。

コピーする

カラートナーが空になっている、もしくはカラーのカートリッジが装着されていない状態でも、ブラックトナーだけを使ってモノクロコピーできます。

モノクロコピーをするには、コピー開始時に

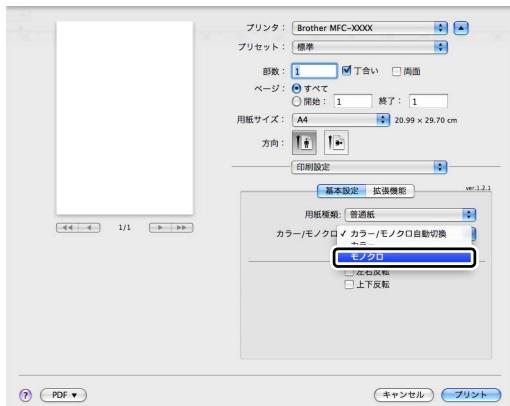
を押してください。コピーに関する細かい設定については、P.130 または P.135 を参照してください。

パソコンから印刷する

カラートナーが空になっている、もしくはカラーのカートリッジが装着されていない状態でも、パソコンからの印刷データをブラックトナーだけを使ってモノクロ印刷できます。
設定を以下のように変更してください。

Windows®

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 ［基本設定］タブの［カラー / モノクロ］から［モノクロ］を選択する

4 ［OK］をクリックする

Macintosh

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

2 ポップアップメニューから［印刷設定］を選択する

3 ［基本設定］の［カラー／ モノクロ］から［モノクロ］を選択する

4 ［プリント］をクリックする

8章

付　録

文字を入力する

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

補足
入力できる文字の種類は、設定項目によって異なります。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1（ア）	アイウエオァィゥェォ１
2 ABC（カ）	カキクケコＡＢＣ２
3 DEF（サ）	サシスセソＤＥＦ３
4 GHI（タ）	タチツテトッ ＧＨＩ４
5 JKL（ナ）	ナニヌネノＪＫＬ５
6 MNO（ハ）	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 PQRS（マ）	マミムメモＰＱＲＳ７
8 TUV（ヤ）	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
9 WXYZ（ラ）	ラリルレロＷＸＹＺ９
0（ワ゛゜）	ワヲン゛゜ー０
＊（記号1）	（スペース）！"＃＄％&'（）＊＋，－．／€
＃（記号2）	：；＜＝＞？＠［］＾＿￥～‘｜{}

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1～0、＊、＃を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズを押す ※入力したポーズは「p」で表示されます。 発信元登録（メニュー.0.3）では入力できません。
文字を削除する	クリア/バックを押す • カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の１文字を削除する • カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を変更する	◀を押して変更したい文字にカーソルを移動させ、クリア/バックを押した後に文字を入力する。
スペース（空白）を入れる	▶を押してカーソルを右に移動させる（文字のときは▶（2 回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊または＃）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OKを押す

入力例

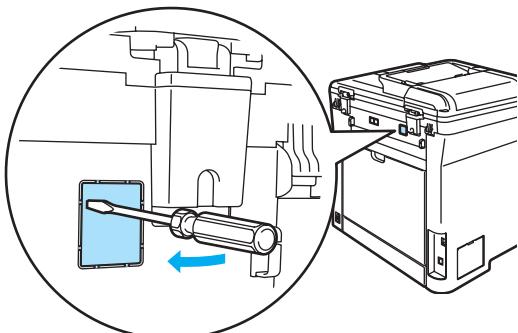
発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

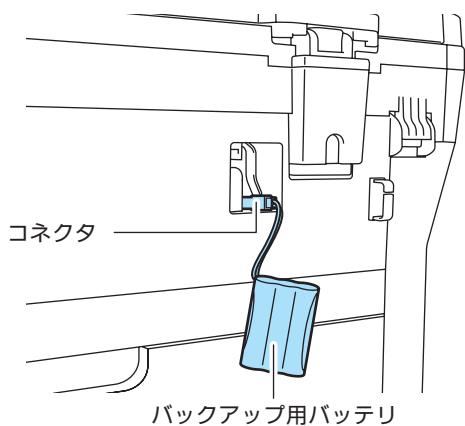
操作のしかた	ディスプレイ表示
3 DEF を3回押す	ス
▶を1回押す	ス＿
3 DEF を3回押す	スス
0 を4回押す	スス゛
2 ABC を2回押す	スス゛キ
▶を2回押す	スス゛キ　＿
2 ABC を4回押す	スス゛キ　ケ
1 を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 ABC を5回押す	スス゛キ　ケイコ

バックアップ用バッテリのリサイクルについて

- 本製品にはニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれているバッテリを取り外してください。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

注意

■リサイクル時のご注意

- コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- 外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池は分解しないでください。

■バッテリを取り外すときは、必ず電源スイッチをOFFにし、電話機コード、電源コードを取り外してください。

1 図の位置のカバーをマイナスドライバで外し、カバーを取り外す

2 バッテリを引き出し、コネクタを取り外す

☞次ページへ続く

補足

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 有限責任中間法人JBRC（旧小形二次電池再資源化推進センター）
  （電話：03-6403-5673）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）
- 社団法人 電池工業会
  （電話：03-3434-0261）
  （ホームページ：http://www.baj.or.jp）
- ブラザー工業（株）環境推進部 環境推進グループ
  （電話：052-824-2407）

事務所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所 情報機器事業部
  〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-8
  （電話：03-3274-6911）
- ブラザー販売（株）関西事業所 情報機器事業部
  〒550-0012　大阪府大阪市西区立売堀4-4-2
  （電話：06-6543-9120）
- ブラザー工業（株）環境推進部 環境推進グループ
  （電話：052-824-2407）
- 有限責任中間法人JBRC（旧小形二次電池再資源化推進センター）
  （電話：03-6403-5673）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）

機能一覧

初期設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
0. ショキ セッテイ	1. ジュシン モード	―	FAX=ファクスセンヨウ F/T=ジドウキリカエ ルス=ソトヅケルスデン TEL=デンワ	受信モードを設定します。	P.58
	2. トケイセット	―	―	現在の日付・時刻を設定します。	P.52
	3. ハッシンモトトウロク	―	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.53
	4. カイセン シュベツ セッテイ	―	プッシュ カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.51
	5. ダイヤルトーン セッテイ	―	ケンチ スル ケンチ シナイ	ダイヤルトーン検知を設定します。	P.75
	6. トクベツカイセン タイオウ	―	イッパン ISDN PBX	回線種別を設定します。	P.75
	7. ナンバー ディスプレイ	―	On Off ソトヅケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.73
	8. コジンジョウホウ クリア	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	P.212
		2. キャンセル		設定メニューに戻ります。	
	9. キノウセッテイ リセット	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.212
		2. キャンセル	―	設定メニューに戻ります。	
	0. ヒョウジ ゲンゴ (Local Language)	―	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.36

※　下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	1. モード タイマー	ー	0　ビョウ 30　ビョウ 1　プン 2　フン 5　フン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P.49
	2. キロクシ タイプ	1. キロクシ MP トレイ	フツウシ フツウシ (アツメ) アツガミ ハガキ チョウアツガミ サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P.65
		2. キロクシ トレイ　#1	フツウシ フツウシ (アツメ) ハガキ サイセイシ		
		3. キロクシ トレイ　#2※	フツウシ フツウシ (アツメ) サイセイシ		
	3. キロクシ サイズ	1. キロクシ MP トレイ	A4 B5 A5 A6 ハガキ USレター フリー	多目的トレイ（MP トレイ）にセットする記録紙のサイズを設定します。	P.65
		2. キロクシ トレイ　#1	A4 B5 A5 A6 ハガキ USレター	標準記録紙トレイ（トレイ1）にセットする記録紙のサイズを設定します。	
		3. キロクシ トレイ　#2※	A4 B5 A5 USレター	増設記録紙トレイ（トレイ2）にセットする記録紙のサイズを設定します。	
	4. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	着信音量を設定します。	P.67

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	4. オンリョウ	2. ボタンカクニン　オンリョウ	Ｏｆｆ ショウ チュウ ダイ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	P.68
		3. スピーカー オンリョウ	Ｏｆｆ ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	P.68
	5. ショウエネ モード	1. トナー セーブ	Ｏｎ Ｏｆｆ	トナーの使用量をセーブします。「Ｏｎ」に設定すると、印字結果が薄くなります。	P.69
		2. スリープ モード	000 : 005 : 240	スリープ状態になるまでの時間を0～240分の間で設定します。消費電力を節約することができます。	P.69
	6. トレイ　センタク	1. コピー	キロクシ　トレイ ＃1　ノミ キロクシ　トレイ ＃2　ノミ※ ＭＰトレイ　ノミ ＭＰトレイ ＞　トレイ＃1 ＭＰ　＞　＃1 ＞　＃2※ トレイ＃1 ＞　ＭＰトレイ ＃1　＞　＃2 ＞　ＭＰ※	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.66
		2. ファクス	キロクシ　トレイ ＃1　ノミ キロクシ　トレイ ＃2　ノミ※ ＭＰトレイ　ノミ ＭＰトレイ ＞　トレイ＃1 ＭＰ　＞　＃1 ＞　＃2※ トレイ＃1 ＞　ＭＰトレイ ＃1　＞　＃2 ＞　ＭＰ※	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.66

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	6. トレイ　センタク	3. プリンタ	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ※ MPトレイ　ノミ MPトレイ ＞　トレイ#1 MP　＞　#1 ＞　#2※ トレイ#1 ＞　MPトレイ #1　＞　#2 ＞　MP※	プリンタ印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.67
	7. ガメンノ　コントラスト	−	−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P.70
	8. セキュリティセッテイロック	−	−	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.71

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-100CL）を増設したときにメニューが表示されます。

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ カイスウ	00 : 04 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	P.59
		2. サイ ヨビダシ カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本製品が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	P.59
		3. シンセツ ジュシン	On Off	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品のスタートボタンを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P.98
		4. リモート ジュシン	On (#51) Off	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	P.99
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.96
		6. インサツ ノウド	−□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.96
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.100
		8. ジュシン スタンプ	On Off	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	P.102

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウノウド	ジドウ コク ウスク	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.87
		2. ファクスガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.86
		3. タイマーソウシン	シテイ　ジコク= 00：00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.94
		4. トリマトメソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.95
		5. リアルタイム　ソウシン	コンカイノミ： On コンカイノミ： Off On Off	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.90
		6. ポーリングソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	P.91
		7.ソウフショ	コンカイノミ： On コンカイノミ： Off On Off プリント　サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.88
		8.ソウフショコメント	－	送付書のコメントを作成します。	P.89
		9. カイガイソウシン　モード	On Off	海外にファクスを送るときに設定します。	P.93
	3. デンワチョウトウロク	1. デンワチョウ/ワンタッチ	－	ワンタッチボタン1～16にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.103
		2. デンワチョウ/タンシュク	－	3桁の短縮番号（001～300）にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.104
		3. デンワチョウ/グループ	－	複数の相手をグループ（1～20）として登録します。	P.106

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2．ファクス	4．レポート　セッテイ	1．ソウシン レポート	On On +イメージ Off Off +イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.125
		2．ツウシン カンリ　カンカク	レポートシュツリョク　シナイ 50　ケンゴト 6　ジカンゴト 12　ジカンゴト 24　ジカンゴト 2　カ　ゴト 7　カ　ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.125
	5．オウヨウ　キノウ	1．テンソウ/メモリージュシン	Off ファクス　テンソウ デンワ　ヨビダシ メモリー　ジュシン PC ファクス ジュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.114
		2．アンショウ バンゴウ	アンショウバンゴウ:---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	P.116
		3．ファクス シュツリョク	－	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P.115
	6．ツウシン　マチ　カクニン	－	－	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.95
	7．ナンバー　プレフィックス	－	Off On	外線にダイヤルするときに必要な番号を設定します。	P.76
	0．アンシン　ツウシン　モード	－	コウソク ヒョウジュン アンシン (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.76

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー　ガシツ	−	テキスト シャシン ジドウ	画質を調整します。	P.135
	2. アカルサ	−	−□□■□□+	明るさを調整します。	P.135
	3. コントラスト	−	−□□■□□+	コントラストを調整します。	P.136
	4. カラー　チョウセイ	1. レッド	−□□■□□+	赤色の濃さを調整します。	P.136
		2. グリーン	−□□■□□+	緑色の濃さを調整します。	
		3. ブルー	−□□■□□+	青色の濃さを調整します。	

プリンタ機能

本製品のプリンタ機能については、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
4. プリンタ	1. エミュレーション	−	ジドウ HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。
	2. プリンタ　オプション	1. フォントリスト	−	内蔵フォントの種類を印刷します。
		2. プリンタセッテイ	−	プリンタの設定を印刷します。
		3. テストプリント	−	テストチャートを印刷します。
	3. インサツ　カラー	−	ジドウ カラー モノクロ	印刷時のカラーを設定します。
	4. プリンタ　リセット	1. ケッテイ	−	プリンタの設定を初期状態に戻します。
		2. キャンセル		
	5. イロ　ホセイ	−	イロ　ホセイ ジッシ リセット	色補正を行います。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	
4. プリンタ	6. ジドウ イロズレホセイ	1. イロズレホセイ ジッシ	1. スタート 2. キャンセル	各カラーの印刷位置を自動調整します。	P.240
		2. ホセイ ヒンド	ヒクイ フツウ タカイ Off	色ずれ補正を自動で行う頻度を設定します。	P.240
	7. シュドウ イロズレホセイ	1. イロズレチャート インサツ	ー	色ずれを補正するためのプリントチャートを出力します。	P.241
		2. ホセイチニュウリョク	1 マゼンタ ヒダリ 2 シアン ヒダリ 3 イエロー ヒダリ 4 マゼンタ チュウオウ 5 シアン チュウオウ 6 イエロー チュウオウ 7 マゼンタ ミギ 8 シアン ミギ 9 イエロー ミギ	色ずれチャートで出力された位置の色ずれを手動で調整します。	P.241

USBダイレクト機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
5．USBダイレクト	1．ダイレクトプリント	1．キロクシサイズ	A4 B5 A5 A6 ハガキ	記録紙サイズを設定します。	P.145
		2．キロクシタイプ	フツウシ フツウシ（アツメ） アツガミ ハガキ チョウアツガミ サイセイシ	記録紙タイプを調整します。	P.145
		3．レイアウト	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 タテ2×ヨコ2バイ タテ3×ヨコ3バイ タテ4×ヨコ4バイ タテ5×ヨコ5バイ	N in 1を設定します。	P.146
		4．インサツノムキ	タテ ヨコ	印刷方向を設定します。	P.146
		5．ブタンイ	On Off	部単位で印刷するかどうかを設定します。	P.147
		6．インサツヒンシツ	ヒョウジュン キレイ	印刷画質を設定します。	P.147
		7．PDFオプション	ブンショ ブンショ&チュウシャク ブンショ&スタンプ	PDFオプションを設定します。	P.148
		8．インデックス　セッテイ	カンイ ショウサイ	インデックスシートの方式を設定します。	P.148

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
5. USB ダイレクト	2. スキャン to USB	1. カイゾウド	カラー 150 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100 dpi	スキャンするカラーと解像度を設定します。	
		2. ファイルメイ	－	保存するファイル名を入力します。	
	3. PictBridge	1. キロクシサイズ	A4 B5 A5 A6 ハガキ	記録紙サイズを設定します。	P.140
		2. インサツノ ムキ	A4 B5 A5 A6 ハガキ A4、B5の場合 タテ A5、A6、ハガキの場合 ヨコ	用紙サイズと印刷の向きを設定します。	P.140
		3. ヒヅケ インサツ	On Off	写真を撮影した日時を印刷するかどうかを設定します。	P.141
		4. ファイルメイ インサツ	On Off	ファイル名を印刷するかどうかを設定します。	P.141
		5. インサツヒンシツ	ヒョウジュン キレイ	印刷画質を設定します。	P.142

レポート印刷機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
6. レポート インサツ	1. ソウシン レポート	1. ヒョウジ	ー	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴の結果を表示します。	P.123
		2. インサツ	ー	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	P.123
	2. キノウアンナイ	ー	ー	機能の解説を印刷します。	P.123
	3. デンワチョウ リスト	1. メモリーバンゴウジュン	ー	電話帳に登録されている内容をメモリー番号順に印刷します。	P.123
		2. ナマエジュン	ー	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	P.123
	4. ツウシン カンリ レポート	ー	ー	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	P.124
	5. セッテイナイヨウ リスト	ー	ー	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	P.124
	6. チャクシンリレキ リスト	ー	ー	着信した履歴を印刷します	P.124
	7. LAN セッテイナイヨウリスト	ー	ー	ネットワークの設定内容を印刷します。	P.124

LAN設定機能

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
7. LAN	1. TCP/IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
		2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
		3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5. ノード　メイ	BRNXXXXXX= (MAC アドレスの末尾 6 文字。最大15文字)	ノード名を設定します。
		6. WINS セッテイ	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバを設定します。
		8. DNS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバを設定します。
		9. APIPA	On Off	APIPAを設定します。
		0. IPv6	On Off	IPｖ6を設定します。
	2. イーサネット	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
7. LAN	3. スキャン to FTP	―	カラー 150 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	ファイルの種類を設定します。
	0. LANセッテイ リセット	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
		2. キャンセル	―	設定メニューに戻ります。

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
8. セイヒン ジョウホウ	1. シリアル No.	―	―	シリアルNo.を表示します。	P.209
	2. インサツマイスウ ヒョウジ	―	ゴウケイ ファクス/リスト コピー プリンタ	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.209
	3. ショウモウヒン ジュミョウ	1. ドラム ジュミョウ	―	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	P.210
		2. ベルト ジュミョウ	―	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	
		3. PF キットMPジュミョウ	―	多目的トレイ（MP トレイ）PF キット寿命までの残り%を表示します。	
		4. PF キット1 ジュミョウ	―	標準記録紙トレイPFキット寿命までの残り%を表示します。	
		5. PF キット2 ジュミョウ	―	増設記録紙トレイPFキット寿命までの残り%を表示します。	
		6. ヒーター ジュミョウ	―	定着ユニット寿命までの残り%を表示します。	
		7. レーザー ジュミョウ	―	レーザーユニット寿命までの残り%を表示します。	

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度	33600bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：356mm 最小：147.3mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	多目的トレイ（MPトレイ）：約50枚（80g/m^2） 標準記録紙トレイ（トレイ1）：約250枚（80g/m^2） 増設記録紙トレイ（トレイ2）：約500枚※1（80g/m^2）
記録紙サイズ	幅215.9mm×長さ297mm
電送時間	2秒台※2
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	16桁×2行
読み取り方式	CIS
代行受信枚数	最大500枚※3
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

※1 増設記録紙トレイ（トレイ2）はオプションです。

※2 A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

※3 A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（JBIG圧縮時）

プリンタ

プリント速度（A4）	カラー：最高20枚/分 モノクロ：最高20枚/分 両面：最高7ページ/分※2
ファーストプリントアウトタイム※1	カラー：17秒以下 モノクロ：16秒以下
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
プリント解像度	カラー：　600×600dpi（標準モード） 2400×600dpi（きれいモード） モノクロ：600×600dpi（標準モード） 2400×600dpi（きれいモード）
用紙種類	普通紙、再生紙、ラベル紙、封筒、はがき

※1 色補正中や色ずれ補正中は変わることがあります。
※2 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、最高 3.5 ページ / 分となります。

コピー

複写速度（A4 連続）	カラー：最高16枚/分 モノクロ：最高16枚/分
ファーストコピーアウトタイム※	カラー：23秒以下 モノクロ：21秒以下
コピー解像度	最大1200×600dpi
連続複写枚数	最大99枚
拡大・縮小	あり（50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%、25～400%の1%刻み）

※　色補正中や色ずれ補正中は変わることがあります。

スキャナ

スキャナ解像度（光学解像度）	ADF使用時：1200×600dpi 原稿ガラス使用時：1200×2400dpi
階調	フルカラー　入力：48ビット、出力：24ビット グレースケール　256階調
読み取り速度	カラー：2.0秒/枚 モノクロ：2.0秒/枚

その他

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機 USB ポート搭載のMacintosh
対応 OS	Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、 Windows Vista® Windows Server® 2003（ネットワークプリントのみ） Mac OS X 10.2.4以降
インターフェース	Hi-Speed USB2.0（USB1.1対応のMacintoshでもご使用いただけます。） 10/100BASE-TX

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V±10V　50/60Hz
消費電力※	待機時：平均90W ピーク時：1000W コピー時：平均445W スリープ時：平均30W
稼働音	待機時：30dB（A）以下 動作時：54.5dB（A）以下
メモリー容量	64MB（576MBまで増設可能）
外形寸法	432(横幅)×487(奥行き)×482(高さ)mm
質量（消耗品を含む）	33.6kg

※ 電源スイッチが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。
消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品

トナーカートリッジ	TN-190C/TN-190M/TN-190Y/TN-190BK	カラー：約1,500枚※1,2 モノクロ：約2,500枚※1,2
	TN-195C/TN-195M/TN-195Y/TN-195BK	カラー：約4,000枚※1,2 モノクロ：約5,000枚※1,2
ドラムユニット（DR-190CL）	寿命約17,000枚※3,4	
ベルトユニット（BU-100CL）	寿命約50,000枚※5	
廃トナーボックス（WT-100CL）	寿命約20,000枚※2	

※1 A4を印刷密度5%で印刷した場合
※2 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容などによって異なります。
※3 A4を1回に1ページ印刷した場合
※4 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。
※5 A4を印刷した場合

補足

- 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 実際の印刷可能枚数は、使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容などによって異なります。
- トナーの寿命は「使用可能なトナーが無くなった場合」及び「トナーが劣化した場合」の2通りで検知しており、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。
- 複数色のカラートナーの交換を同時期に行う場合には、それらのトナーの劣化が同時に進むため、同時期にトナーの寿命と判断されることがあります。

主な仕様

Windows® 動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home/XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003※
  32ビット（x86)プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

※ネットワーク接続のみ

補足
上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home/XP Professional/XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

USBホスト
Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh動作環境

本製品とMacintoshを接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS X 10.2.4以降/128MB（推奨160MB）以上

CPU

Power PC G3/G4/G5、Intel® Core™ Solo/Duo

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のMacintoshでもご使用いただけます。）
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® 2000/XP、Windows Vista®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。

● **オートマチックドライバインストーラ**
ネットワーク環境で本製品を使う場合、簡単にドライバをインストールできるツールです。付属のCD-ROMから操作できます。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **海外送信**
海外通信モードを設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信できます。

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **解像度**
原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間やファイルの容量が大きくなります。必要に応じた解像度を選択してください。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて本製品に接続されている電話機を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッタ**
ADSLという通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **セキュリティIPフィルター**
ネットワーク上の指定したパソコンからのみ、本製品のアクセスやプリントを許可することができます。または、任意のパソコンからのアクセスや印刷を拒否することもできます。特定のパソコンからの印刷を拒否することで、印刷による機密情報の漏洩防止や、他のワークグループからの不正印刷防止による経費削減効果が期待できます。

● **セキュリティ印刷**
パソコンから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製品のメモリーにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タイマー送信**
指定した時刻に送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **多目的トレイ（MPトレイ）**
本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙を設定できるトレイです。セットできる記録紙について詳しくは「記録紙について」のページを参照してください。

● **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品のディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **同報送信**
ひとつの原稿のファクスの送信時に、複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● **トナー**
炭素を主成分とした粉末。画像の部分にトナーを付着させ、紙に転写し定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● **トナーセーブ**
使用するトナーを節約して印刷する機能です。

● **ドライバ**
本製品に付属されているソフトウェア。パソコンと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタドライバやスキャナ機能などを持っています。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● **ナンバー・ディスプレイサービス**
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● **廃トナーボックス**
画像を作成する過程で発生する余分なトナーを集めて保管しているボックスです。定期的に交換が必要です。

● **ファクス転送**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● **プリンタドライバ**
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● **ベルトユニット**
画像が転写された記録紙を定着ユニットへ送る働きをするベルト部分です。定期的に交換が必要です。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿またはメモリーに蓄積されている原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● **リアルタイム送信**
データをメモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。原稿の枚数が多い場合でもメモリーオーバーすることなく送信できます。本製品ではカラーでファクスを送信するときなどに選択します。

● **リダイヤル**
相手先が話し中など、時間をあけて再びダイヤルをすることです。

● **リモート受信**
本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。外出先の電話からリモート起動番号を入力することで、さまざまな設定を行えます。

● **ルータ**
ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

● **ログオン（ログイン）**
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● **2 in1**
2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4 in 1**
4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピー、ファクス、スキャンするときに、まとめてセットしておけば自動的に原稿を1枚ずつ送り、読み取ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● BRAdmin Light/BRAdmin Professioal
ネットワークプリンタなどネットワークに接続されたデバイスの管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールできるBRAdmin Lightは、IP取得方法やIPアドレスなどの設定ができます。より詳細な設定や管理ができるBRAdmin Professioalは、ブラザーソリューションセンターからダウンロードできます。

● BR-Script3
ブラザー工業株式会社が提供している、本製品用のPSプリンタドライバです。付属のCD-ROMからインストールできます。

● CSV形式
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inchの略で、1インチ(2.54cm)幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM通信
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。送信側・受信側ともにECM 機能を持っていないとECM通信は行われません。

● FTP
File Transfer Protocolの略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのことです。

● JPEG
画像データを保存するファイル形式のひとつでJoint Photographic Experts Groupの略。写真などの圧縮に効果的な圧縮方式です。

● IPフォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTT が行っている総合デジタル通信網サービスです。「INS ネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使い方ができます。

● LAN
Local Area Networkの略で、同一のフロアやビルなどにあるコンピュータ同士を接続したネットワークのことです。

● OCR機能
Optical Character Readerの略。手書きの文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶された文字のパターンと照合して文字を特定し、文字データに変換する機能のことです。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。Windows、MacもOSのひとつです。

● PC/AT互換機
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM. PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

● PCファクス受信
受信したファクスをパソコンで画像データとして保存できる機能です。

● PCファクス送信
パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PDF
電子形式書類のひとつで、Portable Document Formatの略。PostScript®をベースとしたフォーマットで、Acrobat® Reader®というソフトウェアを使用して閲覧できます。

● PFキット
記録紙のトレイ部分の交換部品です。それぞれのトレイ専用のローラホルダ、分離パッドなどの部品から構成されています。

● PictBridge
デジタルカメラとプリンタを直接つないで印刷するための規格です。PictBridgeに対応しているデジタルカメラとプリンタの組合せであれば、異なるメーカーの機種でも直接接続をして印刷を行うことができます。

● Presto! PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。プリンタドライバをインストール時に同時にインストールできます。また、付属のCD-ROMから個別にインストールすることもできます。

● Scan to 機能
本製品でスキャンした原稿を本製品に接続したUSBメモリーに保存したり、ネットワークを通じて送信することができる機能です。本製品では、Scan to OCR、Scan to FTP、Scan to USBの機能を使用できます。

● TIFF
画像データを保存する形式のひとつでTagged Image File Formatの略。データの型を表すタグによって、ひとつの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できます。

● TWAIN
スキャナなどの画像入力装置と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格です。TWAIN対応の機器を使用するためには、TWAINドライバをパソコンにインストールする必要があります。

● USBケーブル
USBは、Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards（vcf形式）
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA
Windows Imaging Acquisitionの略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® 2000/XP/
XP Professional x64 Edition、
Windows Vista®
Microsoft®社が開発したOSで、それぞれXPは01年、XP Professional x64 Editionは05年、Vistaは2007年に発売されました。

索　引

■索引の使いかた

・このページでは、本書および「画面で見るマニュアル」で説明されている項目を検索できます。
　マークの付いた用語は、「画面で見るマニュアル」に詳しい説明や設定方法が記載されています。

・「画面で見るマニュアル」では単語を入力して検索する機能があります。詳しい使い方は「画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作」P.27 を参照してください。

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録・変更		954＋転送番号+##
メモリー受信を設定		956
ファクスの取り出し		962＋ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

ご注文シート

- 消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
- FAXにてご注文される場合は下記ご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
- 3,000円未満の場合は350円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞　・・・・ご注文後2～3営業日後の商品発送
※　代引手数料は弊社負担です。
＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・ご入金確認後2～3営業日後の商品発送
※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込みください。）
※　振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞　・・・・カード番号確認後2～3営業日後の商品発送
※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

【ご注文先】

ブラザー販売（株） ダイレクトクラブ
インターネット　：http://direct.brother.co.jp/shop/
FAX　：052-825-0311
フリーダイヤル　：0120-118-825　土・日・祝日・弊社長期休暇を除く
9:00～12:00、13:00～17:00
振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ
三井住友銀行 上前津（カミマエヅ）支店 普通 6428357
ゆうちょ銀行 振替口座 00860-1-27600

お客様ご住所　〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行前振込・郵便前振込・代引き・カード

カード種類　①VISA　②JCB　③UC　④DINERS　⑤CF　⑥Master　⑦JACCS

カードNo.

カード名義人名　　有効期限　　年　　月

商品名			印刷可能枚数※	型番	単価(税込)	ご注文数	金額
トナーカートリッジ	ブラック	標準	約2500枚印刷可	TN-190BK	6,930円		
		大容量	約5000枚印刷可	TN-195BK	10,500円		
	シアン	標準	約1500枚印刷可	TN-190C	7,980円		
		大容量	約4000枚印刷可	TN-195C	16,800円		
	マゼンタ	標準	約1500枚印刷可	TN-190M	7,980円		
		大容量	約4000枚印刷可	TN-195M	16,800円		
	イエロー	標準	約1500枚印刷可	TN-190Y	7,980円		
		大容量	約4000枚印刷可	TN-195Y	16,800円		
ドラムユニット			約17000枚印刷可	DR-190CL	17,850円		
廃トナーボックス			約20000枚印刷可	WT-100CL	2,940円		
ベルトユニット			約50000枚印刷可	BU-100CL	26,250円		
増設記録紙トレイ				LT-100CL	26,250円		
ジャスティオ専用プリンタ台				PS-100W	30,450円		
						送料	
						合計	

配送料および消費税は変わる可能性があります。（消費税：2008年6月現在）
※ トナーカートリッジはA4 5%印刷時の場合。
ドラムユニットは1回に1ページ印刷時の場合。
廃トナーボックスはA4 各色5%印刷時の場合。

● ブラザーサービスパック・年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧下さい。

必要な場合は恐れいりますが、コピーを取ってお使いください。

※「画面で見るマニュアル（HTML形式）」で印刷することもできます。

〈キリトリ線〉

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の登録商標です。
Intel、Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
Adobe、Acrobat Reader、PostScript、PostScript3は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5 年です。

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー

http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

 0120-143-410

受付時間：月～金　9:00～20:00 /土　9:00～17:00

日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償 **ブラザー サービス エクスプレス**

複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

●**コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合**

お客様の製品設置場所にサービスエンジニアが出張し、修理します。

※製品の設置場所が離島及び山間部の場合は、修理発生時に別途交通費が必要となります。

有償 **サービスパック3･4･5年**

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります

有償 **サービスパック1年**

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）0120-143-410（フリーダイヤル）」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00～12:00　13:00～17:00（土日･祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://nj.newsoft.com.tw/

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）

ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1